

第2部

精神保健福祉士の役割の明確化と養成教育等の在り方
等に関する調査結果及び分析・考察

－ 量的調査 －

1. 現任精神保健福祉士を対象とした調査

(1) 調査の概要

①目的

精神保健福祉士に求められる役割や機能の拡充に伴い、現行のカリキュラムに関して、養成課程における教育内容及び資質向上の在り方等に関する調査研究を行い、厚生労働省に設置された「精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会」での検討に資することを目的とする。

②対象

現任の精神保健福祉士 6,879 人

[内訳]

ア 4,935 人（日本精神保健福祉士協会構成員から抽出）
実習指導者講習会修了者、資格登録が 2012 年度以降の者、または地域包括支援センターに勤務する者
イ 1,944 人（精神保健福祉士の勤務が想定される機関に送付）
精神科医療機関、（独）福祉医療機構が運営する WAMNET の障害福祉サービス事業所情報等で検索される精神障害者を主たる対象とする施設、政令指定都市及び中核市等の障害福祉部門、精神保健福祉センター、都道府県教育委員会、保護観察所、政令指定都市及び中核市等の主要な公共職業安定所（※2000 か所への郵送に対し宛名不明による返送等 56 件を除く）

③方法

郵送調査法（自記式）による質問紙調査

④回答期間

2019 年 2 月 1 日～2019 年 2 月 15 日

⑤回答率

回答数:2,549 人 対象 6,879 人に対する回答率:37.1%

(2) 調査の結果

①基本属性

1. 精神保健福祉士資格等の取得と経験

1) 精神保健福祉士資格の登録年度

「2001～2003 年度」が 18.2%で最も高く、続いて「2016 年度以降」の 16.7%、「2004～2006 年度」の 15.8%であった。

現行のカリキュラムの受験科目で受験した者は、登録年度が 2013 年度以降の者であり、その割合は全体の 30.9%であった。

2) 国家試験の受験資格取得ルート

「保健福祉系大学等 4 年」が 35.9%で最も高く、続いて「一般養成施設等(一般系大学等 4 年)」の 24.9%、「現任者講習」の 14.0%、「短期養成施設等(社会福祉士)」の 11.6%である。

3) ソーシャルワーカーとしての経験年数(精神保健福祉士取得前)

「1 年未満」が 42.6%で最も高く、続いて「3~5 年」の 13.6%、「1~2 年」の 11.1%であった。

4) ソーシャルワーカーとしての経験年数(精神保健福祉士取得後)

「15 年以上」が 29.1%で最も高く、続いて「3~5 年」17.7%、「12~14 年」15.7%である。

3. 現在の主たる勤務先

「精神科病院」が 41.3%で最も高く、次いで「相談支援事業所」の 9.8%、「就労継続支援 B 型」の 8.5%だった。その立場は、「正職員」が 72.3%を占め、「非常勤・パート・アルバイト等」が 13.8%だった。

4. 精神保健福祉士として最も成長できたと思う職場

現在の勤務先と同じと回答した者は 61.7%であり、それ以外は 29.1%だった。「現在の勤務先以外」として回答した勤務先では「精神科病院」が 41.1%で最も高く、次いで「相談支援事業所」が 10.9%だった。その勤務年数は、「5~9 年」が 36.0%で最も高く、「10 年以上」が 31.3%だった。

② 精神保健福祉士に求められる役割

精神保健福祉士に求められる役割について、『価値・理念』『視点』『知識』に関する項目の実践における活用度を 4 件法でたずねた。以下、「実践に活かしている」と「まあ実践に活かしている」を加えたパーセンテージについてみていく。

『求められる価値・理念』について、「個人としての尊厳を基盤とする」が 95.2%で最も高く、続いて「クライアントの自己決定・自己実現を保障する」の 90.5%、「人々の精神保健福祉の向上を目指す」の 75.8%であり、「ノーマライゼーションの実現に向けた活動を行う」は 57.4%であり、「共生社会の実現に向けた活動を行う」は 50.0%で最も低い。

『求められる視点』について、「実践に活かしている」が 90.0%を超えているのは「クライアントを『生活者』として捉える」の 96.6%、「地域での暮らしを支える視点を持つ」の 93.7%、「クライアントの主体性を回復・尊重することを重視する」の 91.7%だった。「マイクロ・メゾ・マクロの連続性を踏まえた包括的な視点をもつ」が 73.1%で最も低かった。

『求められる知識』について、「専門職としての精神保健福祉士自身の情緒と態度の気づき」85.9%が最も高く、「人間相互の意思伝達の仕方、感情を表現する仕方」の 84.8%が続く。「ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響」は 60.4%で最も低かった。他の知識の項目は「活用」が 70.0%程度を占めていた。

以上のように、精神保健福祉士に求められる役割において、「クライアントの自己決定・自己実現を保障する」「クライアントを『生活者』として捉える」「地域での暮らしを支える視点を持つ」「クライアントの主体性を回復・尊重することを重視する」といったクライアントの個別支援に関する項目は 90.0%を超え、実践で活用していた。しかし、「ノーマライゼーションの実現に向けた活動を行う」や「共生社会の実現に向けた活動を行う」といったソーシャルアクションに関する項目は 50.0%程度で低かった。また、「マイクロ・メゾ・マクロの連続性を踏まえた包括的な視点をもつ」「ある社会が有する精神的価値・法律・社会制

度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響」も60%台に留まった。

③精神保健福祉士養成課程における教育内容

教育内容の「ねらい(目標)」の項目について、「A 現在のあなたにとっての必要性」と「B 新人にとっての必要性」をたずねた。

「必要性が高い」と「やや必要性が高い」を加えたパーセンテージについて、現任者の回答に着目する。専門科目である『精神疾患とその治療』『精神保健の課題と支援』『精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)』『精神保健福祉の理論と相談援助の展開』『精神保健福祉に関する制度とサービス』『精神障害者の生活支援システム』における項目において、以下の項目以外は80.0%を超えていた。

「必要性が高い」と「やや必要性が高い」の回答を合計した割合が80.0%以下の項目(昇順)	%
国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する	53.8
社会福祉士の役割と意義について理解する	66.6
更生保護制度と医療観察法について理解する	72.1
社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する	72.5
行政機関における精神保健福祉士の相談援助について理解する	77.3
精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用する方法について理解する	79.2

共通科目に着目すると、下位項目が「必要性がある」と80%を超える科目は、『低所得者に対する支えと生活保護制度』『権利擁護と成年後見制度』だった。

また、実践に「必要性がある」と回答された高い項目をみると、「現代社会における社会保障制度の課題について理解する」88.4%、「年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する」90.3%、「相談援助活動において必要となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する」91.7%、といった法制度に関する項目、また、「障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する」90.7%、がある。

新人にとっての必要性に関して、「必要性が高くない」「あまり必要性が高くない」を加えたパーセンテージをみる。

「必要性が高くない」において、『福祉行財政と福祉計画』はすべての項目で30%を超えていた。また『現代社会と福祉』も「現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する」の16.4%を除く、すべての項目で20%を超えていた。

各項目で、「必要性が高くない」が20.0%を超える項目は、以下である。

「必要性が高くない」と回答した割合が20.0%超の項目	%
国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する	44.5
社会福祉士の役割と意義について理解する	22.1
更生保護制度と医療観察法について理解する	25.3
社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する	28.7

「必要性が高くない」と回答した割合が 20.0%超の項目	%
社会理論による現代社会の捉え方を理解する	28.9
地域福祉の推進方法について理解する	24.5
社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する	21.7
諸外国における社会保障制度の概要について理解する	44.5

④精神保健福祉援助実習

実習指導者講習会を「修了した」と回答した者は 60.5%であり、その修了年度は「2012 年度以前」が 13.0%、「2012 年度」が 17.6%、「2013 年度」の 12.4%、「2014 年度」の 10.1%、「2015 年度」の 10.7% となっているが、「2016 年度」以降は 10.0%を下回る傾向がある。実習指導者講習会の内容に関して、「現状でよい」と回答した者は 82.9%だった。

その実習指導者講習会修了後の実習指導の経験について、「経験あり」は 78.9%だった。現在の精神保健福祉援助実習に関する基準について、実習機関が「2 か所以上そのままがよい」は 92.8%であり、医療機関における実習は「必須のままがよい」が 93.5%だった。また、実習時間／日数については「現状でよい」は 52.3%であり、「短い」と回答する者も 17.0%だった。週 1 回以上の教員指導の頻度について、「現状でよい」は 64.4%だった。

実習指導者講習会を修了したにもかかわらず、所属機関で「実習を受け入れていない」と回答する者が 20%を超えていた。

(3) 分析と考察

【考察】

以上の分析結果から、精神保健福祉士の養成課程における教育内容の見直しにあたっては、次のことが示唆された。

1. 精神保健福祉士に求められる役割について

その実践の活用度が低かった以下の項目について、卒後教育や職場のスーパービジョン等において、強化する必要がある。

- 「ノーマライゼーションの実現に向けた活動を行う」「共生社会の実現に向けた活動を行う」といったソーシャルアクションや社会変革に関する項目
- 「マイクロ・メゾ・マクロの連続性を踏まえた包括的な視点をもつ」「ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響」といったジェネラリストの役割に求められるマイクロ・メゾ・マクロの連続性や往還性に関する項目

2. 現任者の卒後教育や現任者研修について

以下の項目について、強化することが望まれる。

- 『低所得者に対する支援と生活保護制度』『権利擁護と成年後見制度』の科目にある項目
- 「社会保障制度」「年金保険制度及び医療保険制度」「障害者の福祉・介護に係る他の法制度」といった法制度に関する項目
- 「障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要」の項目

3. 精神保健福祉士の養成課程における教育内容の見直しについて

内容を検討する必要がある科目は以下と言える。

- 『福祉行財政と福祉計画』
- 『現代社会と福祉』（「現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する」を除く）

また、以下の項目については、卒後教育との関連性から見直しが必要であると言える。

- 「国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する」
- 「社会福祉士の役割と意義について理解する」
- 「更生保護制度と医療観察法について理解する」
- 「社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する」
- 「社会理論による現代社会の捉え方を理解する」
- 「地域福祉の推進方法について理解する」
- 「社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する」
- 「諸外国における社会保障制度の概要について理解する」

4. 今後の精神保健福祉援助実習について

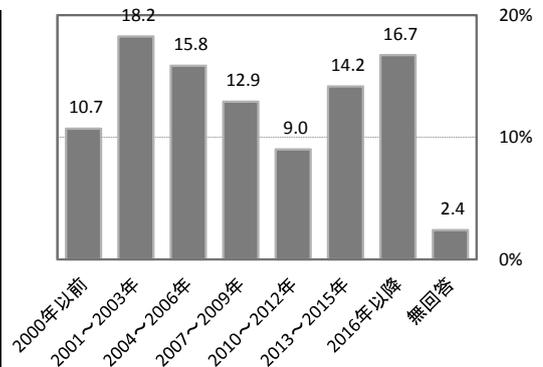
「実習機関(2か所、うち1か所は医療機関)」は現状維持を後押しする回答が多くみられたが、「実習時間／日数」並びに「教員指導の頻度」について検討する必要がある。

(4) 単純集計の結果

[基本属性に関する質問]

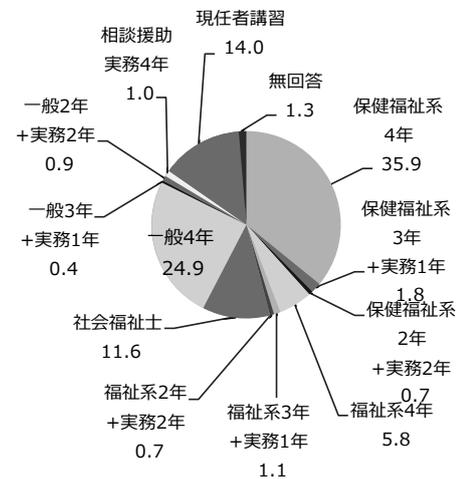
Q1-1-1【西暦】精神保健福祉士資格の登録年度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2000年以前	273	10.7
2	2001～2003年	465	18.2
3	2004～2006年	404	15.8
4	2007～2009年	329	12.9
5	2010～2012年	230	9.0
6	2013～2015年	361	14.2
7	2016年以降	426	16.7
	無回答	61	2.4
	回答者数	2549	100



Q1-1-2精神保健福祉士国家試験の受験資格取得ルート

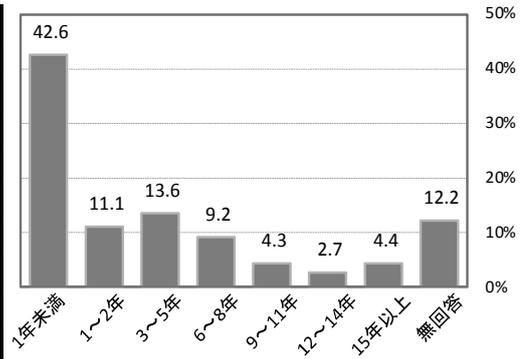
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	保健福祉系大学等 4年	915	35.9
2	保健福祉系短大等 3年 + 相談援助実務 1年	45	1.8
3	保健福祉系短大等 2年 + 相談援助実務 2年	17	0.7
4	短期養成施設等 (福祉系大学等 4年)	147	5.8
5	短期養成施設等 (福祉系短大等 3年 + 相談援助実務 1年)	27	1.1
6	短期養成施設等 (福祉系短大等 2年 + 相談援助実務 2年)	19	0.7
7	短期養成施設等 (社会福祉士)	295	11.6
8	一般養成施設等 (一般系大学等 4年)	635	24.9
9	一般養成施設等 (一般系短大等 3年 + 相談援助実務 1年)	10	0.4
10	一般養成施設等 (一般系短大等 2年 + 相談援助実務 2年)	23	0.9
11	一般養成施設等 (相談援助実務 4年)	26	1.0
12	現任者講習 (相談援助実務 5年以上 / 受験資格特例)	356	14.0
	無回答	34	1.3
	回答者数	2549	100



[基本属性に関する質問]

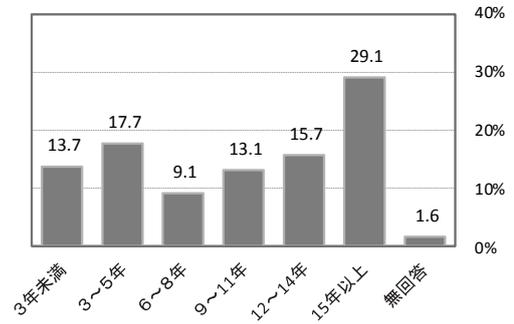
Q1-1-3-1【取得前】ソーシャルワーカーとしての経験年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	1087	42.6
2	1～2年	282	11.1
3	3～5年	346	13.6
4	6～8年	234	9.2
5	9～11年	110	4.3
6	12～14年	68	2.7
7	15年以上	111	4.4
	無回答	311	12.2
	回答者数	2549	100



Q1-1-3-2【取得後】ソーシャルワーカーとしての経験年数

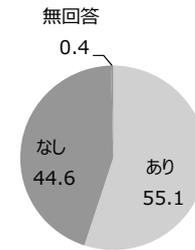
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3年未満	348	13.7
2	3～5年	452	17.7
3	6～8年	233	9.1
4	9～11年	333	13.1
5	12～14年	399	15.7
6	15年以上	743	29.1
	無回答	41	1.6
	回答者数	2549	100



[基本属性に関する質問]

Q1-1-4社会福祉士資格の取得の有無

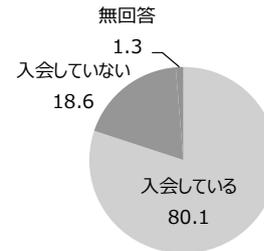
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あり	1404	55.1
2	なし	1136	44.6
	無回答	9	0.4
	回答者数	2549	100



Q1-2公益社団法人日本精神保健福祉士協会への入会の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入会している	2043	80.1
2	入会していない	473	18.6
	無回答	33	1.3
	回答者数	2549	100

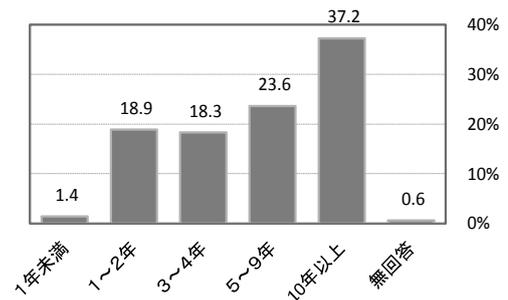
※入会していない者のうち、実習指導者講習会修了者：159名



Q1-3-1【主たる勤務先】勤務先種別 は《4ページ参照》

Q1-3-2【主たる勤務先】勤務年数

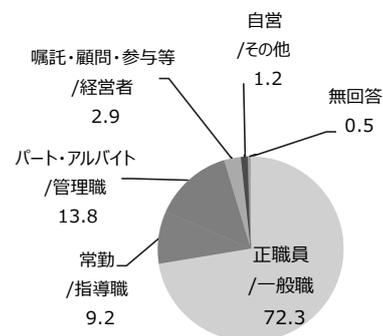
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	36	1.4
2	1～2年	482	18.9
3	3～4年	466	18.3
4	5～9年	601	23.6
5	10年以上	948	37.2
	無回答	16	0.6
	回答者数	2549	100



Q1-3-3【主たる勤務先】雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	正職員（フルタイム労働、雇用期限なし） ／ 一般職（現場業務を行う立場）	1844	72.3
2	常勤（正職員以外※フルタイム労働、雇用期限あり） ／ 指導職（部下や後輩を指導する立場）	234	9.2
3	非常勤・パート・アルバイト（雇用期限の有無は問わない） ／ 管理職（現場や組織を管理する立場）	352	13.8
4	非常勤（嘱託・顧問・参与等） ／ 経営者（法人を経営する立場）	73	2.9
5	自営 ／ その他	31	1.2
6	その他 ／ 選択なし	1	0.0
	無回答	14	0.5
	回答者数	2549	100

※ 項目：【コード3】あなたの雇用形態 / 【コード4】勤務先での立場

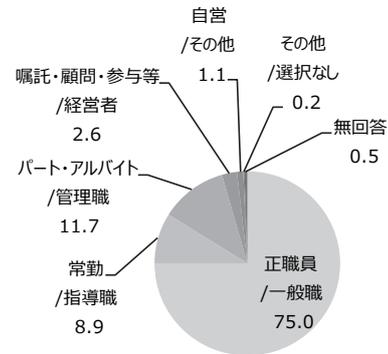


[基本属性に関する質問]

Q1-3-4【主たる勤務先】勤務先での立場

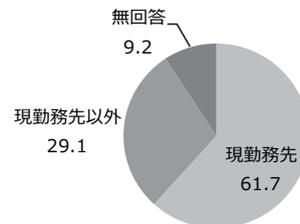
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	正職員（フルタイム労働、雇用期限なし） ／ 一般職（現場業務を行う立場）	1911	75.0
2	常勤（正職員以外※フルタイム労働、雇用期限あり） ／ 指導職（部下や後輩を指導する立場）	228	8.9
3	非常勤・パート・アルバイト（雇用期限の有無は問わない） ／ 管理職（現場や組織を管理する立場）	299	11.7
4	非常勤（嘱託・顧問・参与等） ／ 経営者（法人を経営する立場）	66	2.6
5	自営 ／ その他	28	1.1
6	その他 ／ 選択なし	4	0.2
	無回答	13	0.5
	回答者数	2549	100

※ 項目：【コード3】あなたの雇用形態 / 【コード4】勤務先での立場



Q1-4精神保健福祉士としてもっとも成長できたと思う職場

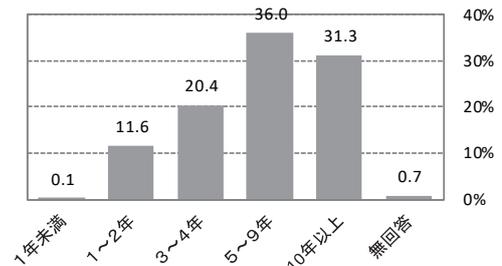
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	Q1-3. の現勤務先と同じ	1573	61.7
2	Q1-3. 以外の職場がある	742	29.1
	無回答	234	9.2
	回答者数	2549	100



Q1-4-1【もっとも成長した勤務先】勤務先種別 は《5ページ参照》

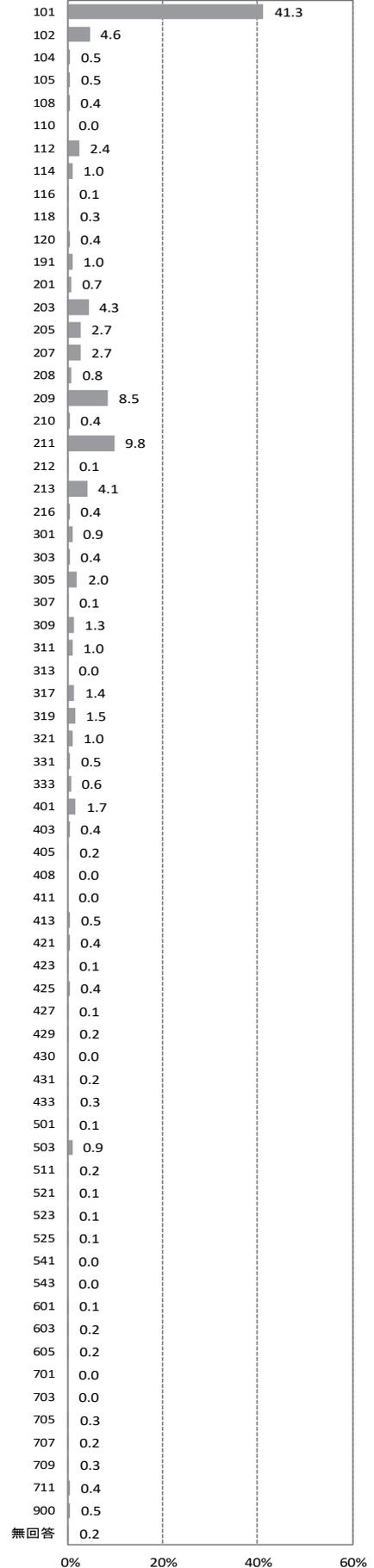
Q1-4-2【もっとも成長した勤務先】勤務年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	1	0.1
2	1～2年	86	11.6
3	3～4年	151	20.4
4	5～9年	267	36.0
5	10年以上	232	31.3
	無回答	5	0.7
	回答者数	742	100



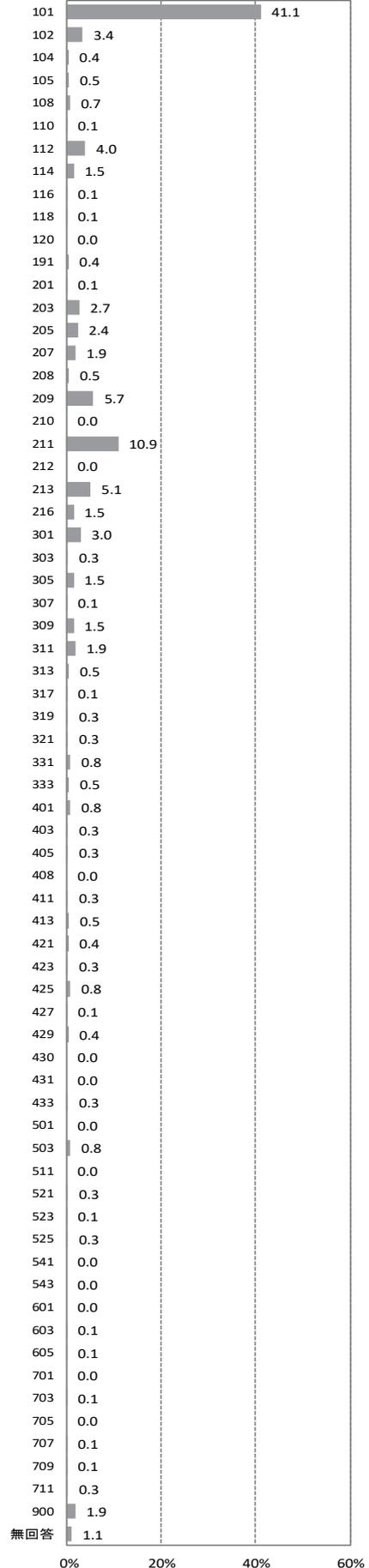
Q1-3-1【主たる勤務先】勤務先種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	101 精神科病院	1052	41.3
2	102 精神科を有する一般病院（精神病床あり）	116	4.6
3	104 精神科を有する一般病院（精神病床なし）	14	0.5
4	105 精神科を有しない一般病院	13	0.5
5	108 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等実施）	10	0.4
6	110 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等未実施）	1	0.0
7	112 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等実施）	62	2.4
8	114 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等未実施）	25	1.0
9	116 一般診療所	3	0.1
10	118 訪問看護ステーション	7	0.3
11	120 その他の医療機関	9	0.4
12	191 認知症疾患医療センター	26	1.0
13	201 生活介護	19	0.7
14	203 共同生活援助（グループホーム）	109	4.3
15	205 自立訓練	69	2.7
16	207 就労移行支援	68	2.7
17	208 就労継続支援A型	21	0.8
18	209 就労継続支援B型	216	8.5
19	210 就労定着支援	9	0.4
20	211 相談支援事業所	249	9.8
21	212 自立生活援助	2	0.1
22	213 地域活動支援センター	104	4.1
23	216 障害者総合支援法によるその他の事業	11	0.4
24	301 保健所	23	0.9
25	303 市町村保健センター	9	0.4
26	305 精神保健福祉センター	51	2.0
27	307 国および都道府県の障害保健福祉担当部局	2	0.1
28	309 市町村の障害保健福祉担当部局	34	1.3
29	311 福祉事務所	25	1.0
30	313 児童相談所	1	0.0
31	317 保護観察所・地方更生保護委員会	36	1.4
32	319 公共職業安定所（ハローワーク）	39	1.5
33	321 教育委員会	25	1.0
34	331 国・都道府県（上記の機関を除く）	14	0.5
35	333 市区町村（上記の機関を除く）	15	0.6
36	401 地域包括支援センター	43	1.7
37	403 介護老人福祉施設（地域密着型を含む）	11	0.4
38	405 介護老人保健施設	5	0.2
39	408 小規模多機能型居宅介護	1	0.0
40	411 認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）	0	0.0
41	413 その他の老人福祉関係施設	12	0.5
42	421 救護施設	10	0.4
43	423 更生施設	3	0.1
44	425 児童福祉関係施設	10	0.4
45	427 身体障害者福祉関係施設	3	0.1
46	429 知的障害者福祉関係施設	4	0.2
47	430 母子及び父子並びに寡婦福祉関係施設	1	0.0
48	431 障害者職業センター（広域・地域）	4	0.2
49	433 障害者就業・生活支援センター	8	0.3
50	501 都道府県社会福祉協議会	2	0.1
51	503 市区町村社会福祉協議会	22	0.9
52	511 発達障害者支援センター	4	0.2
53	521 大学	2	0.1
54	523 幼稚園、保育園・小学校・中学校・高等学校	3	0.1
55	525 専門学校	2	0.1
56	541 ホームレス総合相談推進事業を行っている事業所	0	0.0
57	543 ホームレス自立支援センター	0	0.0
58	601 更生保護施設	2	0.1
59	603 刑務所等矯正施設	4	0.2
60	605 地域生活定着支援センター	4	0.2
61	701 大学等の学生相談室	1	0.0
62	703 研究機関	1	0.0
63	705 民間相談機関	8	0.3
64	707 一般企業	6	0.2
65	709 個人事務所	8	0.3
66	711 その他団体	10	0.4
67	900 その他	12	0.5
	無回答	6	0.2
	回答者数	2549	100



Q1-4-1【もっとも成長した勤務先】勤務先種別

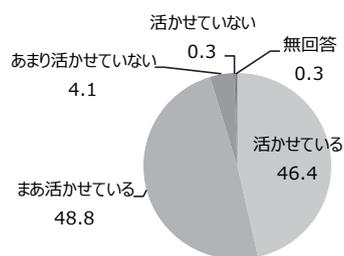
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	101 精神科病院	305	41.1
2	102 精神科を有する一般病院（精神病床あり）	25	3.4
3	104 精神科を有する一般病院（精神病床なし）	3	0.4
4	105 精神科を有しない一般病院	4	0.5
5	108 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等実施）	5	0.7
6	110 精神科・心療内科診療所（有床・デイケア等未実施）	1	0.1
7	112 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等実施）	30	4.0
8	114 精神科・心療内科診療所（無床・デイケア等未実施）	11	1.5
9	116 一般診療所	1	0.1
10	118 訪問看護ステーション	1	0.1
11	120 その他の医療機関	0	0.0
12	191 認知症疾患医療センター	3	0.4
13	201 生活介護	1	0.1
14	203 共同生活援助（グループホーム）	20	2.7
15	205 自立訓練	18	2.4
16	207 就労移行支援	14	1.9
17	208 就労継続支援A型	4	0.5
18	209 就労継続支援B型	42	5.7
19	210 就労定着支援	0	0.0
20	211 相談支援事業所	81	10.9
21	212 自立生活援助	0	0.0
22	213 地域活動支援センター	38	5.1
23	216 障害者総合支援法によるその他の事業	11	1.5
24	301 保健所	22	3.0
25	303 市町村保健センター	2	0.3
26	305 精神保健福祉センター	11	1.5
27	307 国および都道府県の障害保健福祉担当部局	1	0.1
28	309 市町村の障害保健福祉担当部局	11	1.5
29	311 福祉事務所	14	1.9
30	313 児童相談所	4	0.5
31	317 保護観察所・地方更生保護委員会	1	0.1
32	319 公共職業安定所（ハローワーク）	2	0.3
33	321 教育委員会	2	0.3
34	331 国・都道府県（上記の機関を除く）	6	0.8
35	333 市区町村（上記の機関を除く）	4	0.5
36	401 地域包括支援センター	6	0.8
37	403 介護老人福祉施設（地域密着型を含む）	2	0.3
38	405 介護老人保健施設	2	0.3
39	408 小規模多機能型居宅介護	0	0.0
40	411 認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）	2	0.3
41	413 その他の老人福祉関係施設	4	0.5
42	421 救護施設	3	0.4
43	423 更生施設	2	0.3
44	425 児童福祉関係施設	6	0.8
45	427 身体障害者福祉関係施設	1	0.1
46	429 知的障害者福祉関係施設	3	0.4
47	430 母子及び父子並びに寡婦福祉関係施設	0	0.0
48	431 障害者職業センター（広域・地域）	0	0.0
49	433 障害者就業・生活支援センター	2	0.3
50	501 都道府県社会福祉協議会	0	0.0
51	503 市区町村社会福祉協議会	6	0.8
52	511 発達障害者支援センター	0	0.0
53	521 大学	2	0.3
54	523 幼稚園、保育園・小学校・中学校・高等学校	1	0.1
55	525 専門学校	2	0.3
56	541 ホームレス総合相談推進事業を行っている事業所	0	0.0
57	543 ホームレス自立支援センター	0	0.0
58	601 更生保護施設	0	0.0
59	603 刑務所等矯正施設	1	0.1
60	605 地域生活定着支援センター	1	0.1
61	701 大学等の学生相談室	0	0.0
62	703 研究機関	1	0.1
63	705 民間相談機関	0	0.0
64	707 一般企業	1	0.1
65	709 個人事務所	1	0.1
66	711 その他団体	2	0.3
67	900 その他	14	1.9
	無回答	8	1.1
	回答者数	742	100



【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの実践にどのくらい活かしているか」】

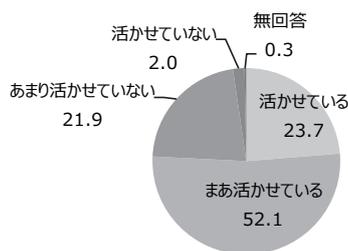
Q2-1-1【求められる価値・理念】個人としての尊厳を基盤とする

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	1184	46.4
2	まあ実践に活かしている	1245	48.8
3	あまり実践に活かしていない	105	4.1
4	実践に活かしていない	7	0.3
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



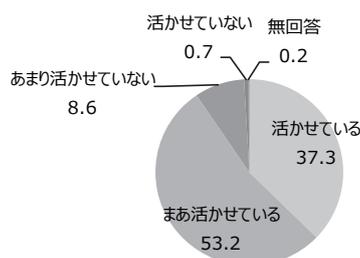
Q2-1-2【求められる価値・理念】人々の精神保健福祉の向上（well-being）を目指す

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	605	23.7
2	まあ実践に活かしている	1329	52.1
3	あまり実践に活かしていない	558	21.9
4	実践に活かしていない	50	2.0
	無回答	7	0.3
	回答者数	2549	100



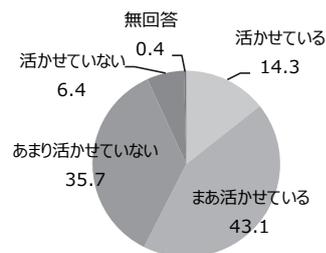
Q2-1-3【求められる価値・理念】クライアントの自己決定・自己実現を保障する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	951	37.3
2	まあ実践に活かしている	1357	53.2
3	あまり実践に活かしていない	218	8.6
4	実践に活かしていない	17	0.7
	無回答	6	0.2
	回答者数	2549	100



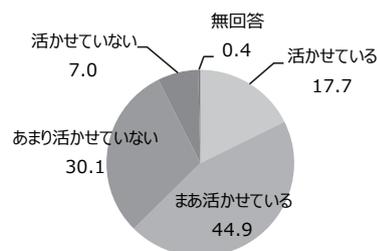
Q2-1-4【求められる価値・理念】ノーマライゼーションの実現に向けた活動を行う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	365	14.3
2	まあ実践に活かしている	1099	43.1
3	あまり実践に活かしていない	911	35.7
4	実践に活かしていない	163	6.4
	無回答	11	0.4
	回答者数	2549	100



Q2-1-5【求められる価値・理念】精神障害者の社会的復権・権利擁護と福祉のための活動を行う

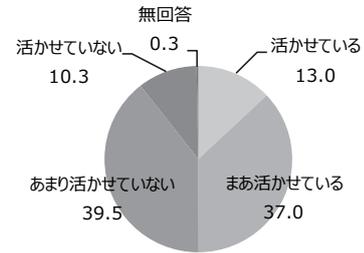
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	450	17.7
2	まあ実践に活かしている	1145	44.9
3	あまり実践に活かしていない	766	30.1
4	実践に活かしていない	179	7.0
	無回答	9	0.4
	回答者数	2549	100



【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの実践にどのくらい活かしているか」】

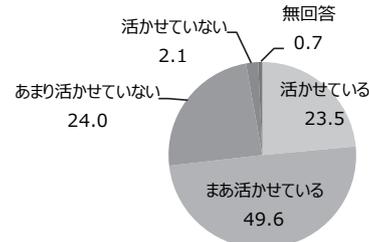
Q2-1-6【求められる価値・理念】共生社会の実現（ソーシャルインクルージョン）に向けた活動を行う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	331	13.0
2	まあ実践に活かしている	942	37.0
3	あまり実践に活かしていない	1006	39.5
4	実践に活かしていない	262	10.3
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



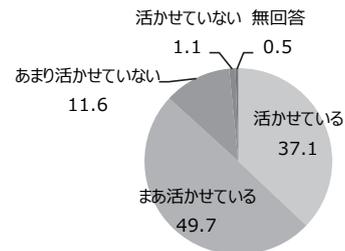
Q2-2-1【求められる視点】ミクロ・メゾ・マクロ（個人・集団・組織・地域・社会）の連続性を踏まえた包括的な視点を持つ

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	599	23.5
2	まあ実践に活かしている	1264	49.6
3	あまり実践に活かしていない	613	24.0
4	実践に活かしていない	54	2.1
	無回答	19	0.7
	回答者数	2549	100



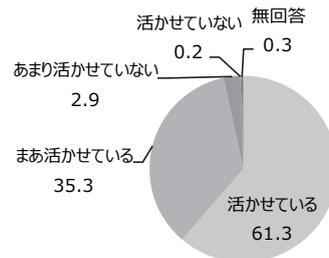
Q2-2-2【求められる視点】人と環境の相互作用の視点から現象を捉える

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	946	37.1
2	まあ実践に活かしている	1267	49.7
3	あまり実践に活かしていない	295	11.6
4	実践に活かしていない	29	1.1
	無回答	12	0.5
	回答者数	2549	100



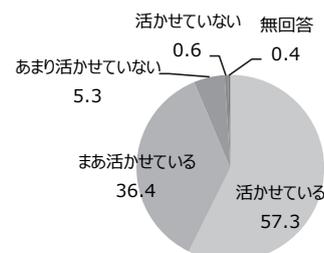
Q2-2-3【求められる視点】クライアントを「生活者」として捉える

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	1562	61.3
2	まあ実践に活かしている	900	35.3
3	あまり実践に活かしていない	73	2.9
4	実践に活かしていない	6	0.2
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



Q2-2-4【求められる視点】地域での暮らしを支える視点を持つ

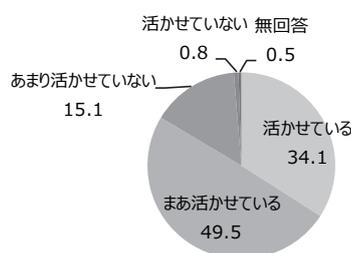
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	1461	57.3
2	まあ実践に活かしている	928	36.4
3	あまり実践に活かしていない	134	5.3
4	実践に活かしていない	16	0.6
	無回答	10	0.4
	回答者数	2549	100



【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの実践にどのくらい活かしているか」】

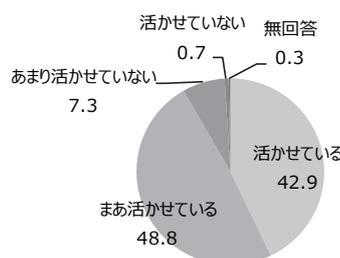
Q2-2-5【求められる視点】個人・集団・地域それぞれにおける個別化の視点を持つ

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	870	34.1
2	まあ実践に活かしている	1262	49.5
3	あまり実践に活かしていない	384	15.1
4	実践に活かしていない	21	0.8
	無回答	12	0.5
	回答者数	2549	100



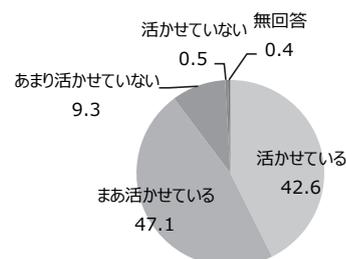
Q2-2-6【求められる視点】エンパワメントの視点を持つ：クライアントの主体性を回復・尊重することを重視する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	1094	42.9
2	まあ実践に活かしている	1245	48.8
3	あまり実践に活かしていない	185	7.3
4	実践に活かしていない	17	0.7
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



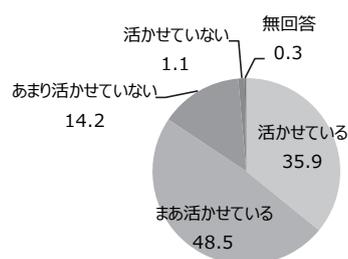
Q2-2-7【求められる視点】ストレングスの視点を持つ：クライアントや環境の「強み」に焦点を当て、最大限に活かす。「希望」を重視し、それに向かう力や周囲の力を資源として支援する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	1086	42.6
2	まあ実践に活かしている	1201	47.1
3	あまり実践に活かしていない	238	9.3
4	実践に活かしていない	14	0.5
	無回答	10	0.4
	回答者数	2549	100



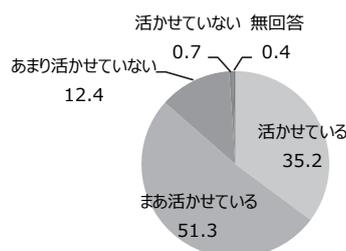
Q2-2-8【求められる視点】リカバリー-の視点を持つ：その人らしい生活を再構築し、新たな人生の意味や目的を見出す過程に寄り添う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	915	35.9
2	まあ実践に活かしている	1236	48.5
3	あまり実践に活かしていない	363	14.2
4	実践に活かしていない	27	1.1
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



Q2-2-9【求められる視点】パートナーシップを形成する：クライアントとの協働を支援の基本におく

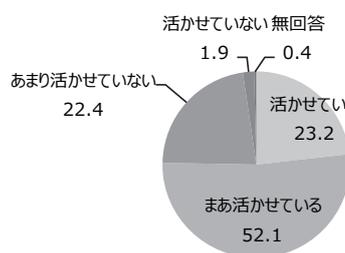
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	896	35.2
2	まあ実践に活かしている	1308	51.3
3	あまり実践に活かしていない	315	12.4
4	実践に活かしていない	19	0.7
	無回答	11	0.4
	回答者数	2549	100



【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの実践にどのくらい活かしているか」】

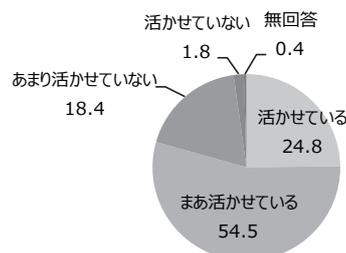
Q2-3-1【求められる知識】個人の全体性と「人と環境の相互作用」を重視した人間の発達と行動

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	592	23.2
2	まあ実践に活かしている	1327	52.1
3	あまり実践に活かしていない	571	22.4
4	実践に活かしていない	49	1.9
	無回答	10	0.4
	回答者数	2549	100



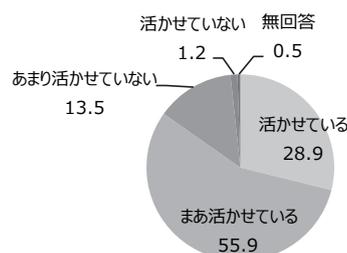
Q2-3-2【求められる知識】他者や外部の資源から援助を受ける、または与える際の心理

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	633	24.8
2	まあ実践に活かしている	1390	54.5
3	あまり実践に活かしていない	469	18.4
4	実践に活かしていない	46	1.8
	無回答	11	0.4
	回答者数	2549	100



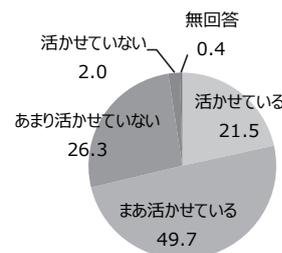
Q2-3-3【求められる知識】人間相互の意思伝達の仕方、感情を表現する仕方

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	736	28.9
2	まあ実践に活かしている	1425	55.9
3	あまり実践に活かしていない	345	13.5
4	実践に活かしていない	30	1.2
	無回答	13	0.5
	回答者数	2549	100



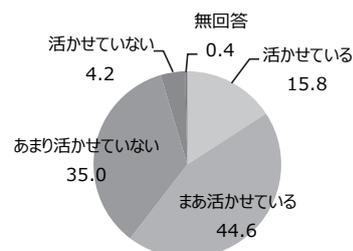
Q2-3-4【求められる知識】集団過程、集団が個人に及ぼす影響と個人が集団に及ぼす影響

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	549	21.5
2	まあ実践に活かしている	1267	49.7
3	あまり実践に活かしていない	670	26.3
4	実践に活かしていない	52	2.0
	無回答	11	0.4
	回答者数	2549	100



Q2-3-5【求められる知識】ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響

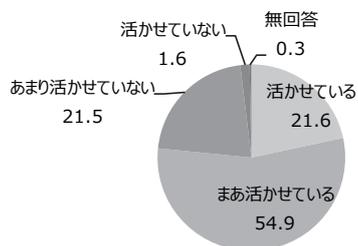
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	402	15.8
2	まあ実践に活かしている	1136	44.6
3	あまり実践に活かしていない	892	35.0
4	実践に活かしていない	108	4.2
	無回答	11	0.4
	回答者数	2549	100



【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの実践にどのくらい活かしているか」】

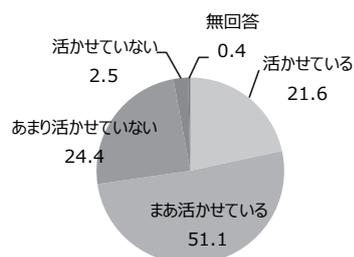
Q2-3-6【求められる知識】個人間・個人と集団・集団間の関係、相互作用過程

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	550	21.6
2	まあ実践に活かしている	1400	54.9
3	あまり実践に活かしていない	549	21.5
4	実践に活かしていない	42	1.6
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



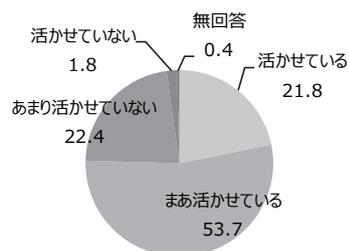
Q2-3-7【求められる知識】地域社会の発展と変化の仕方、社会サービスと資源

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	550	21.6
2	まあ実践に活かしている	1302	51.1
3	あまり実践に活かしていない	623	24.4
4	実践に活かしていない	64	2.5
	無回答	10	0.4
	回答者数	2549	100



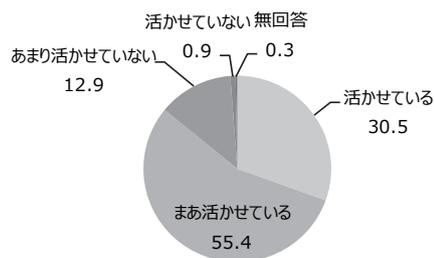
Q2-3-8【求められる知識】社会的サービスの内容、組織、方法

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	556	21.8
2	まあ実践に活かしている	1369	53.7
3	あまり実践に活かしていない	570	22.4
4	実践に活かしていない	45	1.8
	無回答	9	0.4
	回答者数	2549	100



Q2-3-9【求められる知識】専門職としての精神保健福祉士自身の情緒と態度の気づき

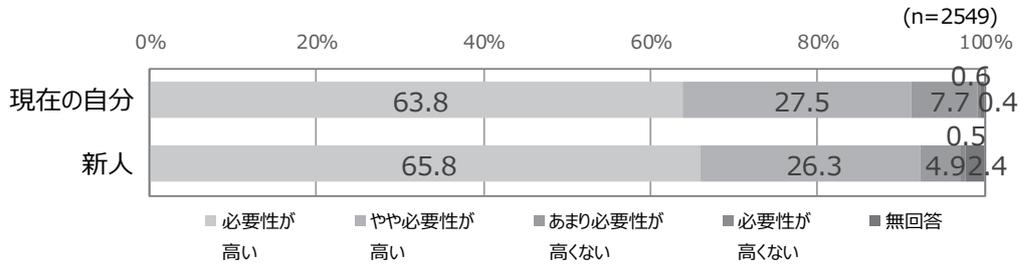
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実践に活かしている	777	30.5
2	まあ実践に活かしている	1413	55.4
3	あまり実践に活かしていない	329	12.9
4	実践に活かしていない	22	0.9
	無回答	8	0.3
	回答者数	2549	100



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

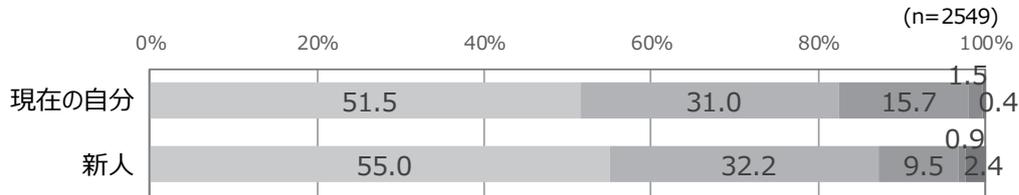
Q3A-1-1【あなた・必要性】代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する

Q3B-1-1【新人・必要性】代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する



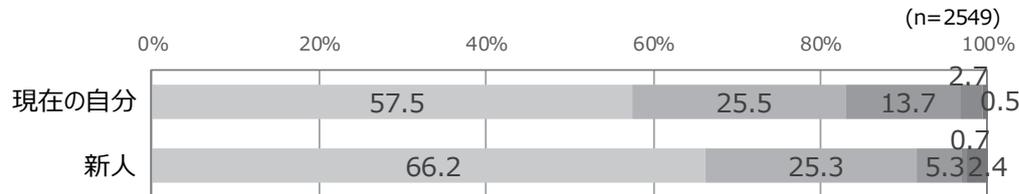
Q3A-1-2【あなた・必要性】精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する

Q3B-1-2【新人・必要性】精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する



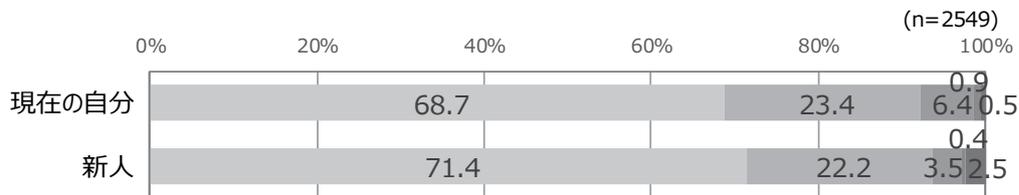
Q3A-1-3【あなた・必要性】精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する

Q3B-1-3【新人・必要性】精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する



Q3A-1-4【あなた・必要性】精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する

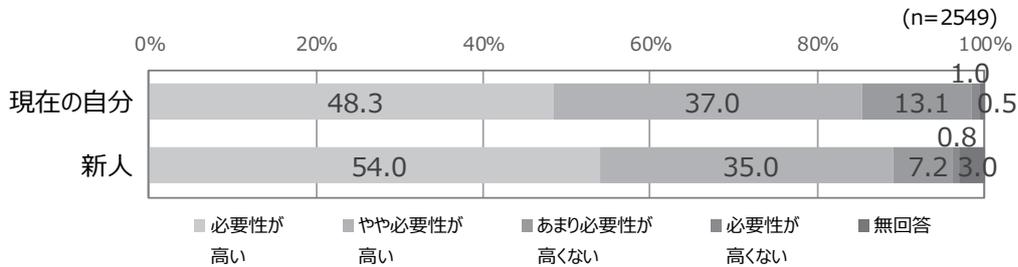
Q3B-1-4【新人・必要性】精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

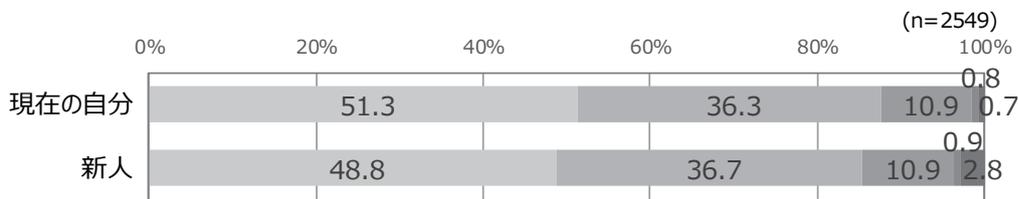
Q3A-2-1【あなた・必要性】精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する

Q3B-2-1【新人・必要性】精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する



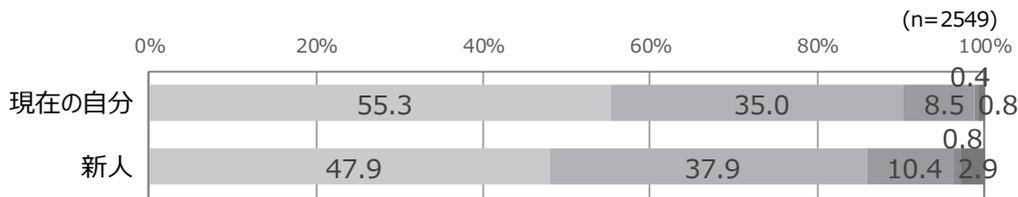
Q3A-2-2【あなた・必要性】現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する

Q3B-2-2【新人・必要性】現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する



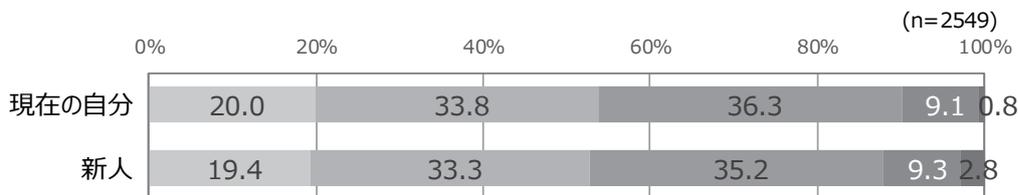
Q3A-2-3【あなた・必要性】精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する

Q3B-2-3【新人・必要性】精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する



Q3A-2-4【あなた・必要性】国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する

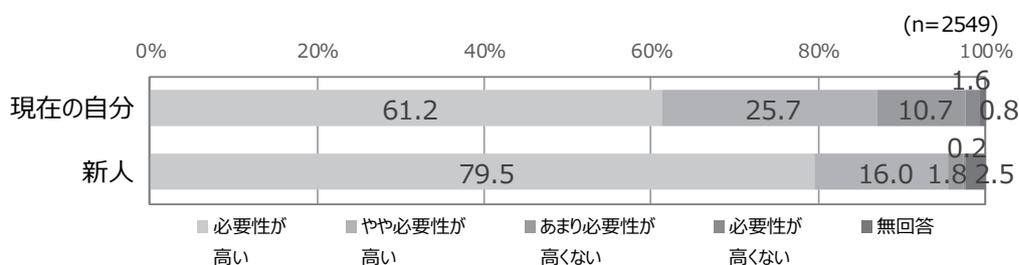
Q3B-2-4【新人・必要性】国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

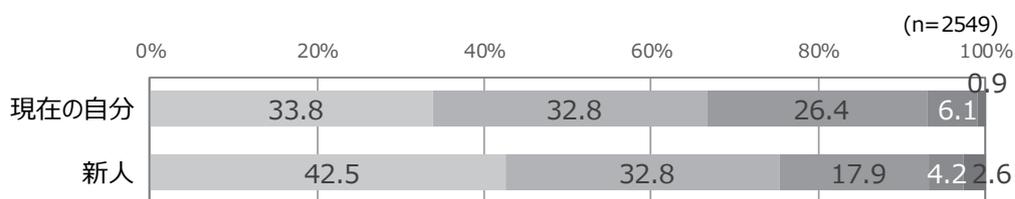
Q3A-3-1【あなた・必要性】精神保健福祉士の役割と意義について理解する

Q3B-3-1【新人・必要性】精神保健福祉士の役割と意義について理解する



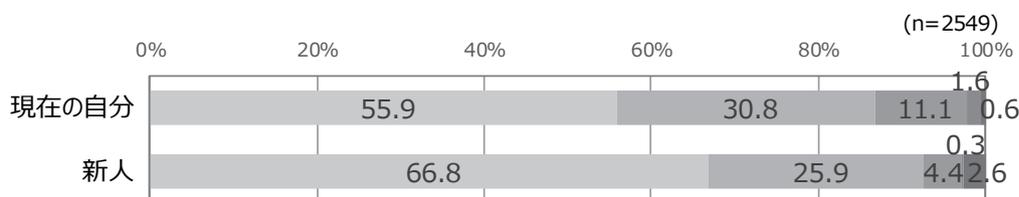
Q3A-3-2【あなた・必要性】社会福祉士の役割と意義について理解する

Q3B-3-2【新人・必要性】社会福祉士の役割と意義について理解する



Q3A-3-3【あなた・必要性】相談援助の概念と範囲について理解する

Q3B-3-3【新人・必要性】相談援助の概念と範囲について理解する

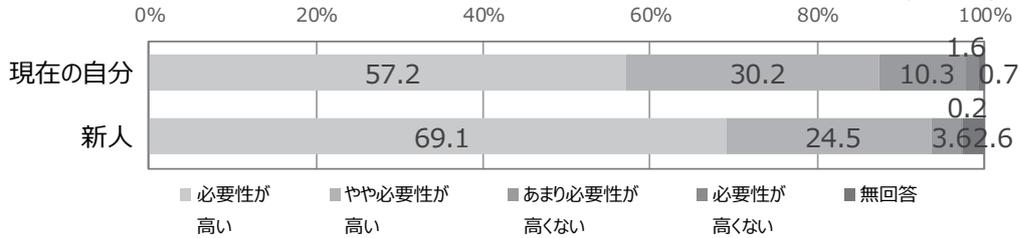


[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

Q3A-3-4【あなた・必要性】相談援助の理念について理解する

Q3B-3-4【新人・必要性】相談援助の理念について理解する

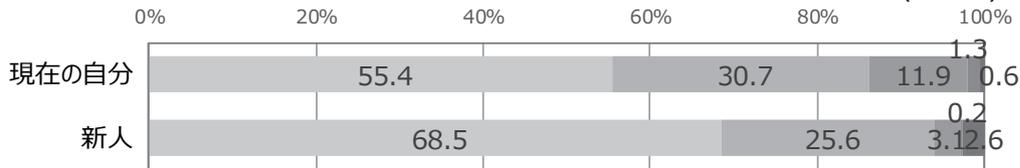
(n=2549)



Q3A-4-1【あなた・必要性】精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する

Q3B-4-1【新人・必要性】精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する

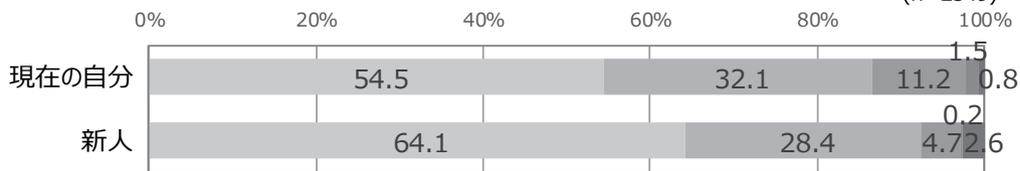
(n=2549)



Q3A-4-2【あなた・必要性】精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する

Q3B-4-2【新人・必要性】精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する

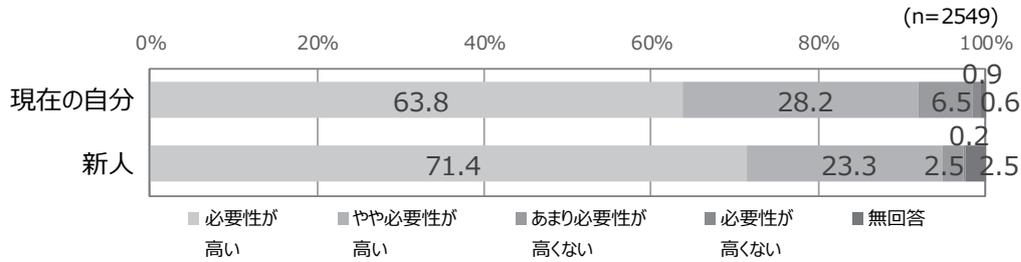
(n=2549)



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

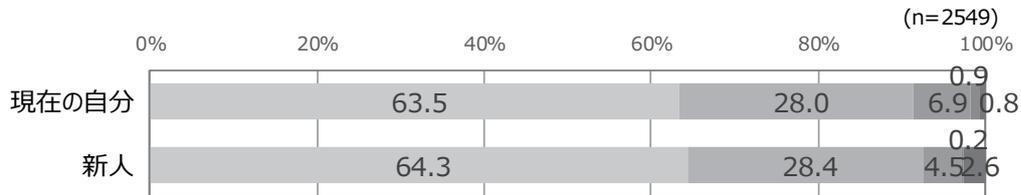
Q3A-4-3【あなた・必要性】精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する

Q3B-4-3【新人・必要性】精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する



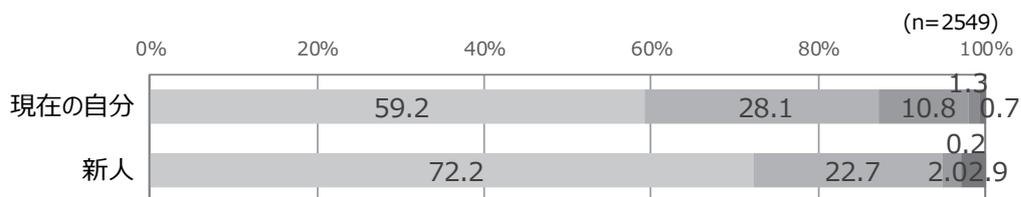
Q3A-4-4【あなた・必要性】精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する

Q3B-4-4【新人・必要性】精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する



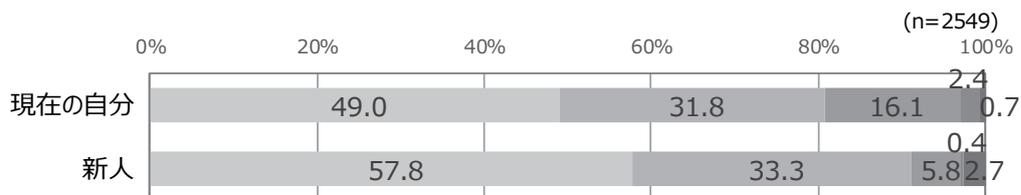
Q3A-5-1【あなた・必要性】精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する

Q3B-5-1【新人・必要性】精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する



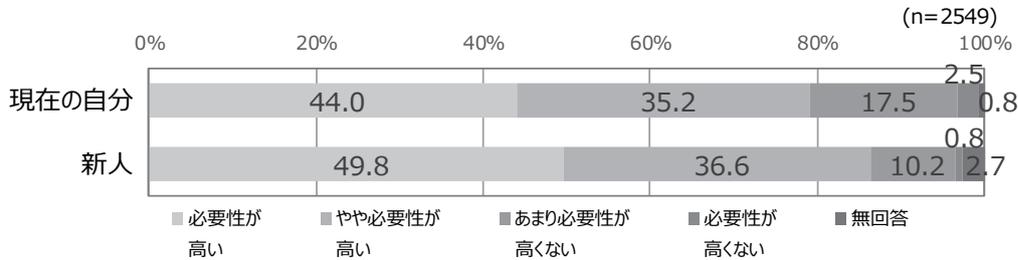
Q3A-5-2【あなた・必要性】精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する

Q3B-5-2【新人・必要性】精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する

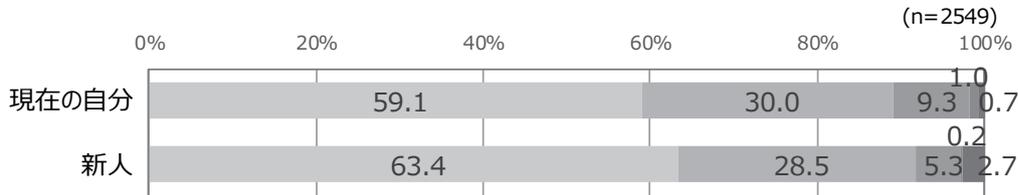


[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

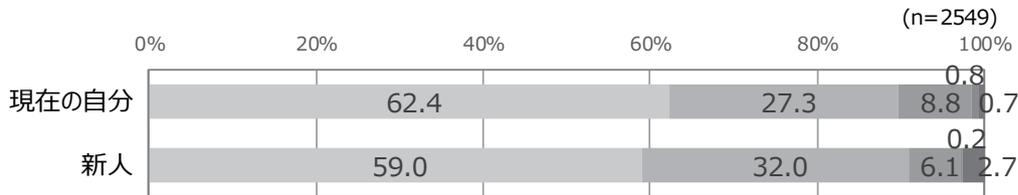
Q3A-5-3【あなた・必要性】精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用の方法について理解する
 Q3B-5-3【新人・必要性】精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用の方法について理解する



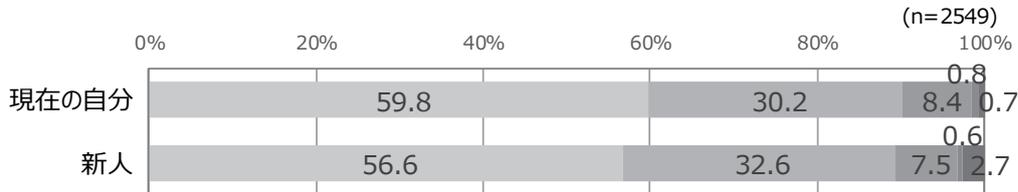
Q3A-5-4【あなた・必要性】精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する
 Q3B-5-4【新人・必要性】精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する



Q3A-5-5【あなた・必要性】精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する
 Q3B-5-5【新人・必要性】精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する



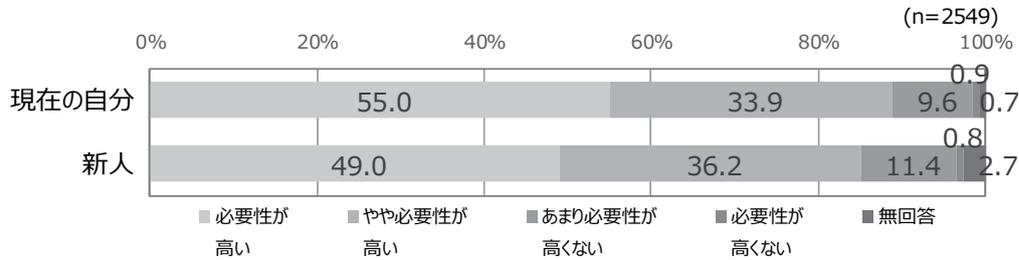
Q3A-5-6【あなた・必要性】精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する
 Q3B-5-6【新人・必要性】精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

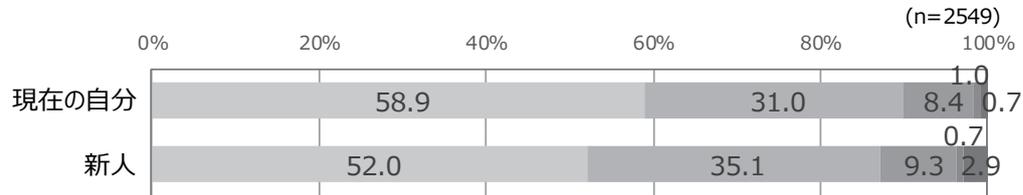
Q3A-5-7【あなた・必要性】地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する

Q3B-5-7【新人・必要性】地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する



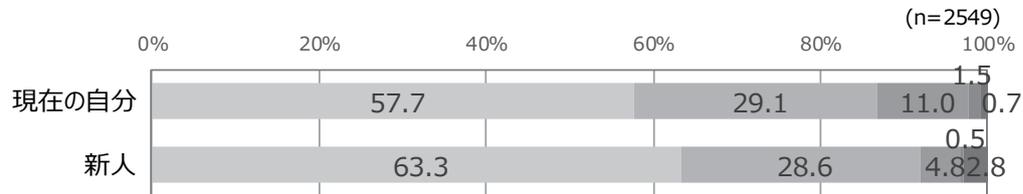
Q3A-5-8【あなた・必要性】地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する

Q3B-5-8【新人・必要性】地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する



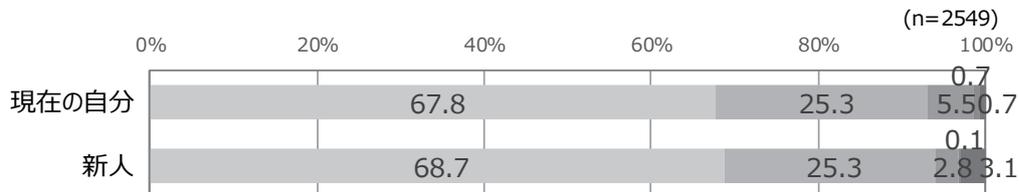
Q3A-6-1【あなた・必要性】精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する

Q3B-6-1【新人・必要性】精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する



Q3A-6-2【あなた・必要性】精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する

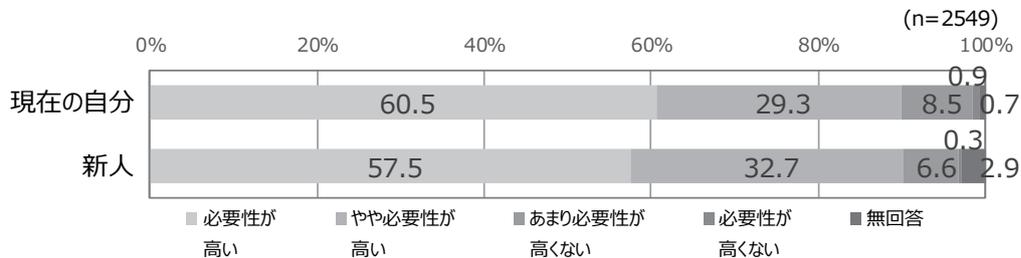
Q3B-6-2【新人・必要性】精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

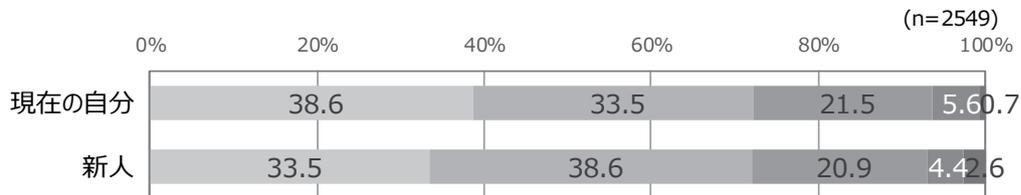
Q3A-6-3【あなた・必要性】精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する

Q3B-6-3【新人・必要性】精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する



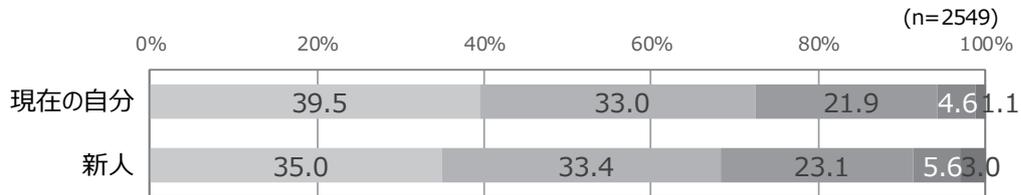
Q3A-6-4【あなた・必要性】更生保護制度と医療観察法について理解する

Q3B-6-4【新人・必要性】更生保護制度と医療観察法について理解する



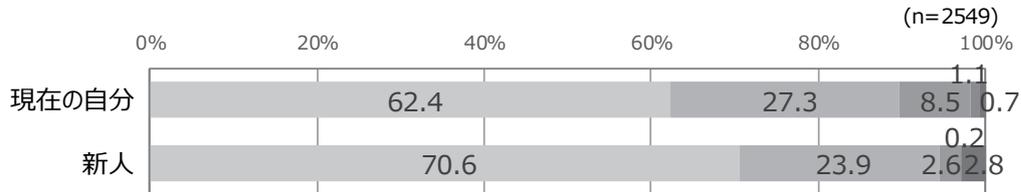
Q3A-6-5【あなた・必要性】社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する

Q3B-6-5【新人・必要性】社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する



Q3A-7-1【あなた・必要性】精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する

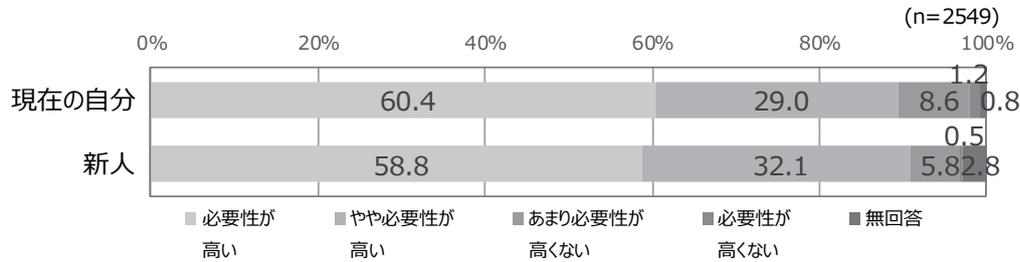
Q3B-7-1【新人・必要性】精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

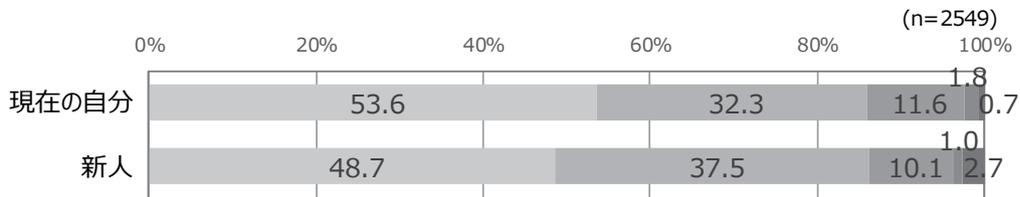
Q3A-7-2【あなた・必要性】精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する

Q3B-7-2【新人・必要性】精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する



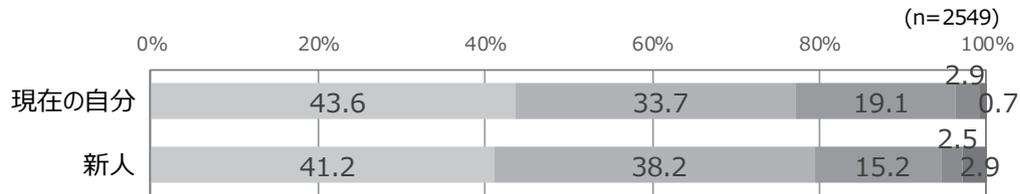
Q3A-7-3【あなた・必要性】職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談 援助活動について理解する

Q3B-7-3【新人・必要性】職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談 援助活動について理解する



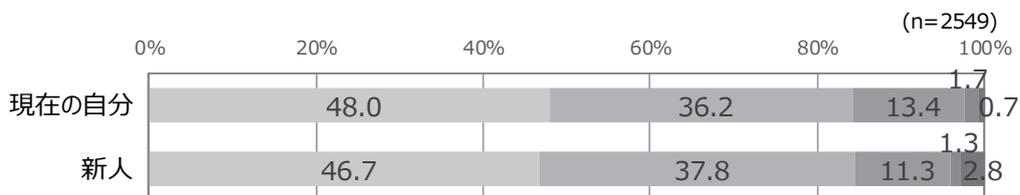
Q3A-7-4【あなた・必要性】行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する

Q3B-7-4【新人・必要性】行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する



Q3A-8-1【あなた・必要性】心理機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する

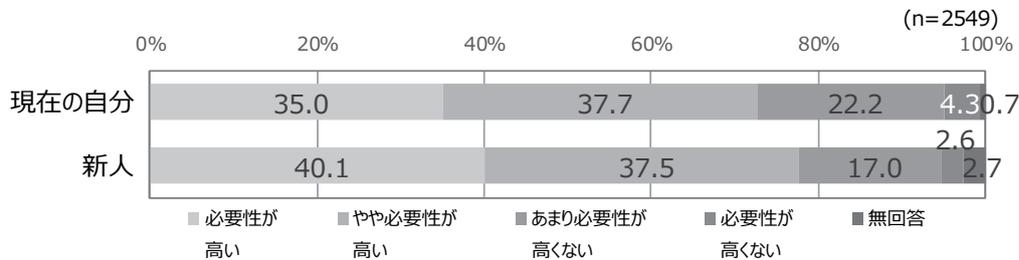
Q3B-8-1【新人・必要性】心理機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

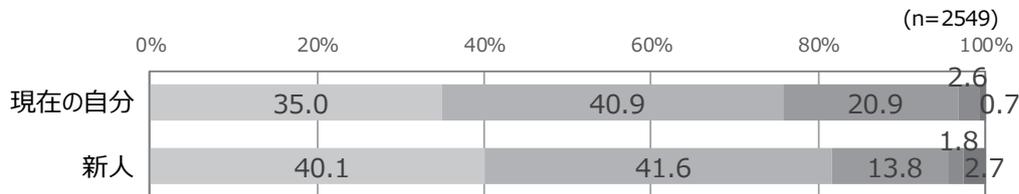
Q3A-8-2【あなた・必要性】国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する

Q3B-8-2【新人・必要性】国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する



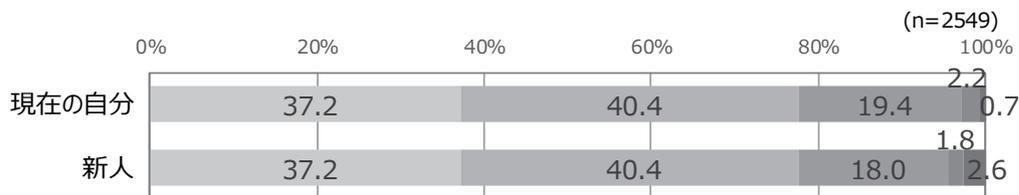
Q3A-8-3【あなた・必要性】リハビリテーションの概要について理解する

Q3B-8-3【新人・必要性】リハビリテーションの概要について理解する



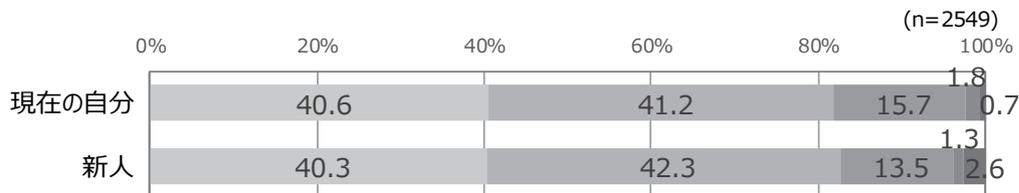
Q3A-9-1【あなた・必要性】心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する

Q3B-9-1【新人・必要性】心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する



Q3A-9-2【あなた・必要性】人の成長・発達と心理との関係について理解する

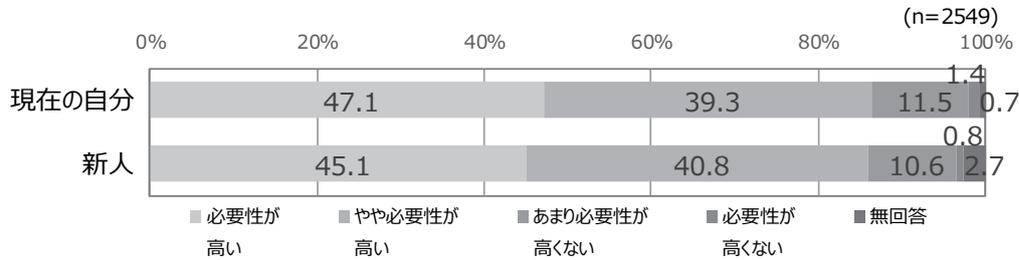
Q3B-9-2【新人・必要性】人の成長・発達と心理との関係について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

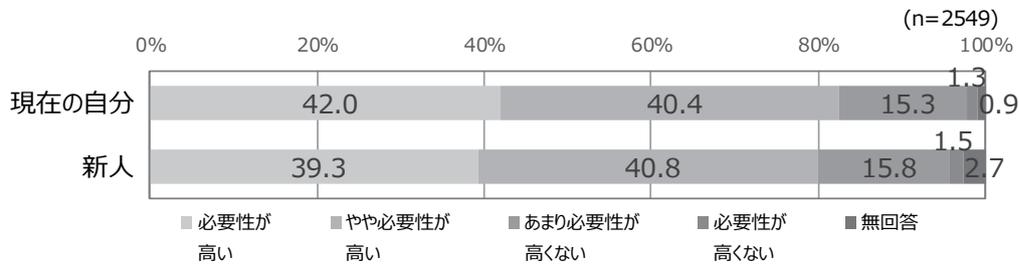
Q3A-9-3【あなた・必要性】日常生活と心の健康との関係について理解する

Q3B-9-3【新人・必要性】日常生活と心の健康との関係について理解する



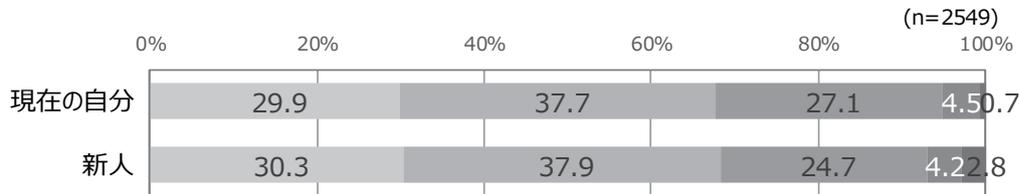
Q3A-9-4【あなた・必要性】心理的支援の方法と実際について理解する

Q3B-9-4【新人・必要性】心理的支援の方法と実際について理解する



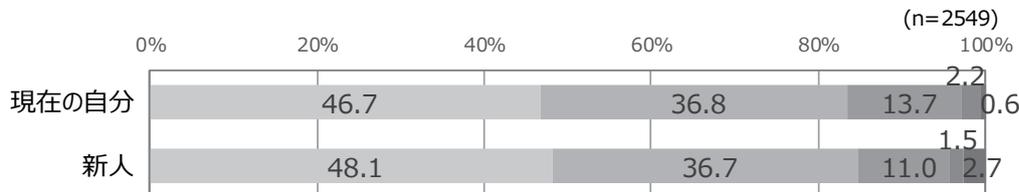
Q3A-10-1【あなた・必要性】社会理論による現代社会の捉え方を理解する

Q3B-10-1【新人・必要性】社会理論による現代社会の捉え方を理解する



Q3A-10-2【あなた・必要性】生活について理解する

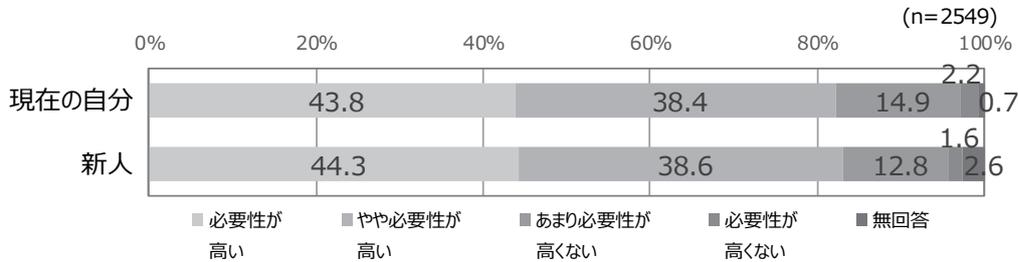
Q3B-10-2【新人・必要性】生活について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

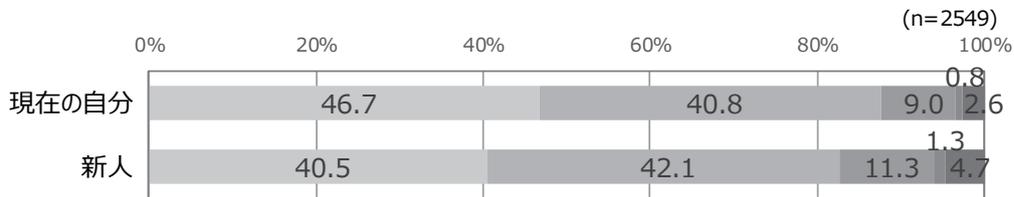
Q3A-10-3【あなた・必要性】人と社会の関係について理解する

Q3B-10-3【新人・必要性】人と社会の関係について理解する



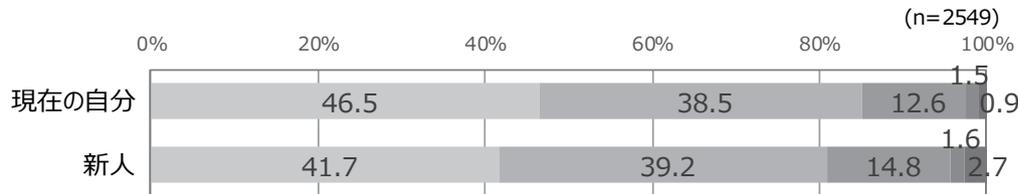
Q3A-10-4【あなた・必要性】社会問題について理解する

Q3B-10-4【新人・必要性】社会問題について理解する



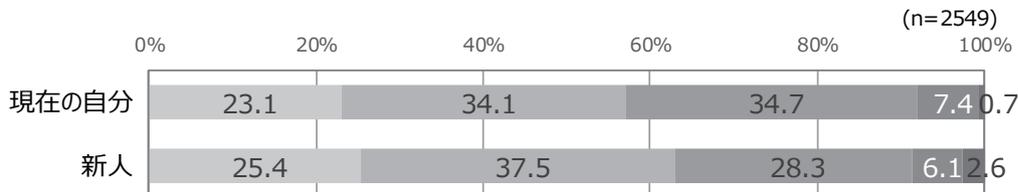
Q3A-11-1【あなた・必要性】現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する

Q3B-11-1【新人・必要性】現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する



Q3A-11-2【あなた・必要性】福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する

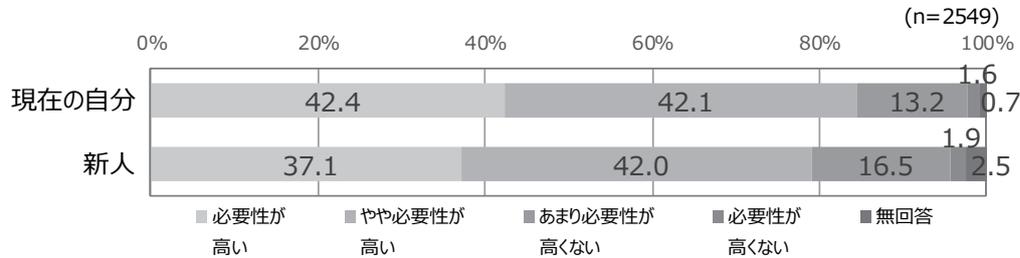
Q3B-11-2【新人・必要性】福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

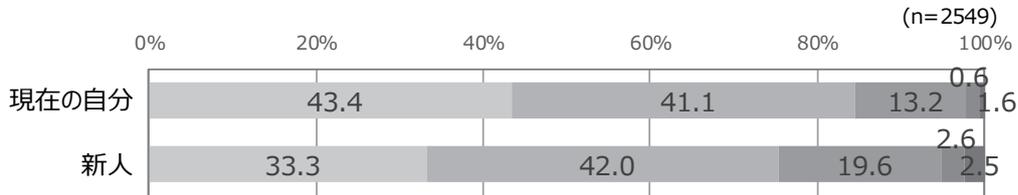
Q3A-11-3【あなた・必要性】福祉政策におけるニーズと資源について理解する

Q3B-11-3【新人・必要性】福祉政策におけるニーズと資源について理解する



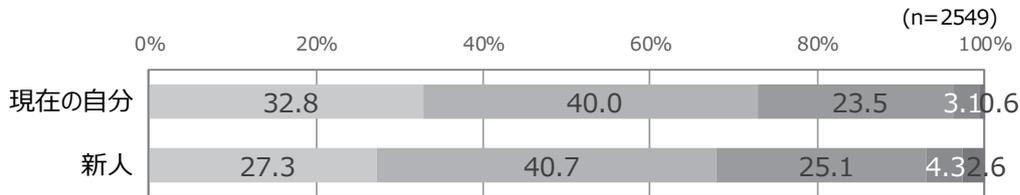
Q3A-11-4【あなた・必要性】福祉政策の課題について理解する

Q3B-11-4【新人・必要性】福祉政策の課題について理解する



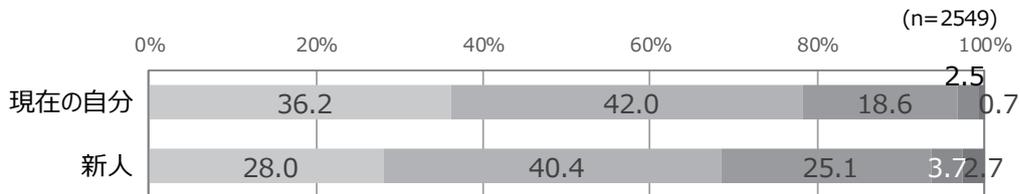
Q3A-11-5【あなた・必要性】福祉政策の構成要素について理解する

Q3B-11-5【新人・必要性】福祉政策の構成要素について理解する



Q3A-11-6【あなた・必要性】福祉政策と関連政策の関係について理解する

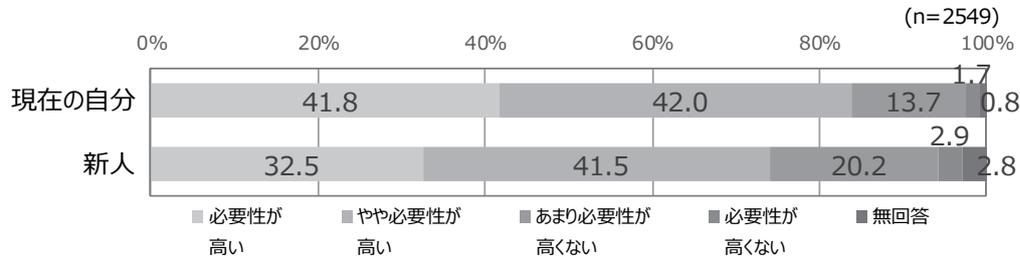
Q3B-11-6【新人・必要性】福祉政策と関連政策の関係について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

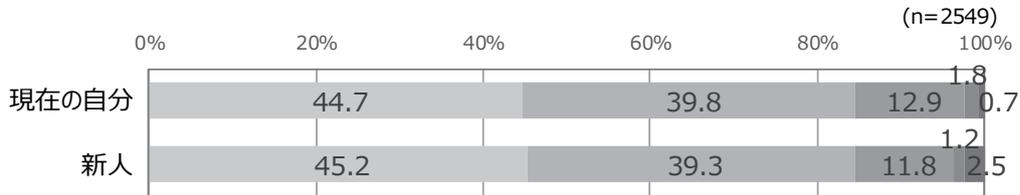
Q3A-11-7【あなた・必要性】相談援助活動と福祉政策との関係について理解する

Q3B-11-7【新人・必要性】相談援助活動と福祉政策との関係について理解する



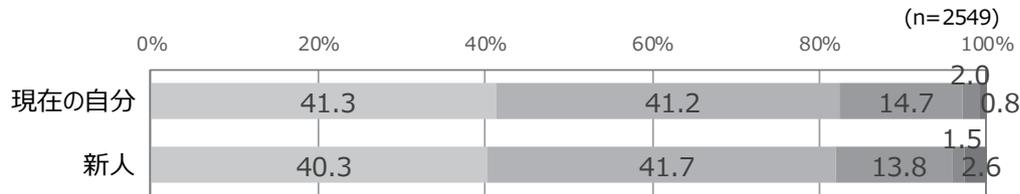
Q3A-12-1【あなた・必要性】地域福祉の基本的考え方について理解する

Q3B-12-1【新人・必要性】地域福祉の基本的考え方について理解する



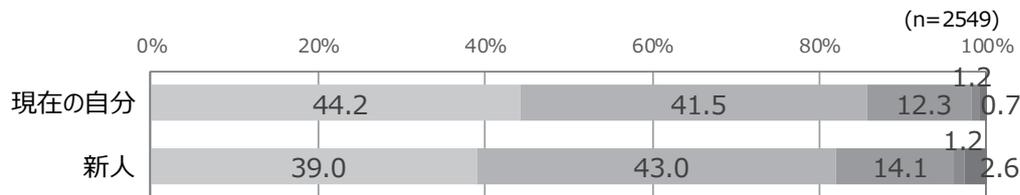
Q3A-12-2【あなた・必要性】地域福祉の主体と対象について理解する

Q3B-12-2【新人・必要性】地域福祉の主体と対象について理解する



Q3A-12-3【あなた・必要性】地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する

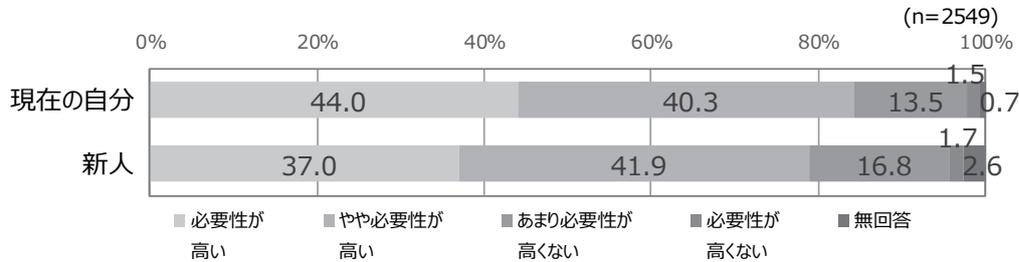
Q3B-12-3【新人・必要性】地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

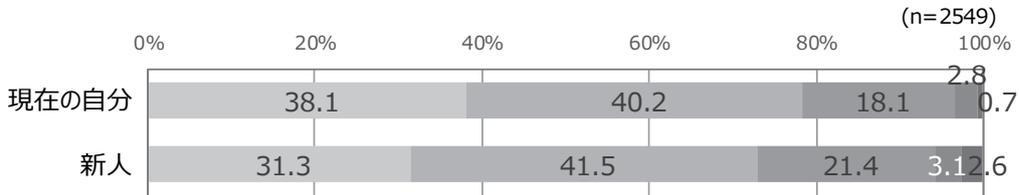
Q3A-12-4【あなた・必要性】地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する

Q3B-12-4【新人・必要性】地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する



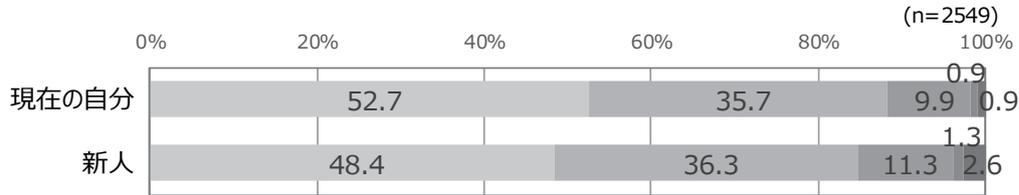
Q3A-12-5【あなた・必要性】地域福祉の推進方法について理解する

Q3B-12-5【新人・必要性】地域福祉の推進方法について理解する



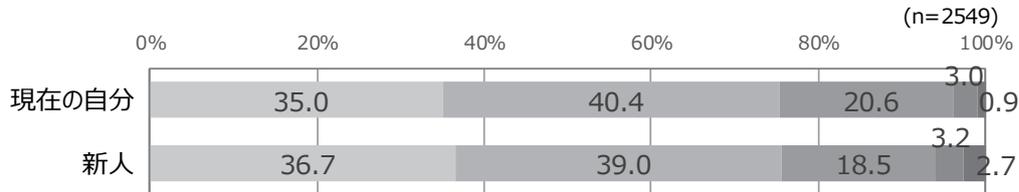
Q3A-13-1【あなた・必要性】現代社会における社会保障制度の課題について理解する

Q3B-13-1【新人・必要性】現代社会における社会保障制度の課題について理解する



Q3A-13-2【あなた・必要性】社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する

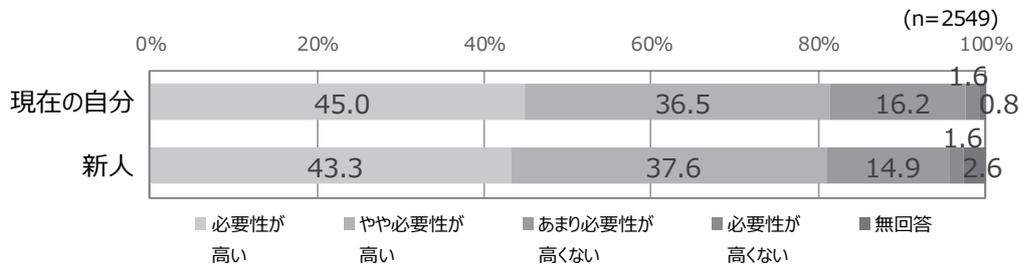
Q3B-13-2【新人・必要性】社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

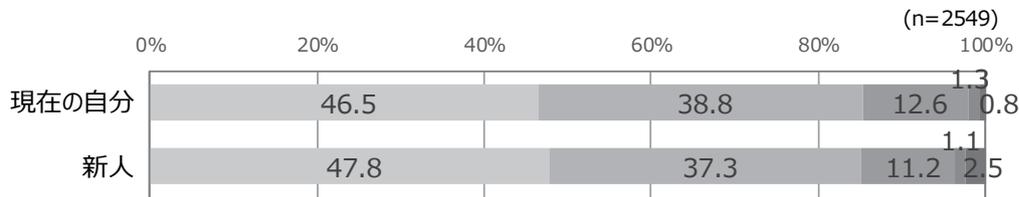
Q3A-13-3【あなた・必要性】公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する

Q3B-13-3【新人・必要性】公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する



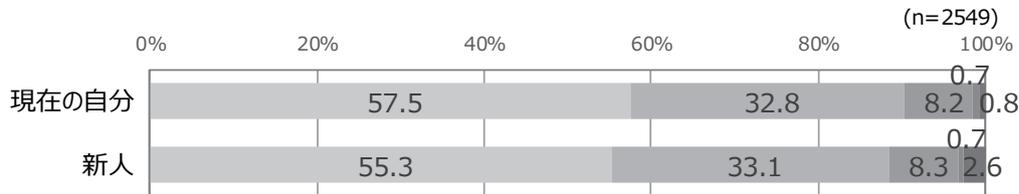
Q3A-13-4【あなた・必要性】社会保障制度の体系と概要について理解する

Q3B-13-4【新人・必要性】社会保障制度の体系と概要について理解する



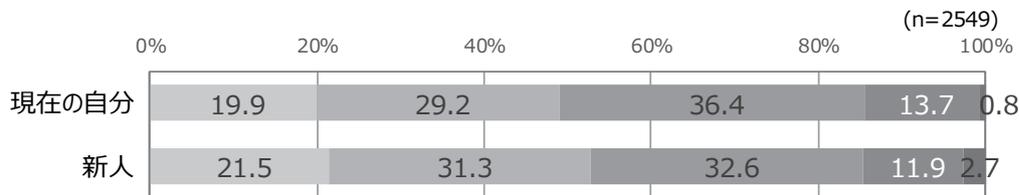
Q3A-13-5【あなた・必要性】年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する

Q3B-13-5【新人・必要性】年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する



Q3A-13-6【あなた・必要性】諸外国における社会保障制度の概要について理解する

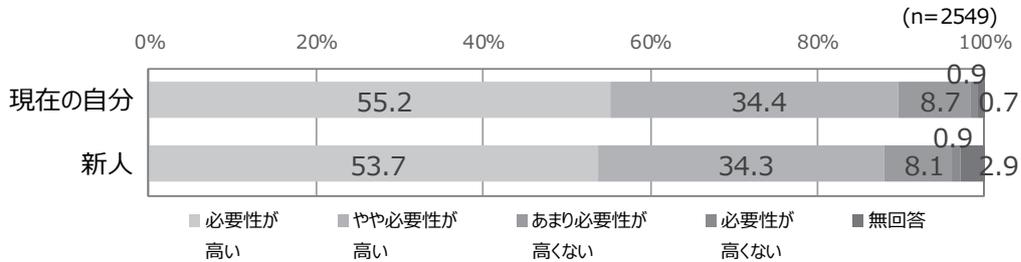
Q3B-13-6【新人・必要性】諸外国における社会保障制度の概要について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

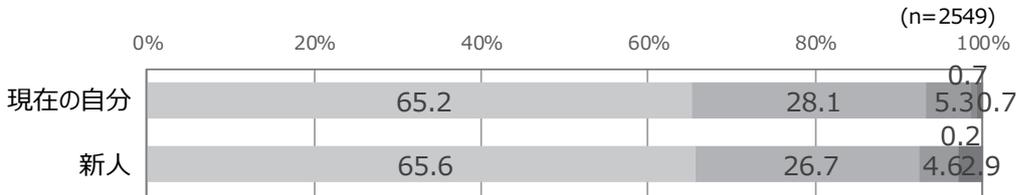
Q3A-14-1【あなた・必要性】低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する

Q3B-14-1【新人・必要性】低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する



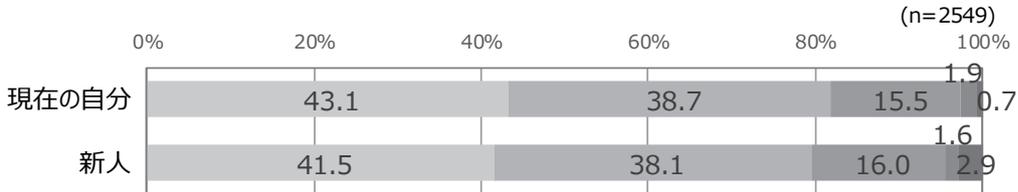
Q3A-14-2【あなた・必要性】相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する

Q3B-14-2【新人・必要性】相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する



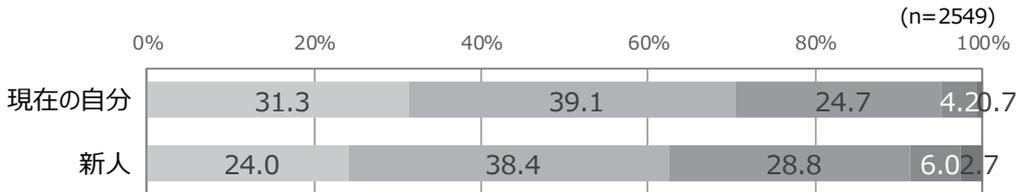
Q3A-14-3【あなた・必要性】自立支援プログラムの意義とその実際について理解する

Q3B-14-3【新人・必要性】自立支援プログラムの意義とその実際について理解する



Q3A-15-1【あなた・必要性】福祉の行財政の実施体制について理解する

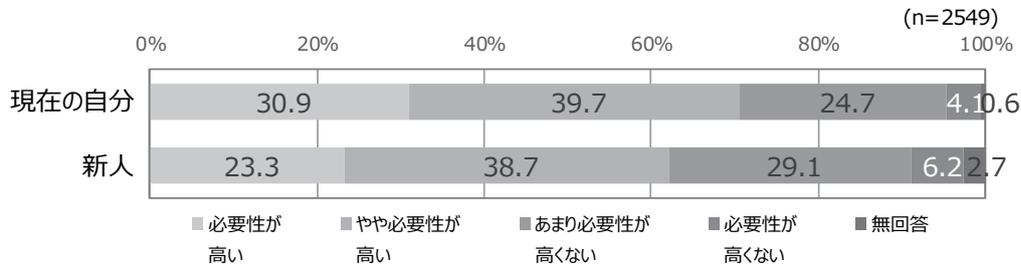
Q3B-15-1【新人・必要性】福祉の行財政の実施体制について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

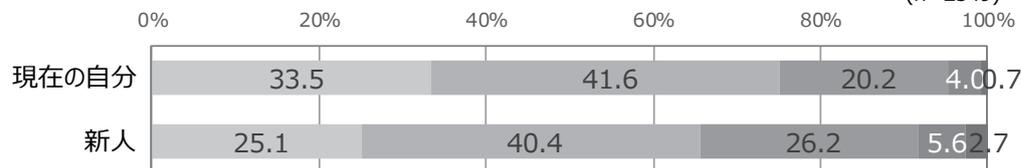
Q3A-15-2【あなた・必要性】福祉行財政の実際について理解する

Q3B-15-2【新人・必要性】福祉行財政の実際について理解する



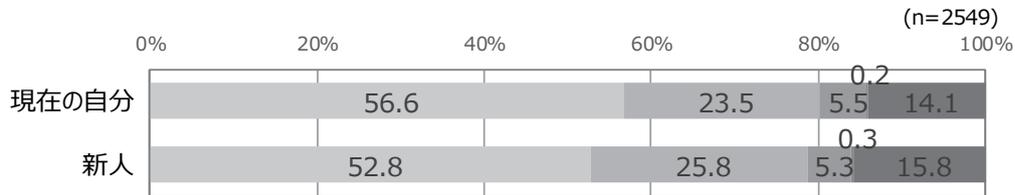
Q3A-15-3【あなた・必要性】福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する

Q3B-15-3【新人・必要性】福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する



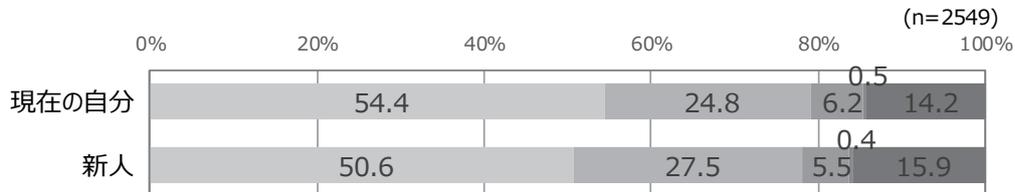
Q3A-16-1【あなた・必要性】相談援助活動において必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解する

Q3B-16-1【新人・必要性】相談援助活動において必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解する



Q3A-16-2【あなた・必要性】保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する

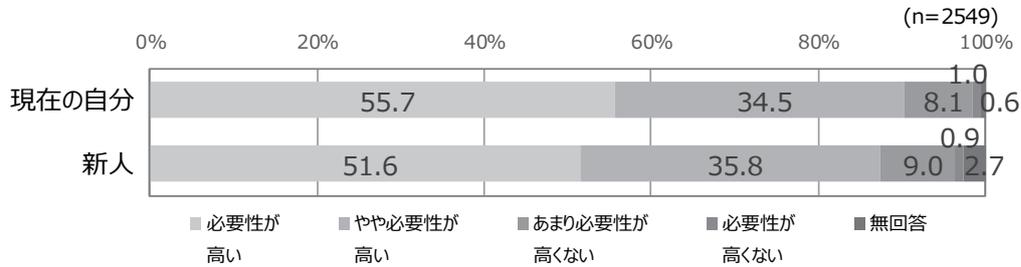
Q3B-16-2【新人・必要性】保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ】

Q3A-17-1【あなた・必要性】相談援助活動と法との関わりについて理解する

Q3B-17-1【新人・必要性】相談援助活動と法との関わりについて理解する



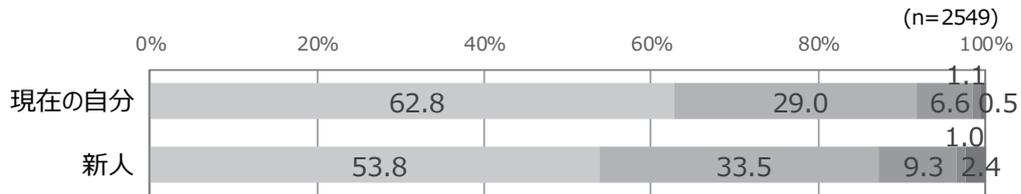
Q3A-17-2【あなた・必要性】相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する

Q3B-17-2【新人・必要性】相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する



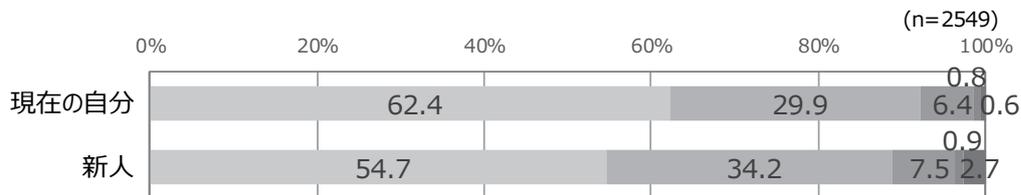
Q3A-17-3【あなた・必要性】成年後見制度の実際について理解する

Q3B-17-3【新人・必要性】成年後見制度の実際について理解する



Q3A-17-4【あなた・必要性】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する

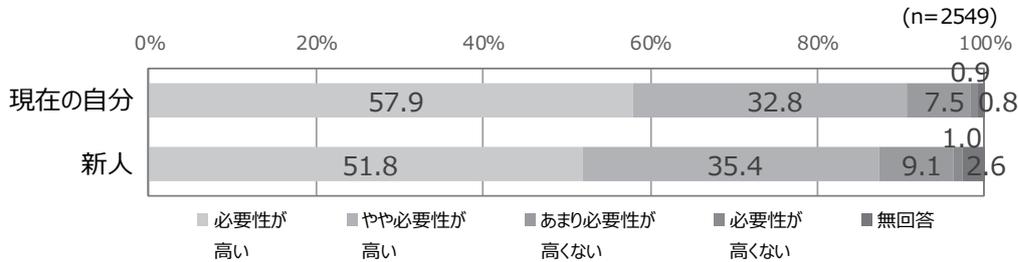
Q3B-17-4【新人・必要性】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する



[精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：現在のあなたにとって、B：精神保健福祉士の資格を取得して就職した直後の者（「新人」）にとっての必要性の高さ]

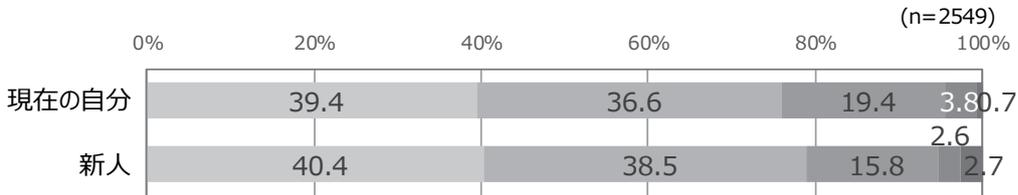
Q3A-18-1【あなた・必要性】障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する

Q3B-18-1【新人・必要性】障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する



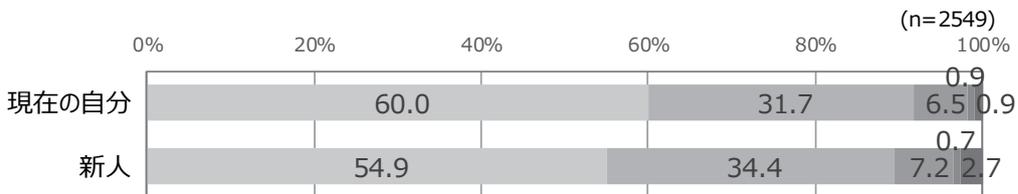
Q3A-18-2【あなた・必要性】障害者福祉制度の発展過程について理解する

Q3B-18-2【新人・必要性】障害者福祉制度の発展過程について理解する



Q3A-18-3【あなた・必要性】相談援助活動において必要となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する

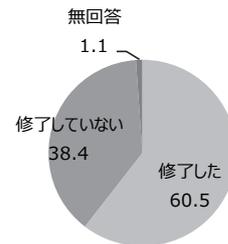
Q3B-18-3【新人・必要性】相談援助活動において必要となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する



[精神保健援助実習に関する質問]

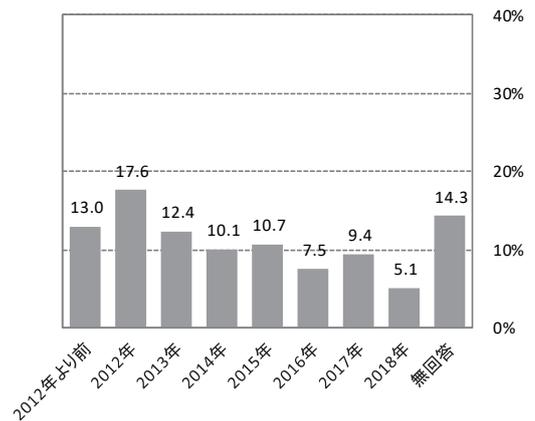
Q4-1-1実習指導者講習会の受講の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修了した	1543	60.5
2	修了していない	978	38.4
	無回答	28	1.1
	回答者数	2549	100



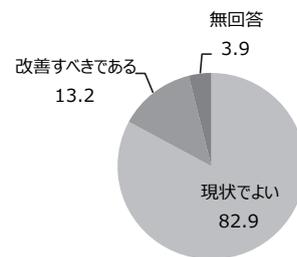
Q4-1-1-2【西暦】実習指導者講習会 修了年度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2012年より前に受講した	200	13.0
2	2012年	271	17.6
3	2013年	192	12.4
4	2014年	156	10.1
5	2015年	165	10.7
6	2016年	115	7.5
7	2017年	145	9.4
8	2018年以降	79	5.1
	無回答	220	14.3
	回答者数	1543	100



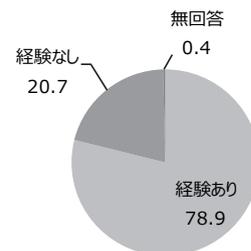
Q4-1-2講習会の内容について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現状でよい	1279	82.9
2	改善すべきである	204	13.2
	無回答	60	3.9
	回答者数	1543	100



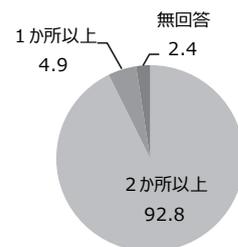
Q4-2実習指導者講習会修了後の実習指導の経験

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経験あり	1217	78.9
2	経験なし	320	20.7
	無回答	6	0.4
	回答者数	1543	100



Q4-3-1現在の精神保健福祉援助実習に関する基準について

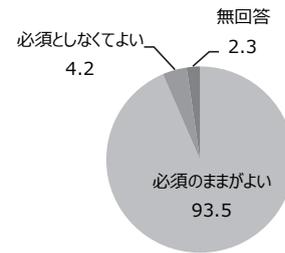
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2か以上のまがよい	2365	92.8
2	1か以上がよい	124	4.9
	無回答	60	2.4
	回答者数	2549	100



[精神保健援助実習に関する質問]

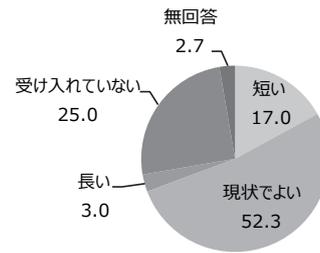
Q4-3-2医療機関における実習について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必須のままがよい	2384	93.5
2	必須としなくてよい	107	4.2
	無回答	58	2.3
	回答者数	2549	100



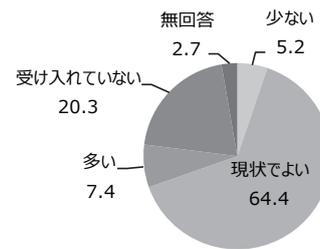
Q4-3-3所属機関における実習時間/日数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短い	434	17.0
2	現状でよい	1334	52.3
3	長い	76	3.0
4	実習を受け入れていない	637	25.0
	無回答	68	2.7
	回答者数	2549	100



Q4-3-4週1回以上の教員指導（帰校日と巡回指導）の頻度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	少ない	132	5.2
2	現状でよい	1642	64.4
3	多い	188	7.4
4	実習を受け入れていない	517	20.3
	無回答	70	2.7
	回答者数	2549	100



2. 精神保健福祉士養成課程のある大学・養成施設を対象とした調査

(1) 調査の概要

①目的

精神保健福祉士に求められる役割や機能の拡充に伴い、現行のカリキュラムに関して、養成課程における教育内容及び資質向上の在り方等に関する調査研究を行い、厚生労働省に設置された「精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会」での検討に資することを目的とする。

②対象

精神保健福祉士の養成課程を設置しているすべての学校・施設を対象とし、同じ学校等において複数の養成課程がある場合はそれぞれを対象とした。回答者は精神保健福祉士の国家試験科目を担当している教員とした(教員が複数の場合は、教務に関する主任者を回答者とするほか、各科目の担当者へ調査の上で取りまとめるなどの依頼を行った)。

- 精神保健福祉士の養成課程がある大学 166 か所
- 精神保健福祉士養成施設 72 か所
- 合計 238 か所

③方法

郵送調査法(自記式)による質問紙調査

④回答期間

2019年2月1日～2019年2月15日

⑤回答率

回答数:145件

対象数:238か所

回答率:60.9%

(2) 調査の結果

基礎的調査項目

- 養成校の種別としては、四年制大学が70.3%、一般養成施設が13.8%、短期養成施設が11.7%であった。
- 養成校の形態は、通学制が77.2%、通信制が18.6%であった。
- 社会福祉士の養成課程がある養成校は86.2%であった。
- 養成の仕組みでは、二段階方式(社会福祉士の養成を前提に精神保健福祉士の養成を上乗せする仕組み)が36.6%で、次いで単独方式(精神保健福祉士のみを養成する仕組み)が18.6%、選択方式(並列方式または二資格択一を選択できる仕組み)が17.2%、並列方式(社

会福祉士と精神保健福祉士の双方を並列して養成する仕組み)14.5%、二資格択一方式(社会福祉士または精神保健福祉士の養成どちらかを選択する仕組み)が6.2%であった。

- 2018年度の養成課程の定員は、割合の高い順から、「11～20人」35.4%、「31～40人」25.0%、「100人以上」9.7%、「51～99人」9.0%、「21～30人」7.6%、「1～10人」と「41～50人」がともに4.9%であった。
- 2018年度の養成課程修了者数の見込(実数)は、「1～10人」が47.6%と高く、次いで「11～20人」が23.4%、「21～30人」が12.4%、100人以上が6.2%、「51～99人」が4.1%、「31～40人」が2.1%、「修了者なし」が1.4%、「41～50人」が0.7%であった。

演習・実習科目に関する調査項目

【開講数】

- 精神保健福祉援助演習(基礎)の開講数は、割合の高い順から、1クラス47.6%、2クラス17.9%、4クラス以上9.7%、3クラス5.5%、開講なし2.8%であった。
- 精神保健福祉援助演習(専門)の開講数は、割合の高い順から、1クラス63.4%、2クラス20.0%、4クラス以上8.3%、3クラス4.8%であった。
- 精神保健福祉援助実習指導の開講数は、割合の高い順から、1クラス60.7%、2クラス24.1%、3クラス8.3%、4クラス以上2.1%であった。
- 精神保健福祉援助実習の開講数は、割合の高い順から、1クラス64.8%、2クラス19.3%、3クラス5.5%、4クラス以上1.4%であった。

【開講学年】

- 精神保健福祉援助演習(基礎)の開講学年は、割合の高い順から、3年40.7%、2年34.5%、1年24.8%、4年9.7%であった。
- 精神保健福祉援助演習(専門)の開講学年は、割合の高い順から、4年60.0%、3年33.1%、1年20.0%、2年7.6%であった。
- 精神保健福祉援助実習指導の開講学年は、割合の高い順から、3年62.8%、4年61.4%、1年22.1%、2年10.3%であった。
- 精神保健福祉援助実習の開講学年は、割合の高い順から、4年61.4%、3年29.0%、1年20.7%、2年5.5%であった。
- 社会福祉士演習科目との読替免除がある養成課程は42.8%、ない養成課程は51.0%であった。

【担当教員数】

- 精神保健福祉援助演習(基礎)の担当教員数は、割合の高い順から、「1～2人」49.0%、「3～4人」15.9%、「5～9人」12.4%、「10人以上」6.2%であった。
- 精神保健福祉援助演習(専門)の担当教員数は、割合の高い順から、「1～2人」65.5%、「3～4人」17.2%、「5～9人」9.7%、「10人以上」4.1%であった。
- 精神保健福祉援助実習指導の担当教員数は、割合の高い順から、「1～2人」55.9%、「3～4

人」34.5%、「5～9人」5.5%、「10人以上」2.1%であった。

- 精神保健福祉援助実習の担当教員数は、割合の高い順から、「1～2人」49.7%、「3～4人」36.6%、「10人以上」6.2%、「5～9人」5.5%であった。
- 専任(常勤)の精神保健福祉援助演習(基礎)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」53.8%、「3～4人」13.8%、「5～9人」9.7%、「該当者なし」4.8%、「10人以上」2.8%であった。
- 専任(常勤)の精神保健福祉援助演習(専門)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」75.2%、「3～4人」13.8%、「該当者なし」4.8%、「5～9人」1.4%であった。
- 専任(常勤)の精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」65.5%、「3～4人」28.3%、「5～9人」2.8%、「該当者なし」0.7%であった。
- 専任(常勤)の精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」60.7%、「3～4人」31.7%、「5～9人」3.4%であった。
- 非常勤の精神保健福祉援助演習(基礎)の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」41.4%、「1～2人」19.3%、「5～9人」4.8%、「3～4人」2.1%、「10人以上」2.1%であった。
- 非常勤の精神保健福祉援助演習(専門)の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」46.9%、「1～2人」20.0%、「5～9人」4.8%、「3～4人」4.1%、「10人以上」2.8%であった。
- 非常勤の精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」50.3%、「1～2人」17.9%、「3～4人」と「10人以上」がともに2.1%、「5～9人」0.7%であった。
- 非常勤の精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」50.3%、「1～2人」16.6%、「10人以上」5.5%、「3～4人」0.7%であった。
- 精神保健福祉士資格を有する精神保健福祉援助演習(基礎)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」54.5%、「該当者なし」と「3～4人」がともに11.0%、「5～9人」4.1%、「10人以上」2.1%であった。
- 精神保健福祉士資格を有する精神保健福祉援助演習(専門)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」65.5%、「3～4人」13.8%、「5～9人」7.6%、「10人以上」3.4%、「該当者なし」2.8%であった。
- 精神保健福祉士資格を有する精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」63.4%、「3～4人」22.1%、「5～9人」2.8%、「該当者なし」3.4%、「10人以上」2.1%であった。
- 精神保健福祉士資格を有する精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」61.4%、「3～4人」20.7%、「10人以上」6.2%、「該当者なし」3.4%、「5～9人」2.1%であった。
- 実習指定施設での現場経験を有する精神保健福祉援助演習(基礎)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」49.7%、「該当者なし」12.4%、「3～4人」7.6%、「5～9人」4.8%、「10人以上」2.1%であった。
- 実習指定施設での現場経験を有する精神保健福祉援助演習(専門)の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」61.4%、「3～4人」9.7%、「5～9人」6.9%、「該当者なし」5.5%、「10人以上」2.8%であった。
- 実習指定施設での現場経験を有する精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」57.2%、「3～4人」17.9%、「該当者なし」6.9%、「5～9人」2.8%、「10人以

上」1.4%であった。

- 実習指定施設での現場経験を有する精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」53.1%、「3～4人」18.6%、「該当者なし」8.3%、「10人以上」5.5%、「5～9人」0.7%であった。
- 精神保健福祉士・演習教員講習会を受講した精神保健福祉援助演習（基礎）の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」34.5%、「該当者なし」28.3%、「3～4人」6.9%、「5～9人」2.1%であった。
- 精神保健福祉士・演習教員講習会を受講した精神保健福祉援助演習（専門）の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」36.6%、「該当者なし」35.9%、「3～4人」4.8%、「5～9人」1.4%であった。
- 社会福祉士・演習科目を兼務している精神保健福祉援助演習（基礎）の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」37.9%、「1～2人」25.5%、「3～4人」「5～9人」「10人以上」がともに3.4%であった。
- 社会福祉士・演習科目を兼務している精神保健福祉援助演習（専門）の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」49.7%、「1～2人」24.1%、「3～4人」5.5%であった。
- 精神保健福祉士・実習教員講習会受講した精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」46.9%、「該当者なし」26.2%、「3～4人」6.2%、「5～9人」0.7%であった。
- 精神保健福祉士・実習教員講習会受講した精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「1～2人」46.2%、「該当者なし」24.1%、「3～4人」7.6%、「5～9人」1.4%であった。
- 社会福祉士・実習科目を兼務している精神保健福祉援助実習指導の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」55.9%、「1～2人」17.9%、「3～4人」2.8%、「5～9人」1.4%であった。
- 社会福祉士・実習科目を兼務している精神保健福祉援助実習の教員数は、割合の高い順から、「該当者なし」52.4%、「1～2人」20.0%、「3～4人」2.8%、「5～9人」2.1%であった。

【現行の精神保健福祉援助実習の基準について】

- 実習時間を210時間以上としている現行の基準については、「現状でよい」が64.1%、「短い」が26.9%、「長い」が6.9%であった。
- 実習先を2か所以上としている現行の基準については、「2か所以上のままが良い」が69.0%、「1か所以上が良い」が29.7%であった。
- 医療機関における実習を必須としている現行の基準については、「必須のままが良い」が70.3%、「必須としなくてよい」が29.0%であった。
- 医療機関における実習時間を90時間以上としている現行の基準については、「現状でよい」が55.2%、「短い」が36.6%、「長い」が5.5%であった。
- 実習中の教員の指導体制の実態については、「巡回指導1回＋帰校日指導」が34.5%、「巡回指導2回＋帰校日指導」が18.6%、「その他」が13.1%、「巡回指導のみ」が29.7%であった。

精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）の「重要度」と「見直しの必要性」について

【重要度】

- 精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）の「重要度」については、「重要である」と回答した平均割合は 76.2%であった。
- このうち 90%以上が「重要である」と回答した項目は、「精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する」〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉93.8%、「精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて理解する」〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉93.1%、「精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する」〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉92.4%、「精神保健福祉士の役割と意義について理解する」〈精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）〉90.3%、精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する（精神保健福祉相談援助の基盤（専門））90.3%、「精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する」〈精神障害者の生活支援システム〉90.3%であり、すべて専門科目であった。
- 一方、重要であると回答した割合が 70%未満であった項目は、次のとおりであった。

「重要である」と回答した割合が 70%未満の項目（昇順）	%
諸外国における社会保障制度の概要について理解する〈社会保障〉	45.5
社会福祉士の役割と意義について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）〉	53.8
国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する〈精神保健の課題と支援〉	56.6
福祉行財政の実際について理解する〈福祉行財政と福祉計画〉	57.2
福祉政策の構成要素について理解する〈現代社会と福祉〉	58.6
福祉政策と関連政策の関係について理解する〈現代社会と福祉〉	58.6
社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉	60.7
福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する〈福祉行財政と福祉計画〉	61.4
福祉の行財政の実施体制について理解する〈福祉行財政と福祉計画〉	62.8
行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する〈精神障害者の生活支援システム〉	66.2
心理的支援の方法と実際について理解する〈心理学理論と心理的支援〉	66.9
リハビリテーションの概要について理解する〈人体の構造と機能及び疾病〉	66.9
公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する〈社会保障〉	68.3
社会理論による現代社会の捉え方を理解する〈社会理論と社会システム〉	68.3
福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する〈現代社会と福祉〉	68.3
地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する〈地域福祉の理論と方法〉	69.7

【見直しの必要性】

- 精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい(目標)の見直しの必要性について、「見直しの必要なし」と回答した平均割合は 64.0%であった。
- 「必要の見直しなし」と回答した割合が 70%以上の項目は、次のとおりであった。

「必要の見直しなし」と会というした割合が 70%以上の項目	%
精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する〈精神保健の課題と支援〉	75.2
精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉	72.4
代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する〈精神疾患とその治療〉	71.7
精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉	71.7
精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	71.7
社会保障制度の体系と概要について理解する〈社会保障〉	71.7
精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する〈精神障害者の生活支援システム〉	71.0
心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する〈心理学理論と心理的支援〉	71.0
地域福祉の基本的考え方について理解する〈地域福祉の理論と方法〉	71.0
社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する〈社会保障〉	71.0
精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する〈精神疾患とその治療〉	70.3

- 精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい(目標)の見直しの必要性について、「主に内容の追加が必要」と回答した割合の上位 10 項目は、次のとおりであった。

「主に内容の追加が必要」と回答した割合の高い上位 10 項目（降順）	%
精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉	18.6
精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	18.6
地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	18.6
現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する〈精神保健の課題と支援〉	17.2
成年後見制度の実際について理解する〈権利擁護と成年後見制度〉	16.6
地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	15.9
社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する〈権利擁護と成年後見制度〉	15.9
精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（専門）〉	15.2

「主に内容の追加が必要」と回答した割合の高い上位 10 項目（降順）	%
精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	15.2
精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて理解する〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉	15.2

- 同じく見直しの必要性について、「主に内容の変更が必要」と回答した割合の高い 項目の上位 10 位は、次のとおりであった。

「主に内容の変更が必要」と回答した割合の高い上位 10 項目（降順）	%
精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉	11.0
国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する〈精神保健の課題と支援〉	10.3
諸外国における社会保障制度の概要について理解する〈社会保障〉	10.3
社会福祉士の役割と意義について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）〉	9.7
地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	9.7
福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する〈現代社会と福祉〉	9.0
地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する〈地域福祉の理論と方法〉	9.0
代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する〈精神疾患とその治療〉	8.3
精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する〈精神疾患とその治療〉	8.3
精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用する方法について理解する〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉	8.3

- 同じく見直しの必要性について、「他科目で回答すべき」と回答した割合の高い項目の上位 10 位は、次のとおりであった。

「他科目で対応すべき」と回答した割合の高い上位 10 項目（降順）	%
社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉	29.0
職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談 援助活動について理解する〈精神障害者の生活支援システム〉	17.2
精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する〈精神疾患とその治療〉	15.2
更生保護制度と医療観察法について理解する〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉	15.2
行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する〈精神障害者の生活支援システム〉	15.2
社会福祉士の役割と意義について理解する〈精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）〉	13.8
精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する〈精神疾患とその治療〉	13.1

「他科目で対応すべき」と回答した割合の高い上位 10 項目（降順）	%
国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する（人体の構造と機能及び疾病）	11.7
リハビリテーションの概要について理解する（人体の構造と機能及び疾病）	11.0
精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する（精神保健の課題と支援）	9.7

- ・ 上記の「主に内容の追加が必要」「主に内容の変更が必要」「他科目で対応すべき」を合わせて「何らかの見直しが必要」と回答した割合の高い項目の上位 10 位は、次のとおりであった。

何らかの見直しが必要と回答した割合が高い上位 10 項目（降順）	%
社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する（精神保健福祉に関する制度とサービス）	46.2
更生保護制度と医療観察法について理解する（精神保健福祉に関する制度とサービス）	37.3
行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する（精神障害者の生活支援システム）	37.3
職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する（精神障害者の生活支援システム）	35.8
地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する（精神保健福祉の理論と相談援助の展開）	34.5
精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する（精神疾患とその治療）	33.8
地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する（精神保健福祉の理論と相談援助の展開）	31.1
社会福祉士の役割と意義について理解する（精神保健福祉相談援助の基盤（基礎））	30.4
精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する（精神疾患とその治療）	30.3

社会福祉士の専門科目のうち、精神保健福祉士の養成課程でも学習する必要性の高いもの

- ・ 精神保健福祉士の養成課程でも学習する必要性が高い社会福祉士の専門科目で 1 位と 2 位を選択した割合の合計の上位 3 位は、次のとおりであった。

	1 位	2 位	合計
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	17.9	21.4	39.3
就労支援サービス	20.7	15.2	35.9
高齢者に対する支援と介護保険制度	17.9	13.1	31.0

精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）に対する養成校での教示の程度について

- 精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）のうち、「あまり教示できていない」及び「教示できていない」と回答した割合の合計が高い項目の上位 10 位は、次のとおりであった。相対的に【求められる知識】のカテゴリーにおいて、十分に教示できていないと回答する傾向がみられた。

「あまり教示できていない」及び「教示できていない」と回答した割合が高い 10 項目（降順）	%
【求められる知識】ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響	31.7
【求められる知識】他者や外部の資源から援助を受ける、または与える際の心理	26.9
【求められる知識】集団過程、集団が個人に及ぼす影響と個人が集団に及ぼす影響	24.2
【求められる知識】個人間・個人と集団・集団間の関係、相互作用過程	19.3
【求められる知識】地域社会の発展と変化の仕方、社会サービスと資源	19.3
【求められる知識】社会的サービスの内容、組織、方法	17.2
【求められる知識】人間相互の意思伝達の仕方、感情を表現する仕方	16.6
【求められる視点】ミクロ・メゾ・マクロ（個人・集団・組織・地域・社会）の連続性を踏まえた包括的な視点を持つ	15.2
【求められる価値・理念】共生社会の実現（ソーシャルインクルージョン）に向けた活動を行う	12.4
【求められる知識】個人の全体性と「人と環境の相互作用」を重視した人間の発達と行動	11.0

(3) 考察

以上の分析結果から、精神保健福祉士の養成課程における教育内容の見直しにあたっては、次のことが示唆された。

1. 精神保健福祉援助実習の基準について

- 精神保健福祉援助実習は概ね現行の基準を踏襲することが望ましいが、医療機関の実習時間(90時間以上)については、検討の余地がある。

2. 精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい(目標)について

- 社会福祉士との共通科目のねらいにおいて相対的に重要度が低い傾向がみられたため、見直しの検討が必要である。
- 次の専門科目のねらいについて、何らかの見直しを必要とする割合が相対的に高いため、専門科目の内容の見直しにあたっては考慮に入れる必要がある。
 - 〈精神保健福祉に関する制度とサービス〉
 - 〈精神障害者の生活支援システム〉
 - 〈精神保健福祉の理論と相談援助の展開〉
 - 〈精神疾患とその治療〉
 - 〈精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)〉

3. 精神保健福祉士の養成課程においても学習する必要性が高い領域について

- 「児童・家庭」、「高齢者」、「就労」における支援については、学習する機会を持てるように検討する必要がある。

4. 精神保健福祉士に求められる役割(価値・理念、視点、知識)の教示について

- 特に「求められる知識」の次の項目は、十分には教示できていない傾向にあるため、今後の教育内容等の見直しにおいて検討する必要がある。
 - ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響
 - 他者や外部の資源から援助を受ける、または与える際の心理
 - 集団過程、集団が個人に及ぼす影響と個人が集団に及ぼす影響
 - 個人間・個人と集団・集団間の関係、相互作用過程
 - 地域社会の発展と変化の仕方、社会サービスと資源
 - 社会的サービスの内容、組織、方法
 - 人間相互の意思伝達の仕方、感情を表現する仕方

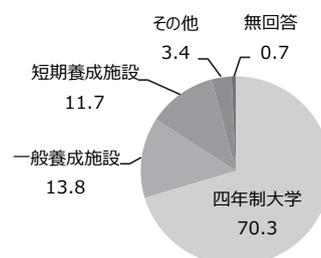
(4) 単純集計の結果

[基礎的調査項目]

Q1-1-1養成校の種類別

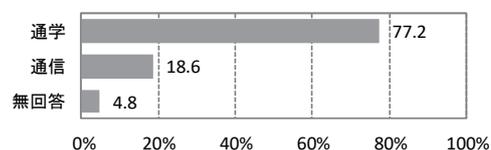
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	四年制大学	102	70.3
2	短期大学	0	0.0
3	一般養成施設	20	13.8
4	短期養成施設	17	11.7
5	その他	5	3.4
6	現在養成課程なし	0	0.0
	無回答	1	0.7
	回答者数	145	100

※『6：現在養成課程なし』の12件は無効票として除外



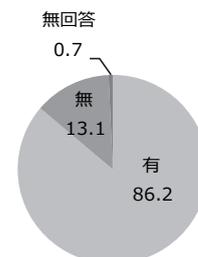
Q1-2養成校の形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学	112	77.2
2	通信	27	18.6
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



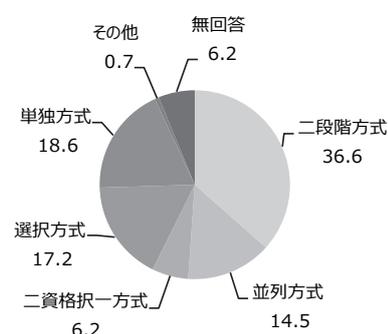
Q1-2-1社会福祉士の養成課程の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有	125	86.2
2	無	19	13.1
	無回答	1	0.7
	回答者数	145	100



Q1-2-2養成の仕組み

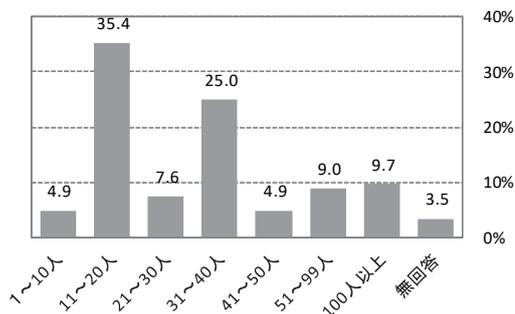
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	二段階方式：社会福祉士の養成を前提に精神保健福祉士の養成を上乗せする仕組み	53	36.6
2	並列方式：社会福祉士と精神保健福祉士の双方を並列して養成する仕組み	21	14.5
3	二資格択一方式：社会福祉士または精神保健福祉士の養成どちらかを選択する仕組み	9	6.2
4	選択方式：2の並列方式または3の二資格択一を選択できる仕組み	25	17.2
5	単独方式：精神保健福祉士のみを養成する仕組み	27	18.6
6	その他	1	0.7
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



〔定員〕

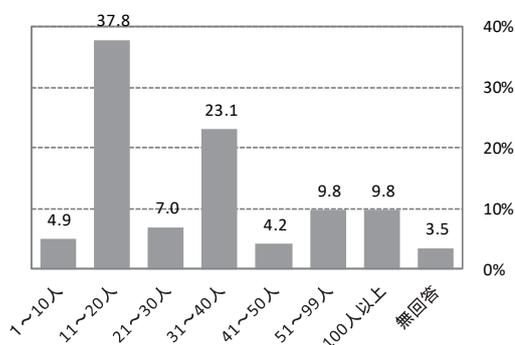
Q1-3-1-1【定員】2018年度（見込）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～10人	7	4.9
2	11～20人	51	35.4
3	21～30人	11	7.6
4	31～40人	36	25.0
5	41～50人	7	4.9
6	51～99人	13	9.0
7	100人以上	14	9.7
	無回答	5	3.5
	回答者数	144	100



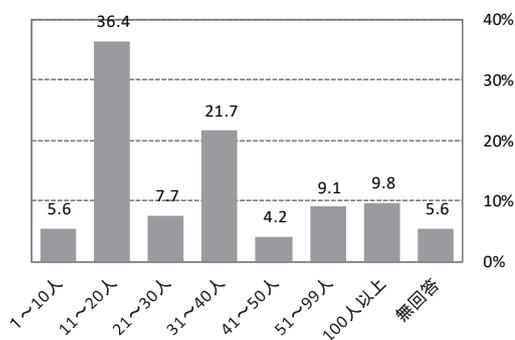
Q1-3-1-2【定員】2017年度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～10人	7	4.9
2	11～20人	54	37.8
3	21～30人	10	7.0
4	31～40人	33	23.1
5	41～50人	6	4.2
6	51～99人	14	9.8
7	100人以上	14	9.8
	無回答	5	3.5
	回答者数	143	100



Q1-3-1-3【定員】2016年度

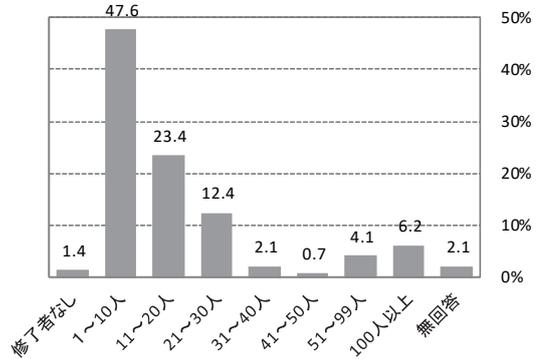
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～10人	8	5.6
2	11～20人	52	36.4
3	21～30人	11	7.7
4	31～40人	31	21.7
5	41～50人	6	4.2
6	51～99人	13	9.1
7	100人以上	14	9.8
	無回答	8	5.6
	回答者数	143	100



〔養成課程の修了者数〕

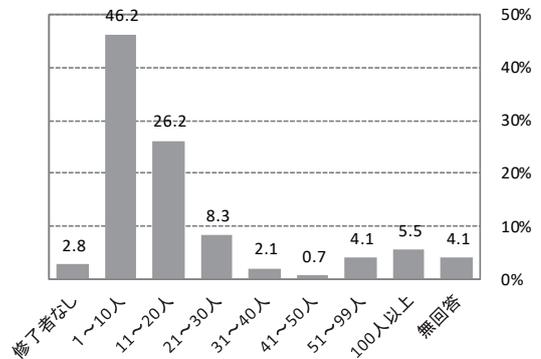
Q1-3-2-1【養成課程修了者数（実数）】2018年度（見込）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修了者なし	2	1.4
2	1～10人	69	47.6
3	11～20人	34	23.4
4	21～30人	18	12.4
5	31～40人	3	2.1
6	41～50人	1	0.7
7	51～99人	6	4.1
8	100人以上	9	6.2
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



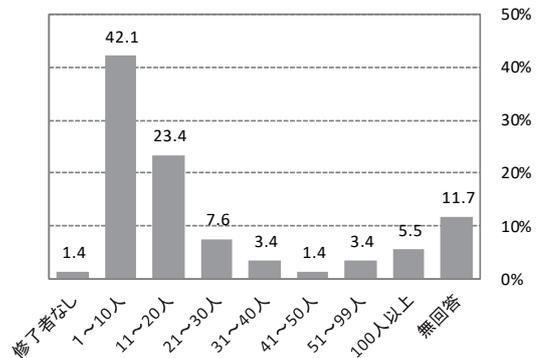
Q1-3-2-2【養成課程修了者数（実数）】2017年度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修了者なし	4	2.8
2	1～10人	67	46.2
3	11～20人	38	26.2
4	21～30人	12	8.3
5	31～40人	3	2.1
6	41～50人	1	0.7
7	51～99人	6	4.1
8	100人以上	8	5.5
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



Q1-3-2-3【養成課程修了者数（実数）】2016年度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	修了者なし	2	1.4
2	1～10人	61	42.1
3	11～20人	34	23.4
4	21～30人	11	7.6
5	31～40人	5	3.4
6	41～50人	2	1.4
7	51～99人	5	3.4
8	100人以上	8	5.5
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100

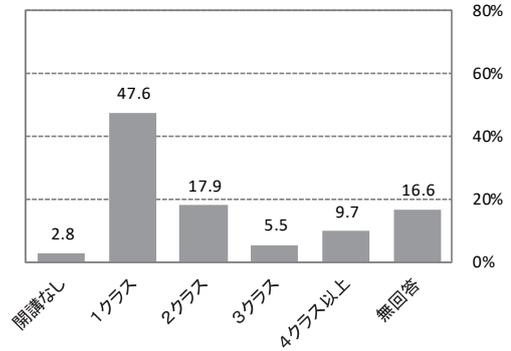


〔演習・実習科目に関する調査項目〕

〔開講状況・クラス数〕

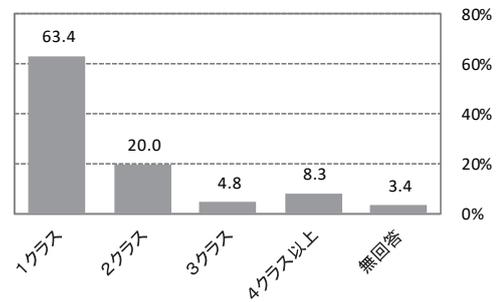
Q2-1-1-1-1【開講状況・クラス数】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	開講なし	4	2.8
2	1クラス	69	47.6
3	2クラス	26	17.9
4	3クラス	8	5.5
5	4クラス以上	14	9.7
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



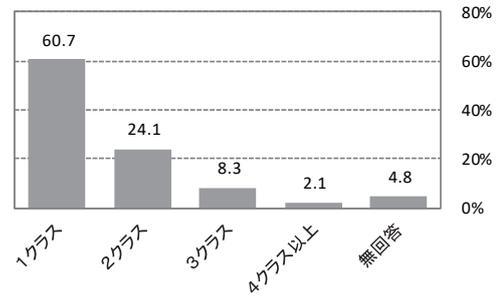
Q2-1-1-1-2【開講状況・クラス数】精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1クラス	92	63.4
2	2クラス	29	20.0
3	3クラス	7	4.8
4	4クラス以上	12	8.3
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



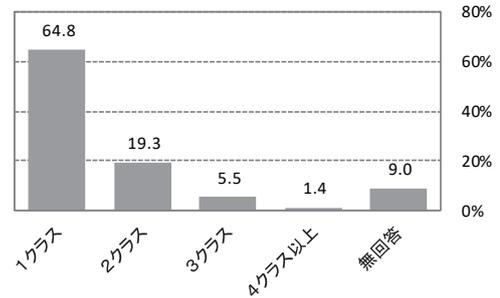
Q2-1-1-1-3【開講状況・クラス数】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1クラス	88	60.7
2	2クラス	35	24.1
3	3クラス	12	8.3
4	4クラス以上	3	2.1
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



Q2-1-1-1-4【開講状況・クラス数】精神保健福祉援助実習

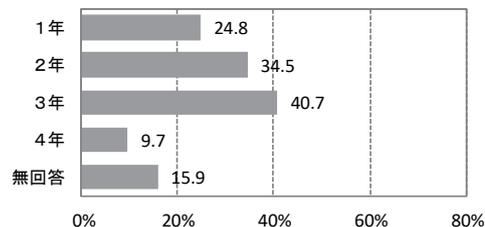
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1クラス	94	64.8
2	2クラス	28	19.3
3	3クラス	8	5.5
4	4クラス以上	2	1.4
	無回答	13	9.0
	回答者数	145	100



〔開講状況・開講学年〕

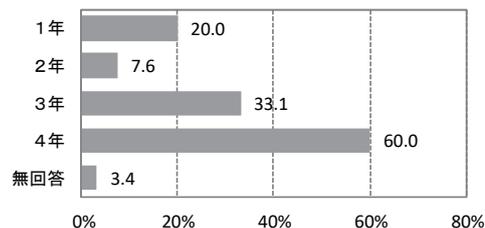
Q2-1-1-2-1【開講状況・開講学年】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	36	24.8
2	2年	50	34.5
3	3年	59	40.7
4	4年	14	9.7
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



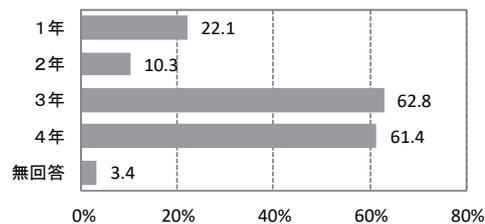
Q2-1-1-2-2【開講状況・開講学年】精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	29	20.0
2	2年	11	7.6
3	3年	48	33.1
4	4年	87	60.0
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



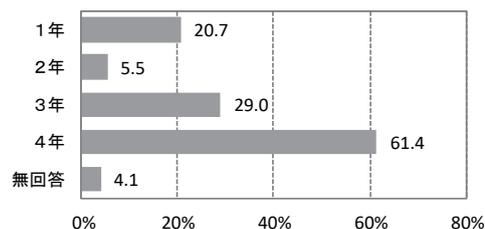
Q2-1-1-2-3【開講状況・開講学年】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	32	22.1
2	2年	15	10.3
3	3年	91	62.8
4	4年	89	61.4
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



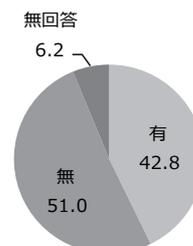
Q2-1-1-2-4【開講状況・開講学年】精神保健福祉援助実習

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	30	20.7
2	2年	8	5.5
3	3年	42	29.0
4	4年	89	61.4
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



Q2-1-1-3【開講状況】社会福祉士演習科目との読替免除の有無

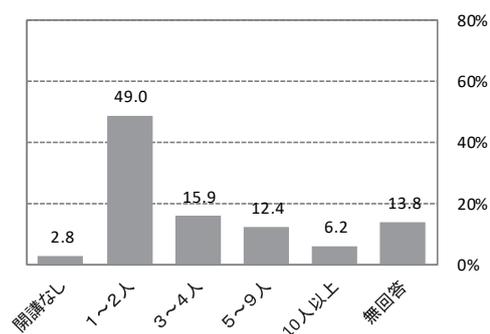
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有	62	42.8
2	無	74	51.0
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



〔担当教員数〕

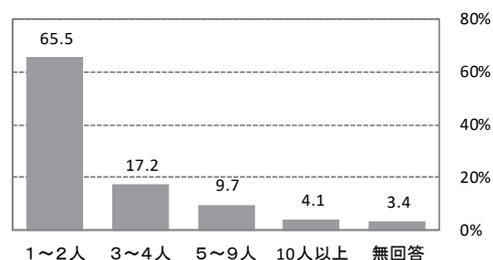
Q2-1-1-4-1【担当教員数】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	開講なし	4	2.8
2	1～2人	71	49.0
3	3～4人	23	15.9
4	5～9人	18	12.4
5	10人以上	9	6.2
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



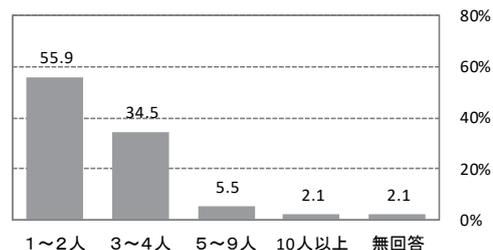
Q2-1-1-4-2【担当教員数】精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～2人	95	65.5
2	3～4人	25	17.2
3	5～9人	14	9.7
4	10人以上	6	4.1
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



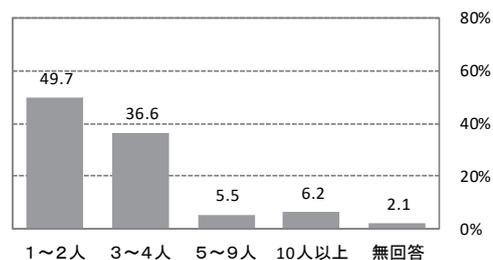
Q2-1-1-4-3【担当教員数】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～2人	81	55.9
2	3～4人	50	34.5
3	5～9人	8	5.5
4	10人以上	3	2.1
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



Q2-1-1-4-4【担当教員数】精神保健福祉援助実習

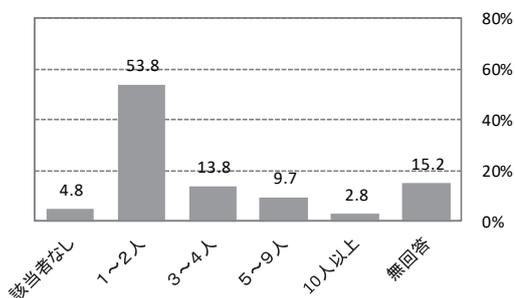
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～2人	72	49.7
2	3～4人	53	36.6
3	5～9人	8	5.5
4	10人以上	9	6.2
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



〔担当教員 専任（常勤）〕

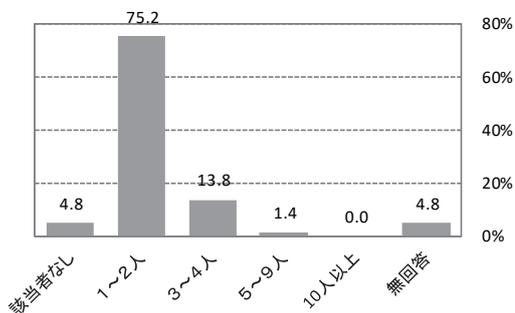
Q2-1-1-5-1-1【担当教員（ア）専任（常勤）】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	7	4.8
2	1～2人	78	53.8
3	3～4人	20	13.8
4	5～9人	14	9.7
5	10人以上	4	2.8
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



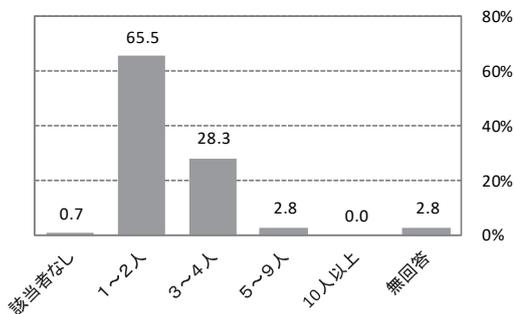
Q2-1-1-5-1-2【担当教員（ア）専任（常勤）】精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	7	4.8
2	1～2人	109	75.2
3	3～4人	20	13.8
4	5～9人	2	1.4
5	10人以上	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



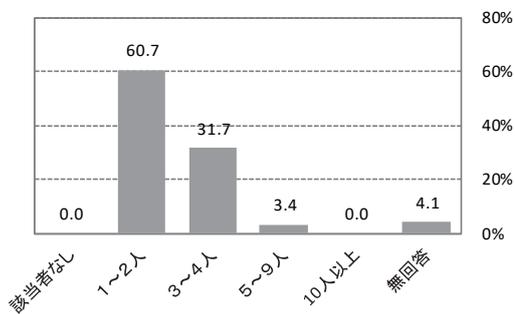
Q2-1-1-5-1-3【担当教員（ア）専任（常勤）】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	1	0.7
2	1～2人	95	65.5
3	3～4人	41	28.3
4	5～9人	4	2.8
5	10人以上	0	0.0
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-1-4【担当教員（ア）専任（常勤）】精神保健福祉援助実習

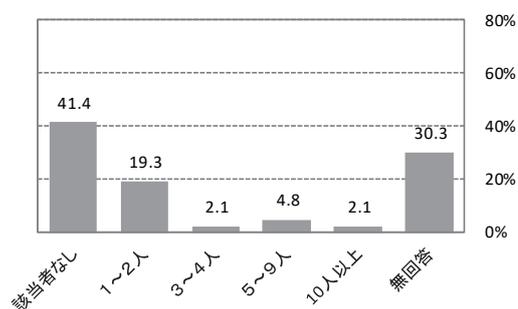
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	0	0.0
2	1～2人	88	60.7
3	3～4人	46	31.7
4	5～9人	5	3.4
5	10人以上	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



〔担当教員 非常勤〕

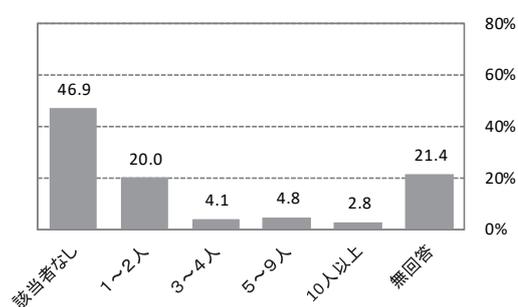
Q2-1-1-5-2-1〔担当教員（イ）非常勤〕精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	60	41.4
2	1～2人	28	19.3
3	3～4人	3	2.1
4	5～9人	7	4.8
5	10人以上	3	2.1
	無回答	44	30.3
	回答者数	145	100



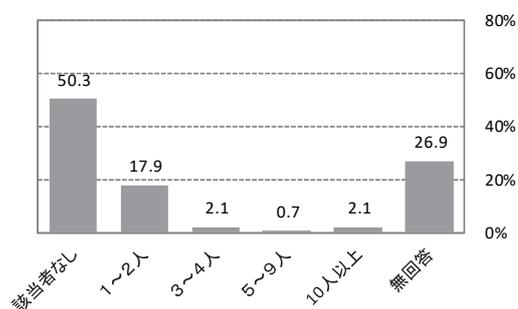
Q2-1-1-5-2-2〔担当教員（イ）非常勤〕精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	68	46.9
2	1～2人	29	20.0
3	3～4人	6	4.1
4	5～9人	7	4.8
5	10人以上	4	2.8
	無回答	31	21.4
	回答者数	145	100



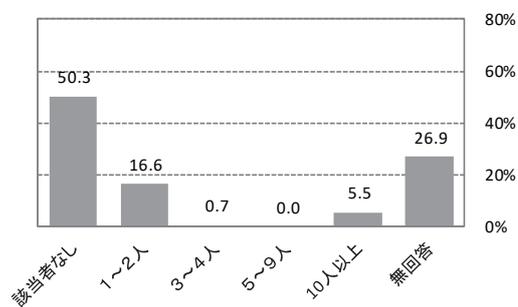
Q2-1-1-5-2-3〔担当教員（イ）非常勤〕精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	73	50.3
2	1～2人	26	17.9
3	3～4人	3	2.1
4	5～9人	1	0.7
5	10人以上	3	2.1
	無回答	39	26.9
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-2-4〔担当教員（イ）非常勤〕精神保健福祉援助実習

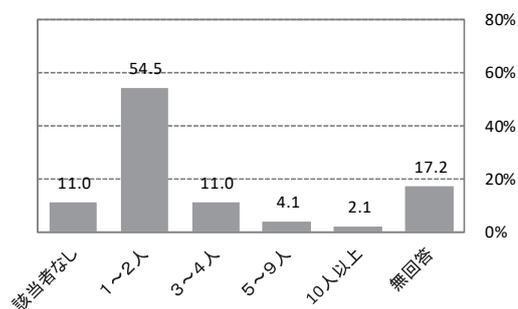
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	73	50.3
2	1～2人	24	16.6
3	3～4人	1	0.7
4	5～9人	0	0.0
5	10人以上	8	5.5
	無回答	39	26.9
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士有資格の教員〕

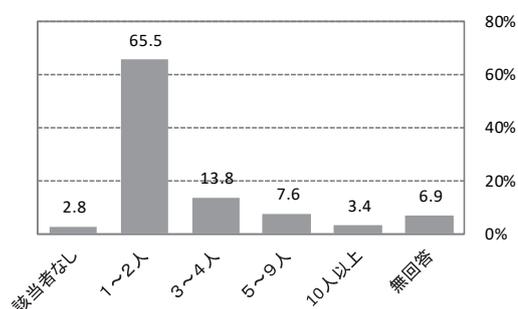
Q2-1-1-5-3-1[担当教員(ウ)有資格者]精神保健福祉援助演習(基礎)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	16	11.0
2	1~2人	79	54.5
3	3~4人	16	11.0
4	5~9人	6	4.1
5	10人以上	3	2.1
	無回答	25	17.2
	回答者数	145	100



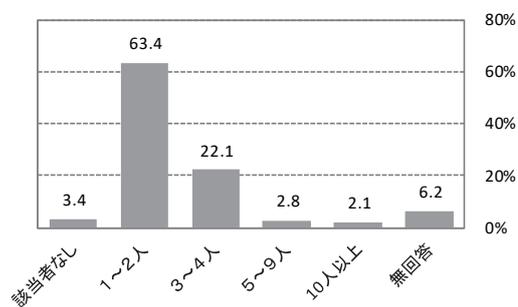
Q2-1-1-5-3-2[担当教員(ウ)有資格者]精神保健福祉援助演習(専門)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	4	2.8
2	1~2人	95	65.5
3	3~4人	20	13.8
4	5~9人	11	7.6
5	10人以上	5	3.4
	無回答	10	6.9
	回答者数	145	100



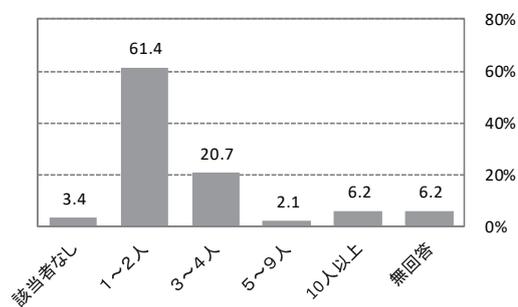
Q2-1-1-5-3-3[担当教員(ウ)有資格者]精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	5	3.4
2	1~2人	92	63.4
3	3~4人	32	22.1
4	5~9人	4	2.8
5	10人以上	3	2.1
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-3-4[担当教員(ウ)有資格者]精神保健福祉援助実習

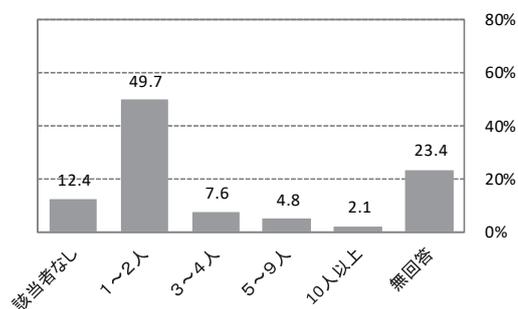
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	5	3.4
2	1~2人	89	61.4
3	3~4人	30	20.7
4	5~9人	3	2.1
5	10人以上	9	6.2
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



〔実習指定施設での現場経験を有する教員〕

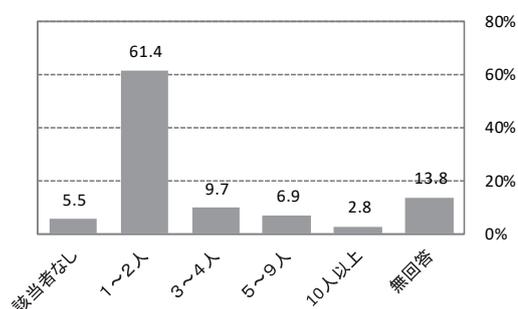
Q2-1-1-5-4-1[担当教員（Ⅰ）現場経験者]精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	18	12.4
2	1～2人	72	49.7
3	3～4人	11	7.6
4	5～9人	7	4.8
5	10人以上	3	2.1
	無回答	34	23.4
	回答者数	145	100



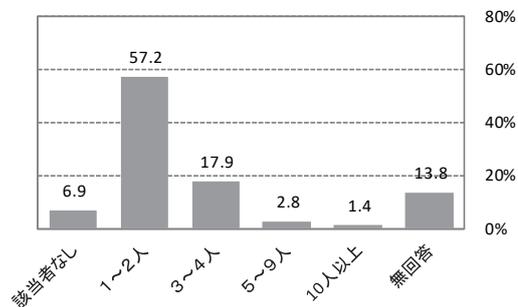
Q2-1-1-5-4-2[担当教員（Ⅰ）現場経験者]精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	8	5.5
2	1～2人	89	61.4
3	3～4人	14	9.7
4	5～9人	10	6.9
5	10人以上	4	2.8
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



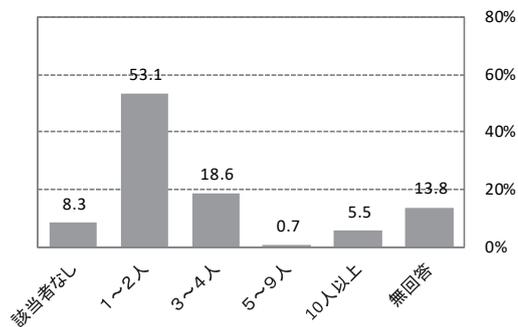
Q2-1-1-5-4-3[担当教員（Ⅰ）現場経験者]精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	10	6.9
2	1～2人	83	57.2
3	3～4人	26	17.9
4	5～9人	4	2.8
5	10人以上	2	1.4
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-4-4[担当教員（Ⅰ）現場経験者]精神保健福祉援助実習

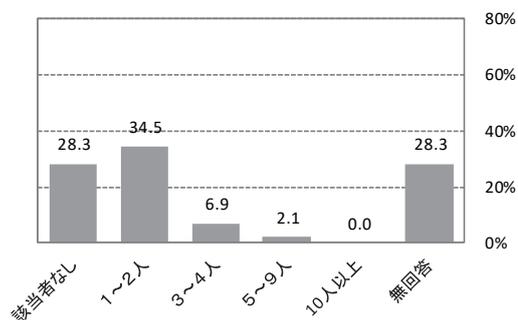
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	12	8.3
2	1～2人	77	53.1
3	3～4人	27	18.6
4	5～9人	1	0.7
5	10人以上	8	5.5
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



〔演習教員講習会受講教員、社会福祉士・演習科目との兼務者〕

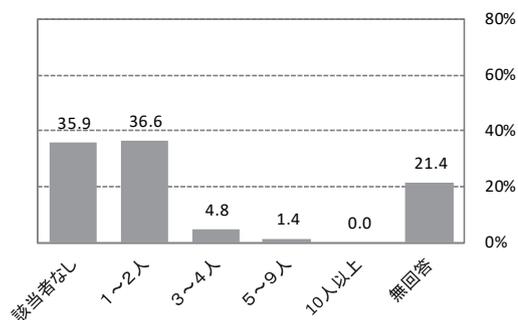
Q2-1-1-5-5-1【担当教員（才）演習教員講習会受講】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	41	28.3
2	1～2人	50	34.5
3	3～4人	10	6.9
4	5～9人	3	2.1
5	10人以上	0	0.0
	無回答	41	28.3
	回答者数	145	100



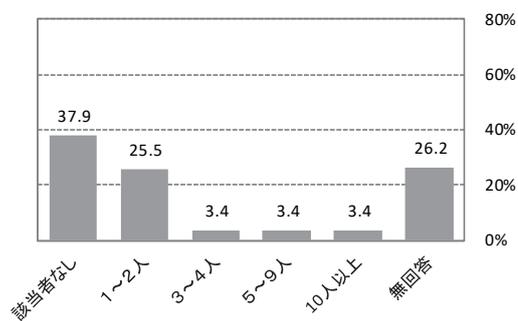
Q2-1-1-5-5-2【担当教員（才）演習教員講習会受講】精神保健福祉援助演習（専門）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	52	35.9
2	1～2人	53	36.6
3	3～4人	7	4.8
4	5～9人	2	1.4
5	10人以上	0	0.0
	無回答	31	21.4
	回答者数	145	100



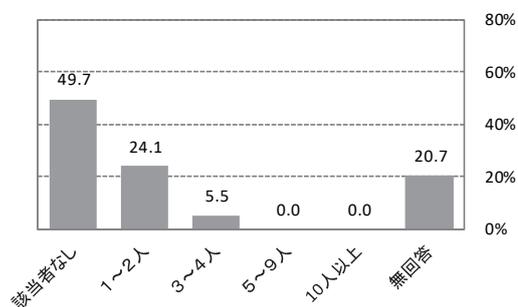
Q2-1-1-5-6-1【担当教員（力）社会福祉士・演習科目との兼務者】精神保健福祉援助演習（基礎）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	55	37.9
2	1～2人	37	25.5
3	3～4人	5	3.4
4	5～9人	5	3.4
5	10人以上	5	3.4
	無回答	38	26.2
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-6-2【担当教員（力）社会福祉士・演習科目との兼務者】精神保健福祉援助演習（専門）

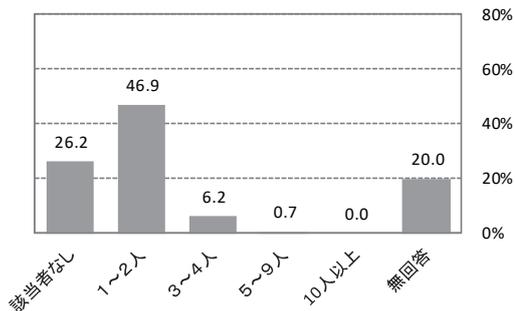
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	72	49.7
2	1～2人	35	24.1
3	3～4人	8	5.5
4	5～9人	0	0.0
5	10人以上	0	0.0
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



〔実習教員講習会受講教員、社会福祉士・実習科目との兼務者〕

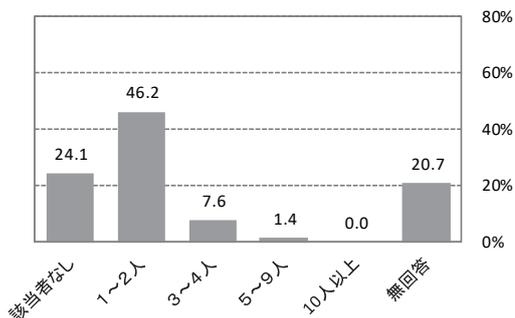
Q2-1-1-5-7-1【担当教員（キ）実習教員講習会受講】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	38	26.2
2	1～2人	68	46.9
3	3～4人	9	6.2
4	5～9人	1	0.7
5	10人以上	0	0.0
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



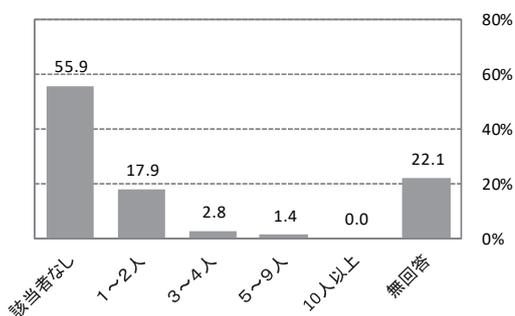
Q2-1-1-5-7-2【担当教員（キ）実習教員講習会受講】精神保健福祉援助実習

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	35	24.1
2	1～2人	67	46.2
3	3～4人	11	7.6
4	5～9人	2	1.4
5	10人以上	0	0.0
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



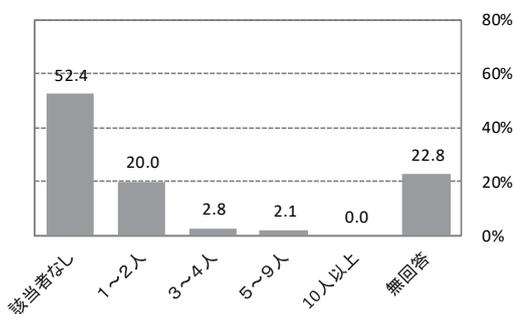
Q2-1-1-5-8-1【担当教員（ク）社会福祉士・実習科目との兼務】精神保健福祉援助実習指導

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	81	55.9
2	1～2人	26	17.9
3	3～4人	4	2.8
4	5～9人	2	1.4
5	10人以上	0	0.0
	無回答	32	22.1
	回答者数	145	100



Q2-1-1-5-8-2【担当教員（ク）社会福祉士・実習科目との兼務】精神保健福祉援助実習

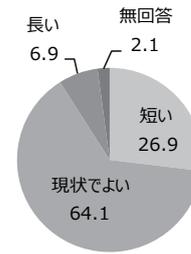
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者なし	76	52.4
2	1～2人	29	20.0
3	3～4人	4	2.8
4	5～9人	3	2.1
5	10人以上	0	0.0
	無回答	33	22.8
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士相談援助実習の基準について〕

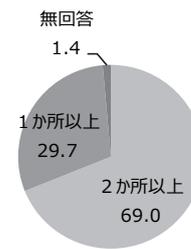
Q2-2-1【規定】実習時間（210時間以上）について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短い	39	26.9
2	現状でよい	93	64.1
3	長い	10	6.9
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



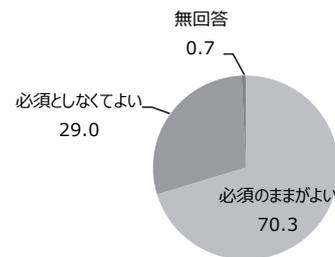
Q2-2-2【規定】2ヶ所以上での実習について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2ヶ所以上そのままが良い	100	69.0
2	1ヶ所以上が良い	43	29.7
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



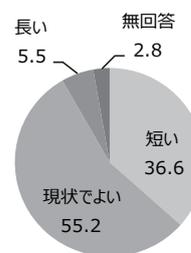
Q2-2-3【規定】医療機関における実習について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必須のままが良い	102	70.3
2	必須としなくてよい	42	29.0
	無回答	1	0.7
	回答者数	145	100



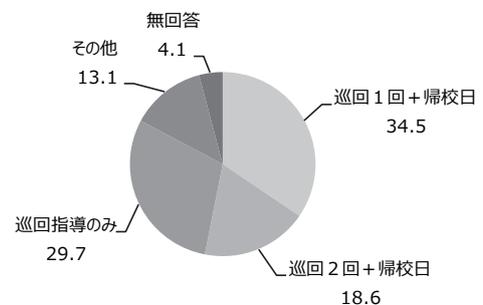
Q2-2-4【規定】医療機関における実習時間（90時間以上）について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	短い	53	36.6
2	現状でよい	80	55.2
3	長い	8	5.5
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



Q2-2-5【規定】実習中の教員の指導体制の実態について

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	巡回指導 1回 + 帰校日指導	50	34.5
2	巡回指導 2回 + 帰校日指導	27	18.6
3	巡回指導のみ	43	29.7
4	その他	19	13.1
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



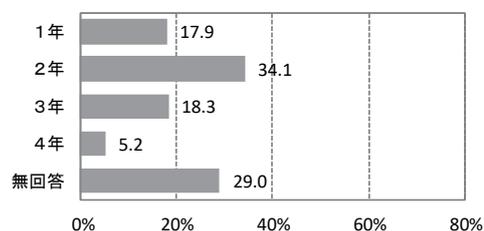
【講義科目に関する調査項目】

【各科目の開講学年】

Q3-1-1-1【精神疾患と治療】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	52	17.9
2	2年	99	34.1
3	3年	53	18.3
4	4年	15	5.2
	無回答	84	29.0
	回答者数	290	100

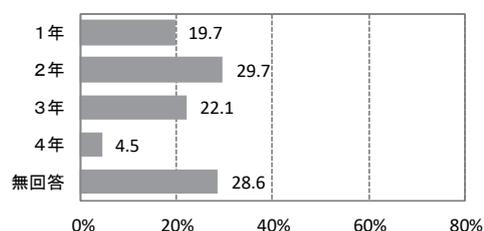
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-1-1-2【精神保健の課題と支援】開講学年

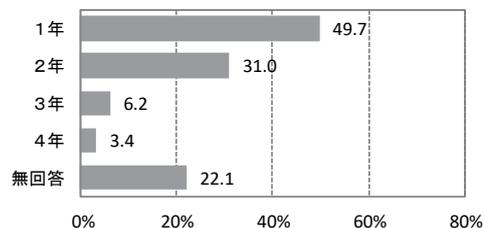
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	57	19.7
2	2年	86	29.7
3	3年	64	22.1
4	4年	13	4.5
	無回答	83	28.6
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



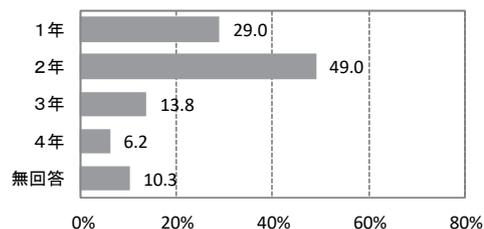
Q3-1-1-3【基礎・相談援助の基盤】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	72	49.7
2	2年	45	31.0
3	3年	9	6.2
4	4年	5	3.4
	無回答	32	22.1
	回答者数	145	100



Q3-1-1-4【専門・相談援助の基盤】開講学年

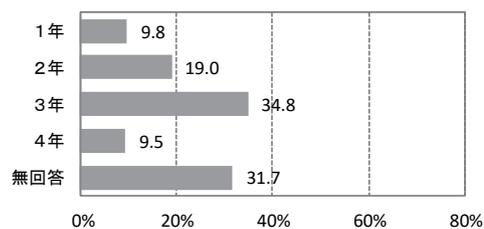
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	42	29.0
2	2年	71	49.0
3	3年	20	13.8
4	4年	9	6.2
	無回答	15	10.3
	回答者数	145	100



Q3-1-1-5【理論と相談援助の展開】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	57	9.8
2	2年	110	19.0
3	3年	202	34.8
4	4年	55	9.5
	無回答	184	31.7
	回答者数	580	100

※ 回答欄の1～4行目の回答数を合算して集計

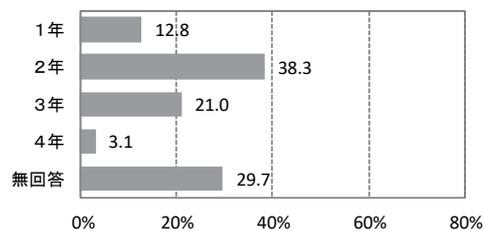


〔各科目の開講学年〕

Q3-1-1-6【制度とサービス】開講学年

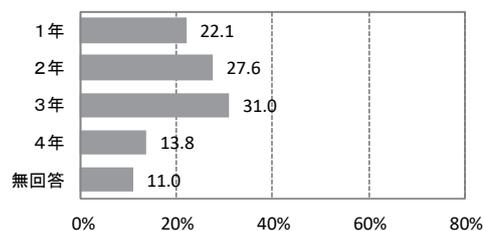
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	37	12.8
2	2年	111	38.3
3	3年	61	21.0
4	4年	9	3.1
	無回答	86	29.7
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



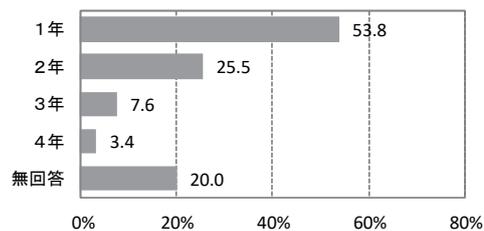
Q3-1-1-7【精神障害者の生活支援システム】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	32	22.1
2	2年	40	27.6
3	3年	45	31.0
4	4年	20	13.8
	無回答	16	11.0
	回答者数	145	100



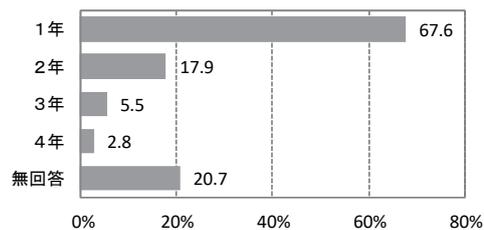
Q3-2-1-1【人体の構造と機能及び疾病】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	78	53.8
2	2年	37	25.5
3	3年	11	7.6
4	4年	5	3.4
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



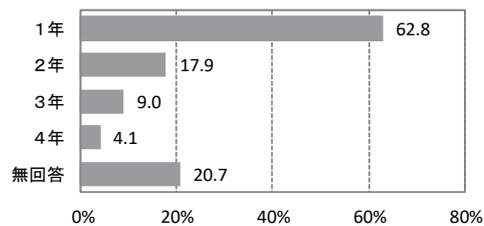
Q3-2-1-2【心理学理論と心理的支援】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	98	67.6
2	2年	26	17.9
3	3年	8	5.5
4	4年	4	2.8
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



Q3-2-1-3【社会理論と社会システム】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	91	62.8
2	2年	26	17.9
3	3年	13	9.0
4	4年	6	4.1
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100

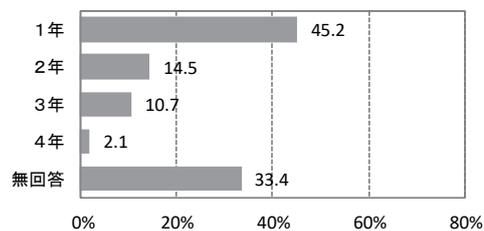


〔各科目の開講学年〕

Q3-2-1-4【現代社会と福祉】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	131	45.2
2	2年	42	14.5
3	3年	31	10.7
4	4年	6	2.1
	無回答	97	33.4
	回答者数	290	100

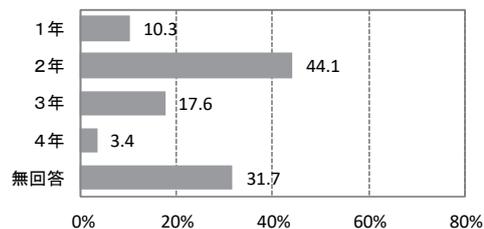
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-1-5【地域福祉の理論と方法】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	30	10.3
2	2年	128	44.1
3	3年	51	17.6
4	4年	10	3.4
	無回答	92	31.7
	回答者数	290	100

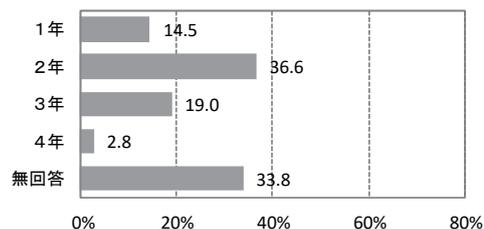
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-1-6【社会保障】開講学年

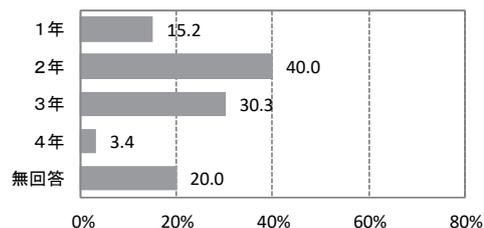
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	42	14.5
2	2年	106	36.6
3	3年	55	19.0
4	4年	8	2.8
	無回答	98	33.8
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



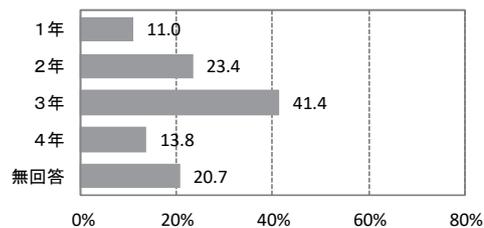
Q3-2-1-7【低所得者に対する支援と生活保護制度】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	22	15.2
2	2年	58	40.0
3	3年	44	30.3
4	4年	5	3.4
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



Q3-2-1-8【福祉行政と福祉計画】開講学年

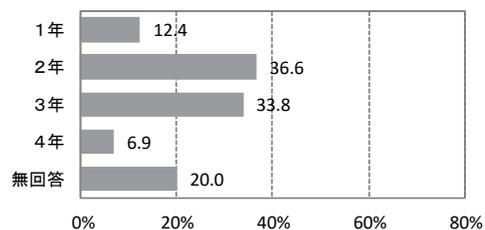
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	16	11.0
2	2年	34	23.4
3	3年	60	41.4
4	4年	20	13.8
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



〔各科目の開講学年〕

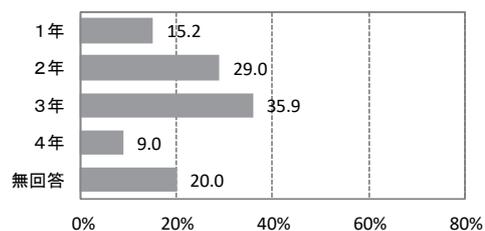
Q3-2-1-9【保健医療サービス】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	18	12.4
2	2年	53	36.6
3	3年	49	33.8
4	4年	10	6.9
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



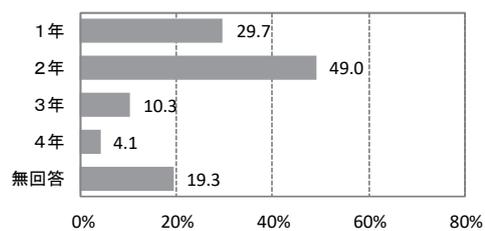
Q3-2-1-10【権利擁護と成年後見制度】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	22	15.2
2	2年	42	29.0
3	3年	52	35.9
4	4年	13	9.0
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



Q3-2-1-11【障害者に対する支援と障害者自立支援制度】開講学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	43	29.7
2	2年	71	49.0
3	3年	15	10.3
4	4年	6	4.1
	無回答	28	19.3
	回答者数	145	100

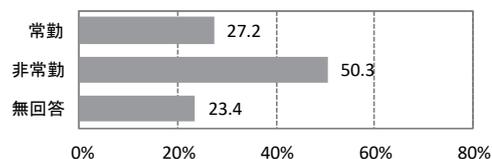


〔担当教員の雇用形態〕

Q3-1-2-1【精神疾患と治療】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	79	27.2
2	非常勤	146	50.3
	無回答	68	23.4
	回答者数	290	100

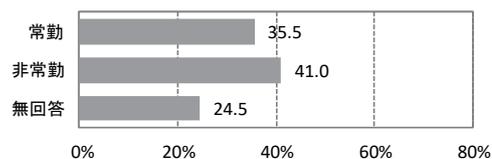
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-1-2-2【精神保健の課題と支援】担当教員の雇用形態

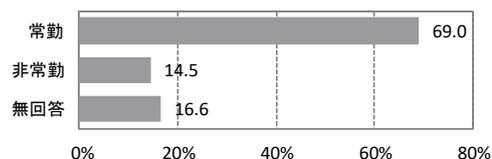
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	103	35.5
2	非常勤	119	41.0
	無回答	71	24.5
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



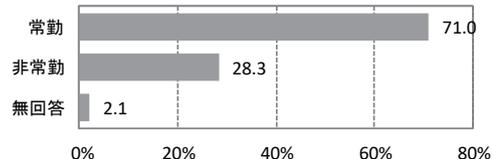
Q3-1-2-3【基礎・相談援助の基盤】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	100	69.0
2	非常勤	21	14.5
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



Q3-1-2-4【専門・相談援助の基盤】担当教員の雇用形態

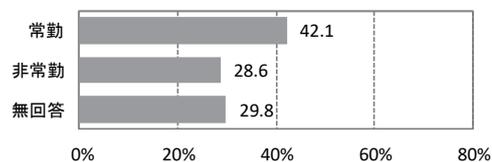
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	103	71.0
2	非常勤	41	28.3
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



Q3-1-2-5【理論と相談援助の展開】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	244	42.1
2	非常勤	166	28.6
	無回答	173	29.8
	回答者数	580	100

※ 回答欄の1～4行目の回答数を合算して集計

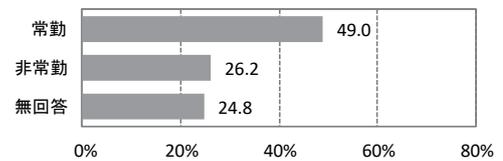


〔担当教員の雇用形態〕

Q3-1-2-6【制度とサービス】担当教員の雇用形態

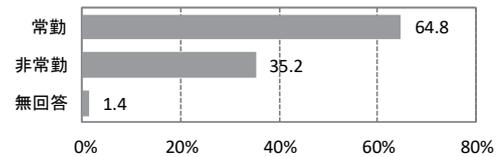
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	142	49.0
2	非常勤	76	26.2
	無回答	72	24.8
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



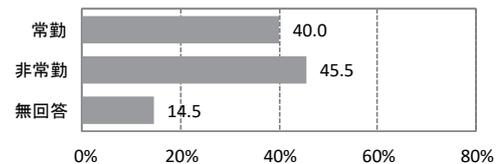
Q3-1-2-7【精神障害者の生活支援システム】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	94	64.8
2	非常勤	51	35.2
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



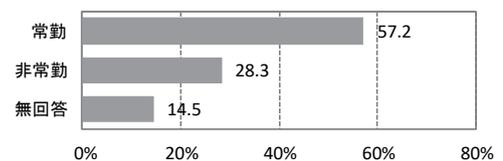
Q3-2-2-1【人体の構造と機能及び疾病】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	58	40.0
2	非常勤	66	45.5
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



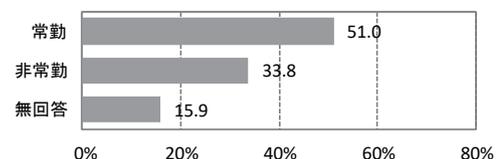
Q3-2-2-2【心理学理論と心理的支援】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	83	57.2
2	非常勤	41	28.3
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-2-2-3【社会理論と社会システム】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	74	51.0
2	非常勤	49	33.8
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100

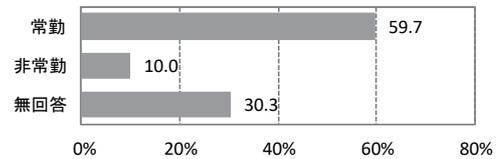


〔担当教員の雇用形態〕

Q3-2-2-4【現代社会と福祉】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	173	59.7
2	非常勤	29	10.0
	無回答	88	30.3
	回答者数	290	100

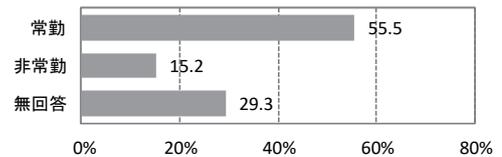
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-2-5【地域福祉の理論と方法】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	161	55.5
2	非常勤	44	15.2
	無回答	85	29.3
	回答者数	290	100

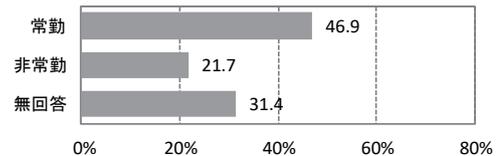
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-2-6【社会保障】担当教員の雇用形態

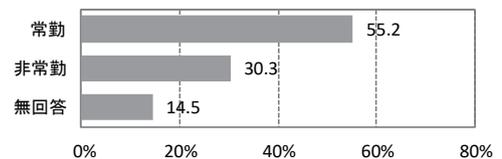
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	136	46.9
2	非常勤	63	21.7
	無回答	91	31.4
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



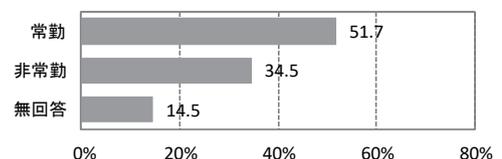
Q3-2-2-7【低所得者に対する支援と生活保護制度】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	80	55.2
2	非常勤	44	30.3
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-2-2-8【福祉行財政と福祉計画】担当教員の雇用形態

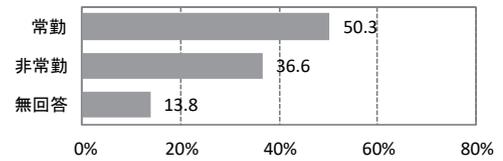
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	75	51.7
2	非常勤	50	34.5
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



〔担当教員の雇用形態〕

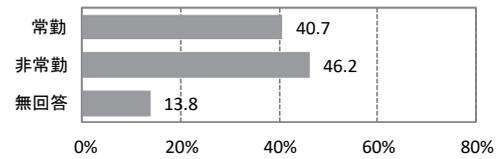
Q3-2-2-9【保健医療サービス】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	73	50.3
2	非常勤	53	36.6
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



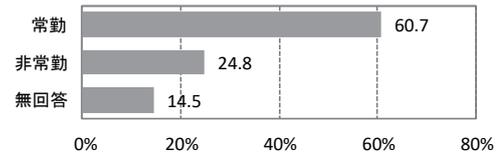
Q3-2-2-10【権利擁護と成年後見制度】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	59	40.7
2	非常勤	67	46.2
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



Q3-2-2-11【障害者に対する支援と障害者自立支援制度】担当教員の雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤	88	60.7
2	非常勤	36	24.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100

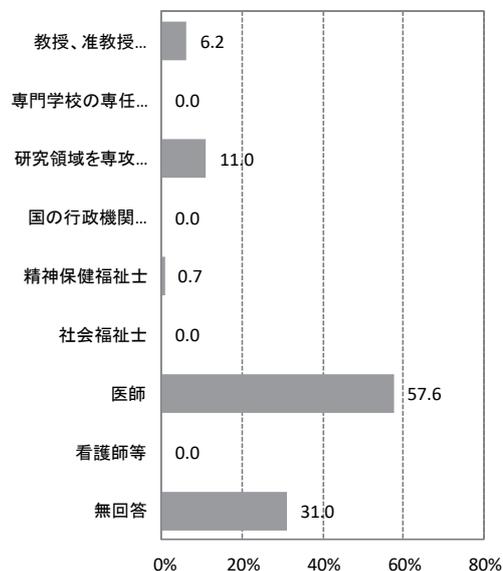


〔各科目の担当教員の教員要件〕

Q3-1-3-1【精神疾患と治療】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	18	6.2
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	0	0.0
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	32	11.0
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	0	0.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	2	0.7
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	167	57.6
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	90	31.0
	回答者数	290	100

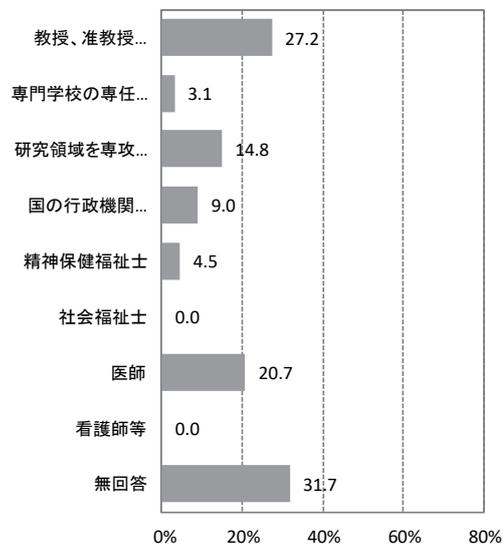
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-1-3-2【精神保健の課題と支援】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	79	27.2
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	9	3.1
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	43	14.8
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	26	9.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	13	4.5
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	60	20.7
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	92	31.7
	回答者数	290	100

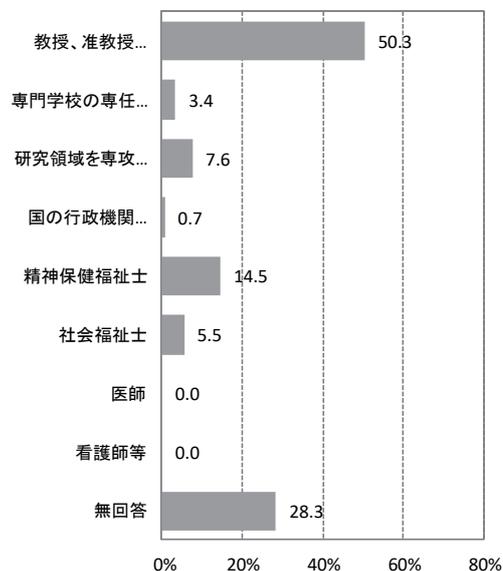
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



〔各科目の担当教員の教員要件〕

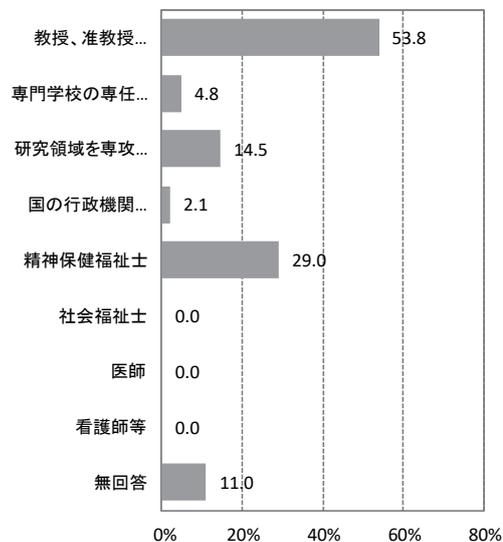
Q3-1-3-3【基礎・相談援助の基盤】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	73	50.3
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	5	3.4
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	11	7.6
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	1	0.7
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	21	14.5
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	8	5.5
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	41	28.3
	回答者数	145	100



Q3-1-3-4【専門・相談援助の基盤】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	78	53.8
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	7	4.8
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	21	14.5
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	3	2.1
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	42	29.0
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	16	11.0
	回答者数	145	100

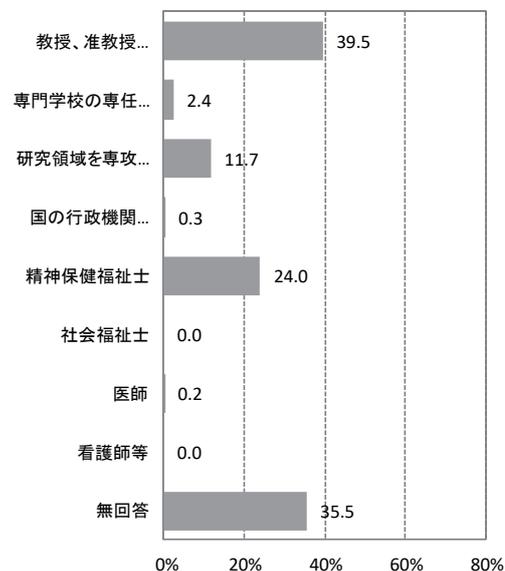


〔各科目の担当教員の教員要件〕

Q3-1-3-5【理論と相談援助の展開】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	229	39.5
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	14	2.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	68	11.7
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	2	0.3
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	139	24.0
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	1	0.2
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	206	35.5
	回答者数	580	100

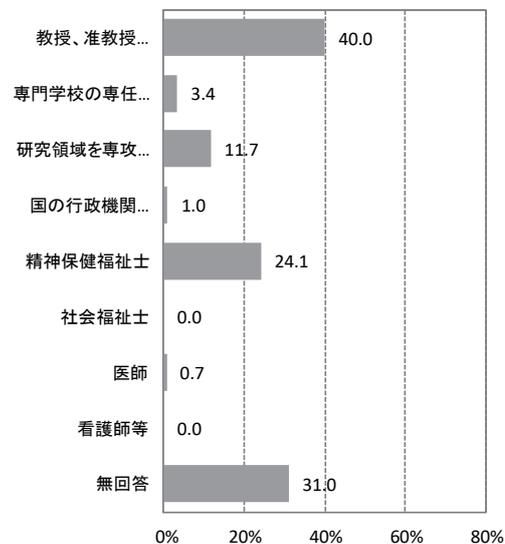
※ 回答欄の1～4行目の回答数を合算して集計



Q3-1-3-6【制度とサービス】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	116	40.0
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	10	3.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	34	11.7
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	3	1.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	70	24.1
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	2	0.7
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	90	31.0
	回答者数	290	100

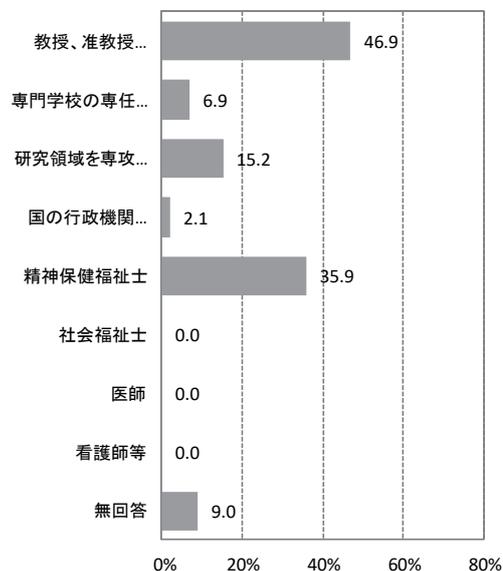
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



〔各科目の担当教員の教員要件〕

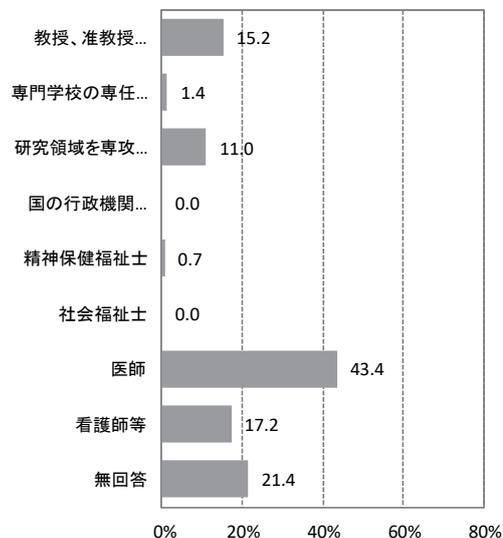
Q3-1-3-7【精神障害者の生活支援システム】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	68	46.9
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	10	6.9
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	22	15.2
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	3	2.1
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	52	35.9
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	13	9.0
	回答者数	145	100



Q3-2-3-1【人体の構造と機能及び疾病】担当教員の教員要件

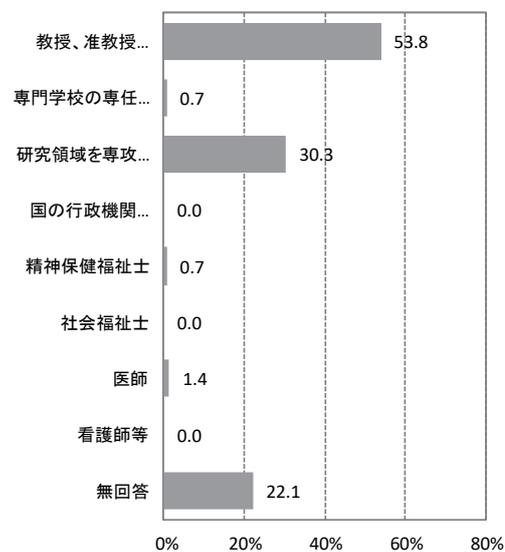
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	22	15.2
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	2	1.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	16	11.0
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	0	0.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	1	0.7
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	63	43.4
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	25	17.2
	無回答	31	21.4
	回答者数	145	100



〔各科目の担当教員の教員要件〕

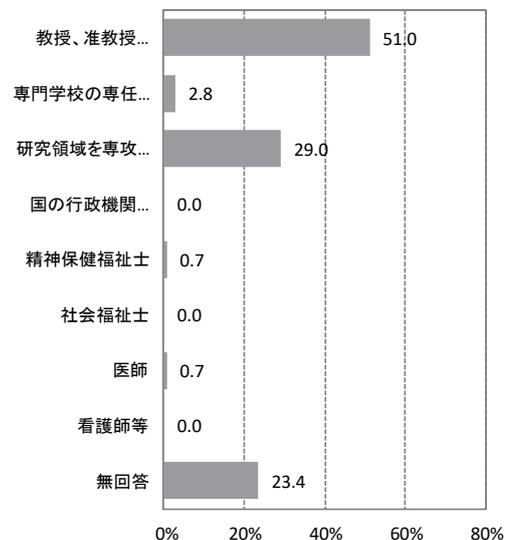
Q3-2-3-2【心理学理論と心理的支援】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	78	53.8
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	1	0.7
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	44	30.3
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	0	0.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	1	0.7
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	2	1.4
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	32	22.1
	回答者数	145	100



Q3-2-3-3【社会理論と社会システム】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	74	51.0
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	4	2.8
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	42	29.0
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	0	0.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	1	0.7
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	1	0.7
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	34	23.4
	回答者数	145	100

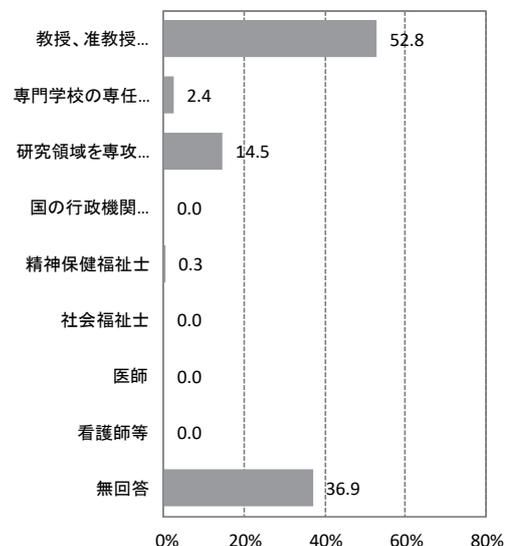


〔各科目の担当教員の教員要件〕

Q3-2-3-4【現代社会と福祉】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	153	52.8
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	7	2.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	42	14.5
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	0	0.0
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	1	0.3
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	0	0.0
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	107	36.9
	回答者数	290	100

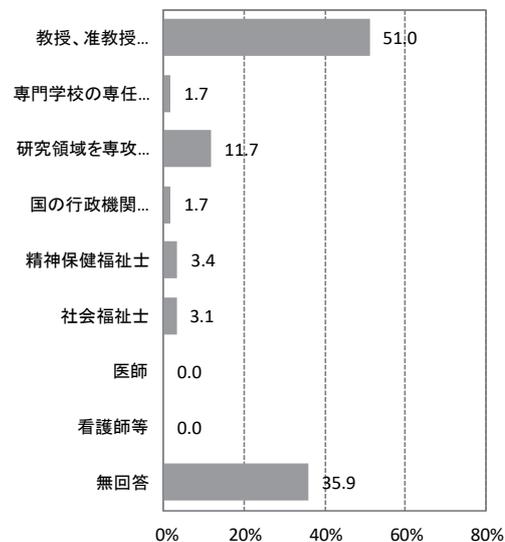
※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-3-5【地域福祉の理論と方法】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	148	51.0
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	5	1.7
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	34	11.7
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	5	1.7
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	10	3.4
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	9	3.1
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	104	35.9
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計

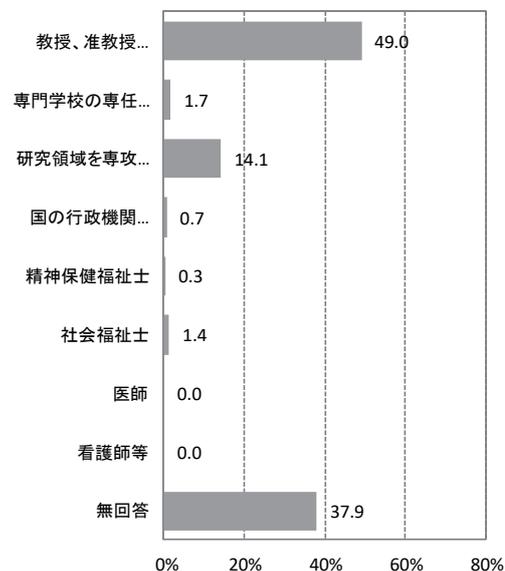


〔各科目の担当教員の教員要件〕

Q3-2-3-6【社会保障】担当教員の教員要件

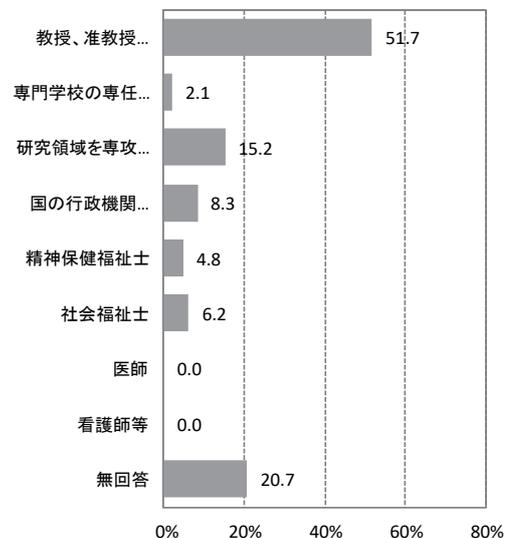
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	142	49.0
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	5	1.7
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	41	14.1
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	2	0.7
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	1	0.3
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	4	1.4
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	110	37.9
	回答者数	290	100

※ 回答欄の1～2行目の回答数を合算して集計



Q3-2-3-7【低所得者に対する支援と生活保護制度】担当教員の教員要件

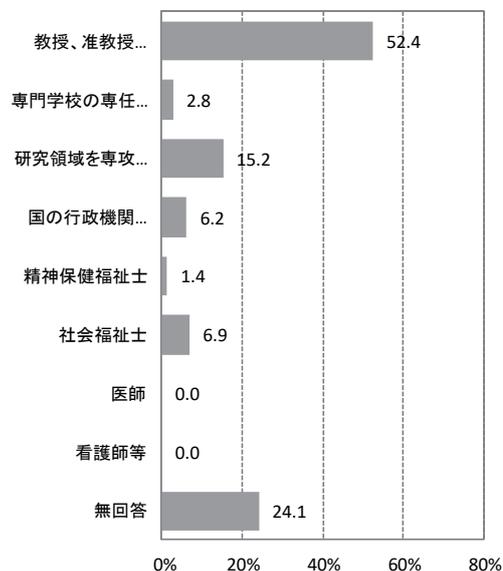
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	75	51.7
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	3	2.1
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	22	15.2
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	12	8.3
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	7	4.8
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	9	6.2
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



〔各科目の担当教員の教員要件〕

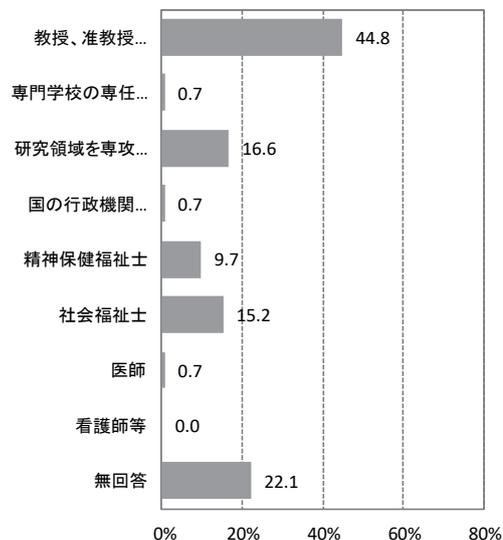
Q3-2-3-8【福祉行政と福祉計画】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	76	52.4
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	4	2.8
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	22	15.2
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	9	6.2
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	2	1.4
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	10	6.9
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	35	24.1
	回答者数	145	100



Q3-2-3-9【保健医療サービス】担当教員の教員要件

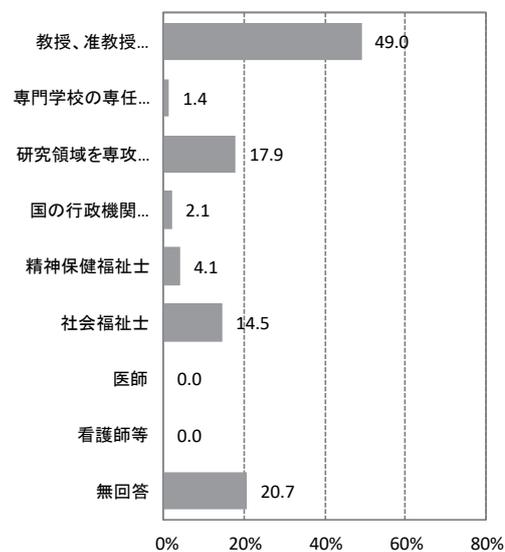
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	65	44.8
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	1	0.7
3	当該科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	24	16.6
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	1	0.7
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	14	9.7
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	22	15.2
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	1	0.7
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	32	22.1
	回答者数	145	100



〔各科目の担当教員の教員要件〕

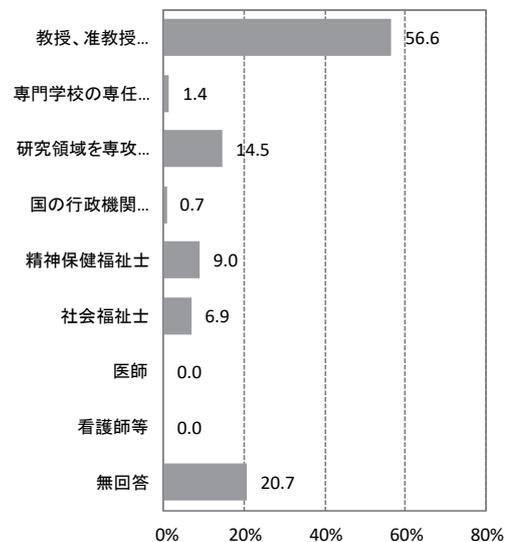
Q3-2-3-10【権利擁護と成年後見制度】担当教員の教員要件

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	71	49.0
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	2	1.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	26	17.9
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	3	2.1
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	6	4.1
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	21	14.5
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



Q3-2-3-11【障害者に対する支援と障害者自立支援制度】担当教員の教員要件

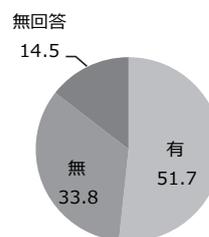
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	当該科目を担当する大学等における教授、准教授、講師又は助教	82	56.6
2	当該科目の担当として3年以上の教育経験を有する専門学校の専任教員	2	1.4
3	該当科目に関する研究領域を専攻した修士又は博士の学位を有する者	21	14.5
4	当該科目に関する業務に5年以上の実務経験を有する国の行政機関又は地方公共団体の職員	1	0.7
5	5年以上の実務経験を有する精神保健福祉士	13	9.0
6	5年以上の実務経験を有する社会福祉士	10	6.9
7	医師（専門科目は、精神障害者の保健、医療等の実務に5年以上の実務経験を有する者）	0	0.0
8	5年以上の実務経験を有する看護師等	0	0.0
	無回答	30	20.7
	回答者数	145	100



〔社会福祉福祉士養成課程との読替免除の有無、「人体の構造と機能及び疾病」「心理学理論と心理的支援」「社会理論と社会システム」の3科目選択制の有無〕

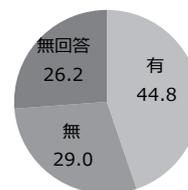
Q3-1-4【※ア】社会福祉士養成課程との読替免除の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有	75	51.7
2	無	49	33.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-2-4【※ア】3科目選択制の有無

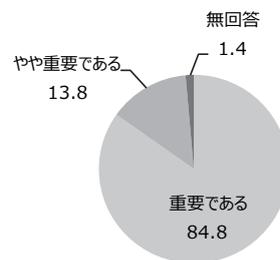
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	有	65	44.8
2	無	42	29.0
	無回答	38	26.2
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

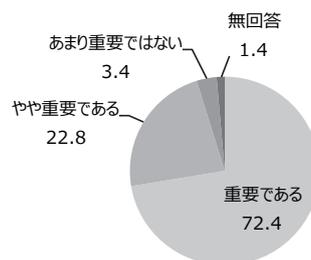
Q3-3A-1-1【重要度】代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	123	84.8
2	やや重要である	20	13.8
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



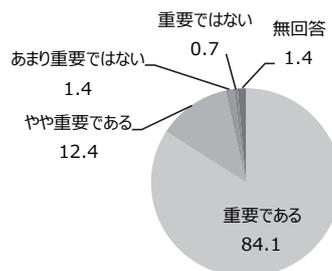
Q3-3A-1-2【重要度】精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	105	72.4
2	やや重要である	33	22.8
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



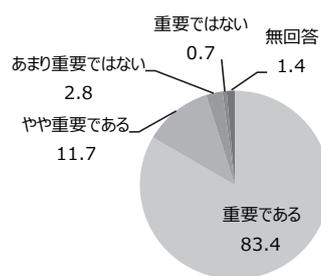
Q3-3A-1-3【重要度】精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	122	84.1
2	やや重要である	18	12.4
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



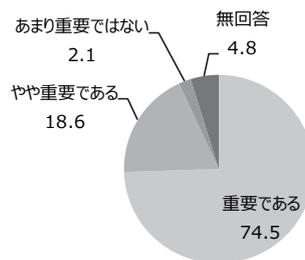
Q3-3A-1-4【重要度】精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	121	83.4
2	やや重要である	17	11.7
3	あまり重要ではない	4	2.8
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-2-1【重要度】精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する

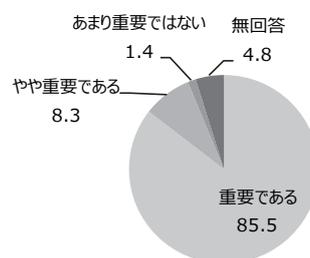
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	108	74.5
2	やや重要である	27	18.6
3	あまり重要ではない	3	2.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

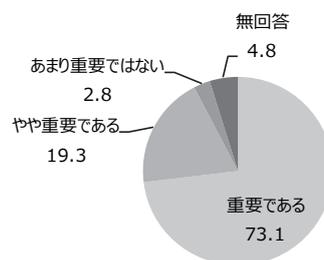
Q3-3A-2-2【重要度】現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	124	85.5
2	やや重要である	12	8.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



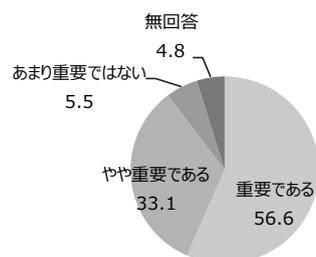
Q3-3A-2-3【重要度】精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	106	73.1
2	やや重要である	28	19.3
3	あまり重要ではない	4	2.8
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



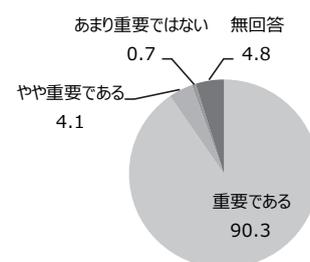
Q3-3A-2-4【重要度】国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	82	56.6
2	やや重要である	48	33.1
3	あまり重要ではない	8	5.5
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



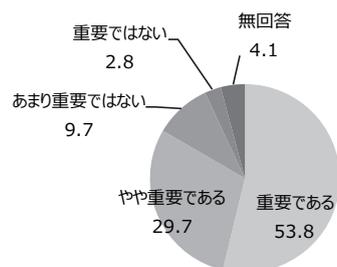
Q3-3A-3-1【重要度】精神保健福祉士の役割と意義について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	131	90.3
2	やや重要である	6	4.1
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



Q3-3A-3-2【重要度】社会福祉士の役割と意義について理解する

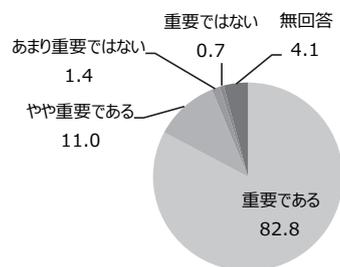
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	78	53.8
2	やや重要である	43	29.7
3	あまり重要ではない	14	9.7
4	重要ではない	4	2.8
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

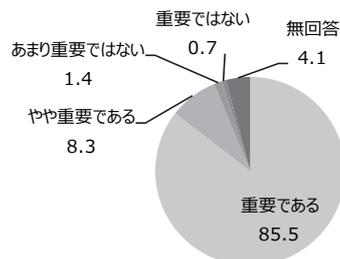
Q3-3A-3-3【重要度】相談援助の概念と範囲について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	120	82.8
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



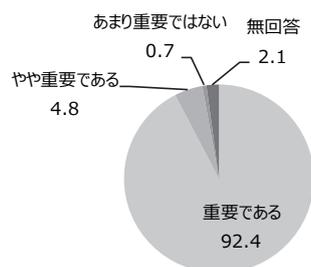
Q3-3A-3-4【重要度】相談援助の理念について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	124	85.5
2	やや重要である	12	8.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



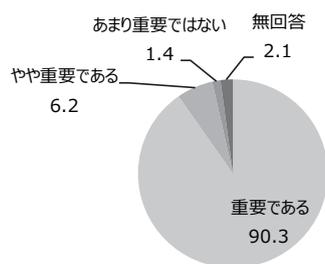
Q3-3A-4-1【重要度】精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	134	92.4
2	やや重要である	7	4.8
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



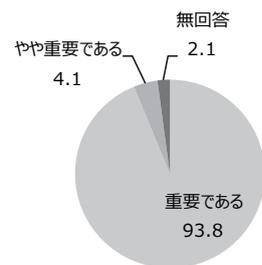
Q3-3A-4-2【重要度】精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	131	90.3
2	やや重要である	9	6.2
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



Q3-3A-4-3【重要度】精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する

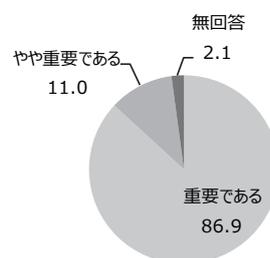
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	136	93.8
2	やや重要である	6	4.1
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目ごとのねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）】

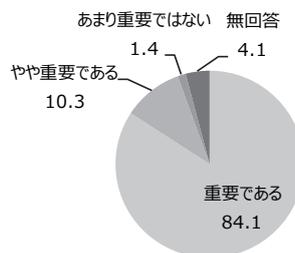
Q3-3A-4-4【重要度】精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	126	86.9
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



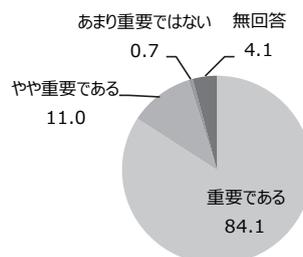
Q3-3A-5-1【重要度】精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	122	84.1
2	やや重要である	15	10.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



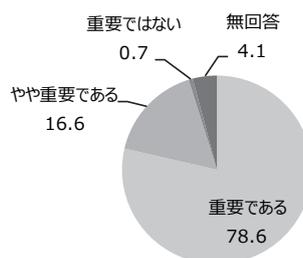
Q3-3A-5-2【重要度】精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	122	84.1
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



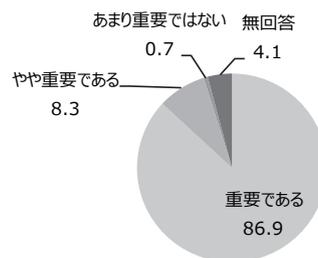
Q3-3A-5-3【重要度】精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用する方法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	114	78.6
2	やや重要である	24	16.6
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



Q3-3A-5-4【重要度】精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する

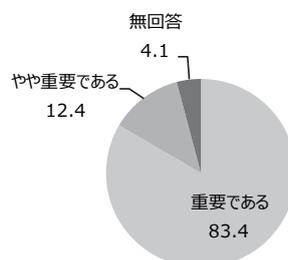
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	126	86.9
2	やや重要である	12	8.3
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

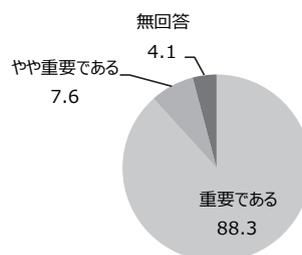
Q3-3A-5-5【重要度】精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	121	83.4
2	やや重要である	18	12.4
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



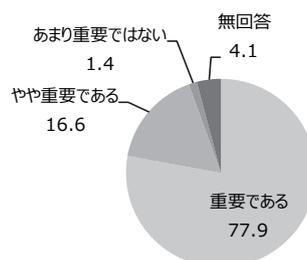
Q3-3A-5-6【重要度】精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	128	88.3
2	やや重要である	11	7.6
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



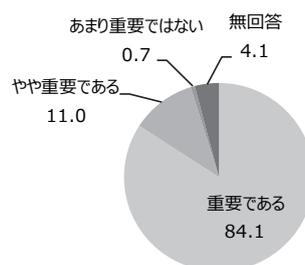
Q3-3A-5-7【重要度】地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	113	77.9
2	やや重要である	24	16.6
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



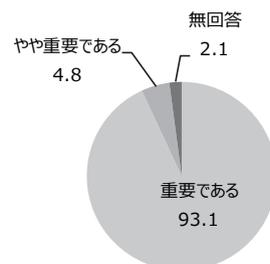
Q3-3A-5-8【重要度】地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	122	84.1
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



Q3-3A-6-1【重要度】精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する

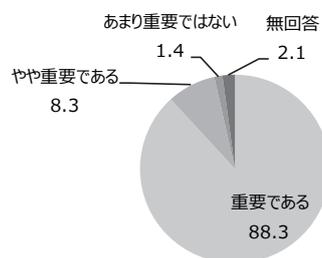
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	135	93.1
2	やや重要である	7	4.8
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

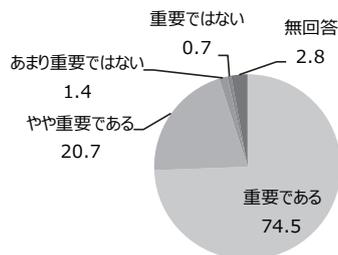
Q3-3A-6-2【重要度】精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	128	88.3
2	やや重要である	12	8.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



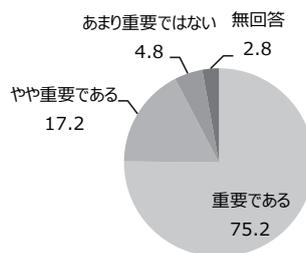
Q3-3A-6-3【重要度】精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	108	74.5
2	やや重要である	30	20.7
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



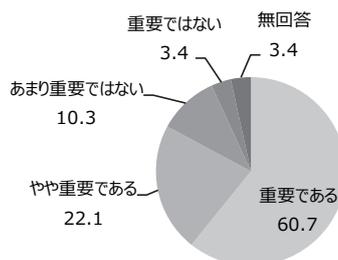
Q3-3A-6-4【重要度】更生保護制度と医療観察法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	25	17.2
3	あまり重要ではない	7	4.8
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



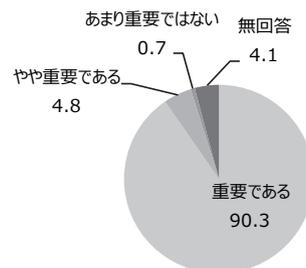
Q3-3A-6-5【重要度】社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	88	60.7
2	やや重要である	32	22.1
3	あまり重要ではない	15	10.3
4	重要ではない	5	3.4
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-7-1【重要度】精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する

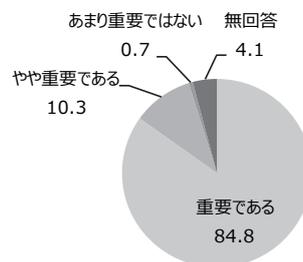
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	131	90.3
2	やや重要である	7	4.8
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

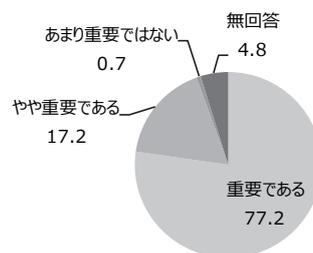
Q3-3A-7-2【重要度】精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	123	84.8
2	やや重要である	15	10.3
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



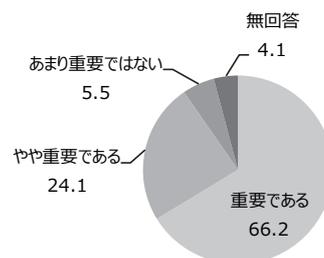
Q3-3A-7-3【重要度】職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談 援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	112	77.2
2	やや重要である	25	17.2
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



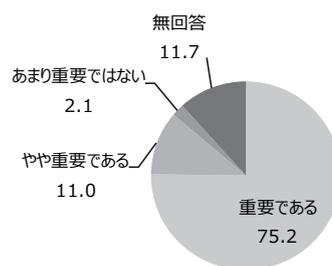
Q3-3A-7-4【重要度】行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	96	66.2
2	やや重要である	35	24.1
3	あまり重要ではない	8	5.5
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	6	4.1
	回答者数	145	100



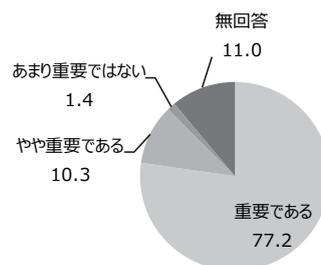
Q3-3A-8-1【重要度】心理機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	3	2.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



Q3-3A-8-2【重要度】国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する

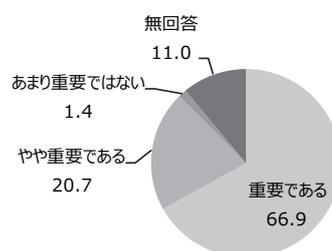
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	112	77.2
2	やや重要である	15	10.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	16	11.0
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

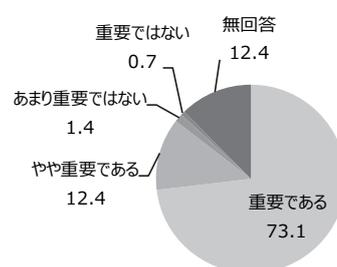
Q3-3A-8-3【重要度】リハビリテーションの概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	97	66.9
2	やや重要である	30	20.7
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	16	11.0
	回答者数	145	100



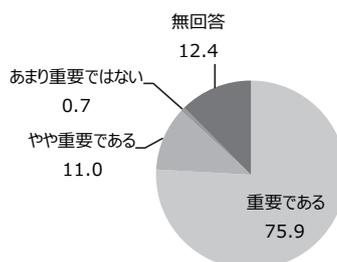
Q3-3A-9-1【重要度】心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	106	73.1
2	やや重要である	18	12.4
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



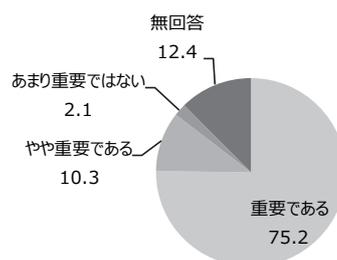
Q3-3A-9-2【重要度】人の成長・発達と心理との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	110	75.9
2	やや重要である	16	11.0
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



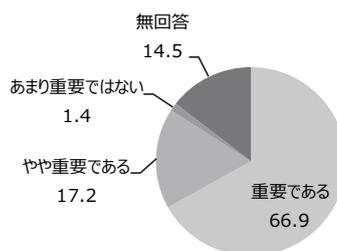
Q3-3A-9-3【重要度】日常生活と心の健康との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	15	10.3
3	あまり重要ではない	3	2.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-9-4【重要度】心理的支援の方法と実際について理解する

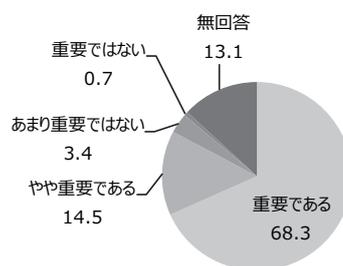
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	97	66.9
2	やや重要である	25	17.2
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

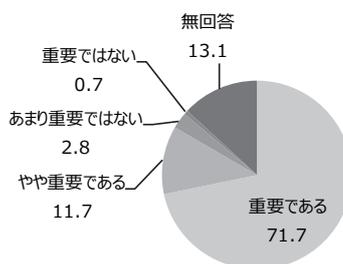
Q3-3A-10-1【重要度】社会理論による現代社会の捉え方を理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	99	68.3
2	やや重要である	21	14.5
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



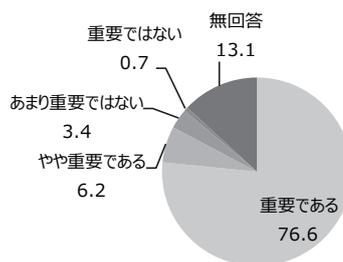
Q3-3A-10-2【重要度】生活について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	104	71.7
2	やや重要である	17	11.7
3	あまり重要ではない	4	2.8
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



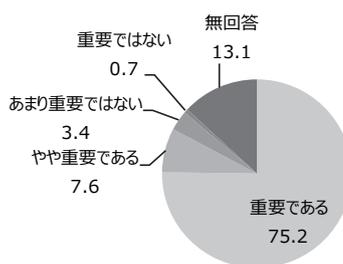
Q3-3A-10-3【重要度】人と社会の関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	111	76.6
2	やや重要である	9	6.2
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



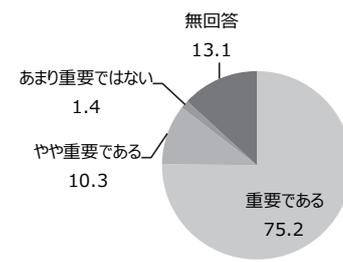
Q3-3A-10-4【重要度】社会問題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	11	7.6
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



Q3-3A-11-1【重要度】現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する

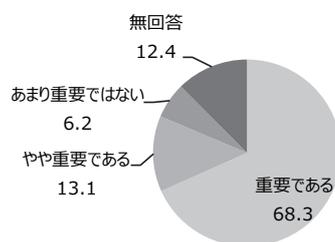
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	15	10.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

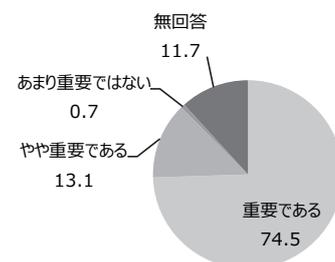
Q3-3A-11-2【重要度】福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	99	68.3
2	やや重要である	19	13.1
3	あまり重要ではない	9	6.2
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



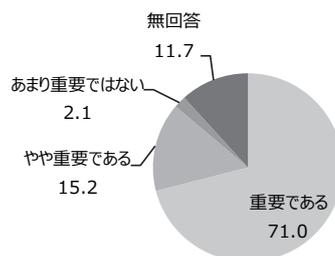
Q3-3A-11-3【重要度】福祉政策におけるニーズと資源について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	108	74.5
2	やや重要である	19	13.1
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



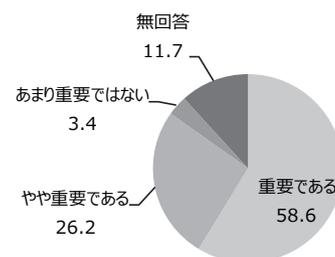
Q3-3A-11-4【重要度】福祉政策の課題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	103	71.0
2	やや重要である	22	15.2
3	あまり重要ではない	3	2.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



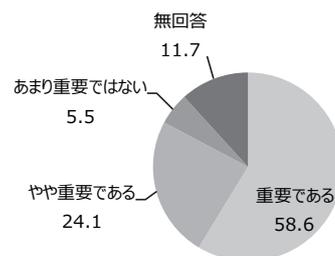
Q3-3A-11-5【重要度】福祉政策の構成要素について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	85	58.6
2	やや重要である	38	26.2
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



Q3-3A-11-6【重要度】福祉政策と関連政策の関係について理解する

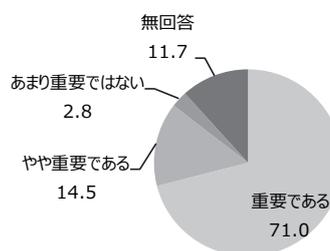
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	85	58.6
2	やや重要である	35	24.1
3	あまり重要ではない	8	5.5
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

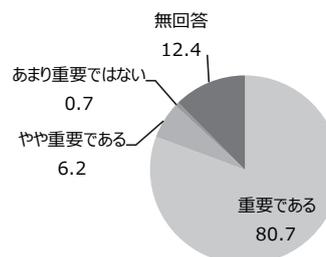
Q3-3A-11-7【重要度】相談援助活動と福祉政策との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	103	71.0
2	やや重要である	21	14.5
3	あまり重要ではない	4	2.8
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



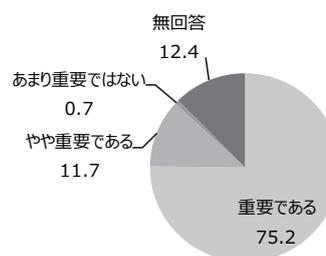
Q3-3A-12-1【重要度】地域福祉の基本的考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	117	80.7
2	やや重要である	9	6.2
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



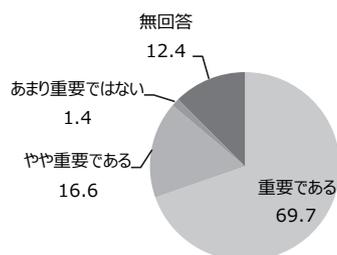
Q3-3A-12-2【重要度】地域福祉の主体と対象について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	17	11.7
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



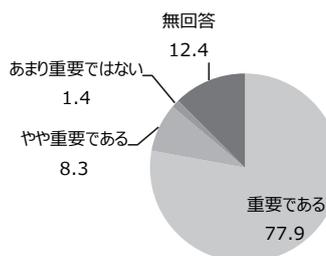
Q3-3A-12-3【重要度】地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	101	69.7
2	やや重要である	24	16.6
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-12-4【重要度】地域福祉におけるネットワークの意義と方法及びその実際について理解する

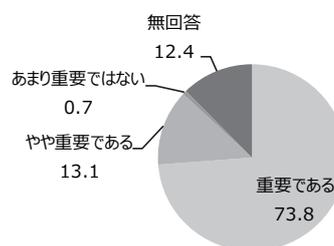
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	113	77.9
2	やや重要である	12	8.3
3	あまり重要ではない	2	1.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程を学んでおくべき重要性）〕

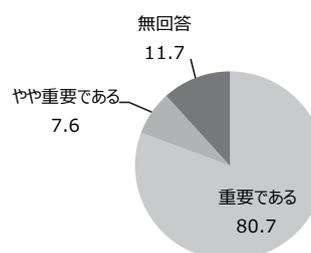
Q3-3A-12-5【重要度】地域福祉の推進方法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	107	73.8
2	やや重要である	19	13.1
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



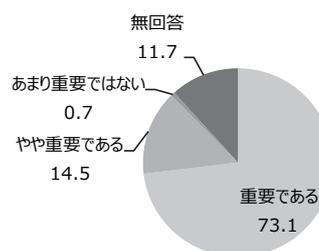
Q3-3A-13-1【重要度】現代社会における社会保障制度の課題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	117	80.7
2	やや重要である	11	7.6
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



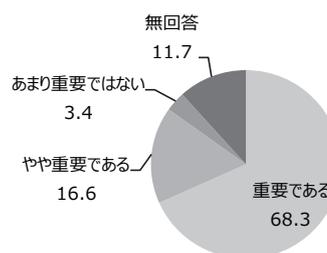
Q3-3A-13-2【重要度】社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	106	73.1
2	やや重要である	21	14.5
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



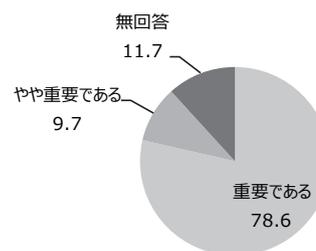
Q3-3A-13-3【重要度】公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	99	68.3
2	やや重要である	24	16.6
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



Q3-3A-13-4【重要度】社会保障制度の体系と概要について理解する

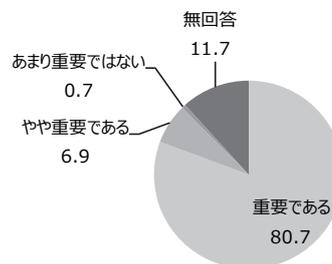
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	114	78.6
2	やや重要である	14	9.7
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

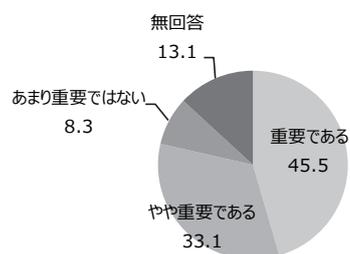
Q3-3A-13-5【重要度】年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	117	80.7
2	やや重要である	10	6.9
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



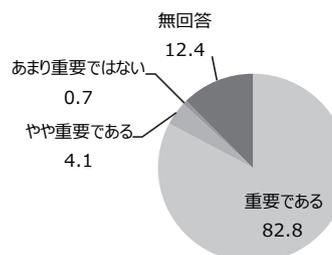
Q3-3A-13-6【重要度】諸外国における社会保障制度の概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	66	45.5
2	やや重要である	48	33.1
3	あまり重要ではない	12	8.3
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



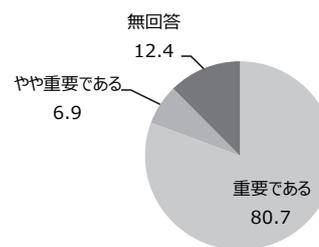
Q3-3A-14-1【重要度】低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	120	82.8
2	やや重要である	6	4.1
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



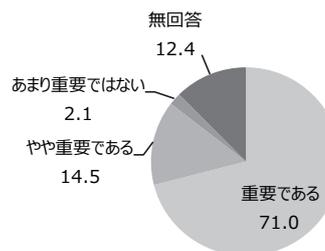
Q3-3A-14-2【重要度】相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	117	80.7
2	やや重要である	10	6.9
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-14-3【重要度】自立支援プログラムの意義とその実際について理解する

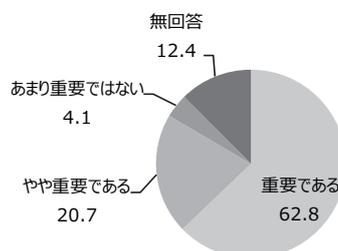
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	103	71.0
2	やや重要である	21	14.5
3	あまり重要ではない	3	2.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

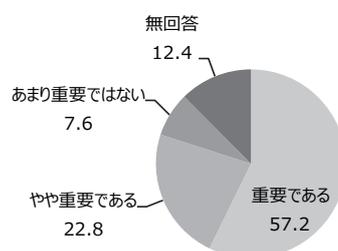
Q3-3A-15-1【重要度】福祉の行財政の実施体制について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	91	62.8
2	やや重要である	30	20.7
3	あまり重要ではない	6	4.1
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



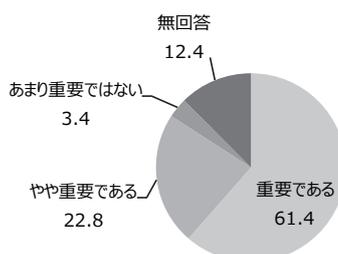
Q3-3A-15-2【重要度】福祉行財政の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	83	57.2
2	やや重要である	33	22.8
3	あまり重要ではない	11	7.6
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



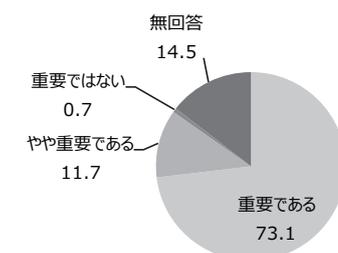
Q3-3A-15-3【重要度】福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	89	61.4
2	やや重要である	33	22.8
3	あまり重要ではない	5	3.4
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



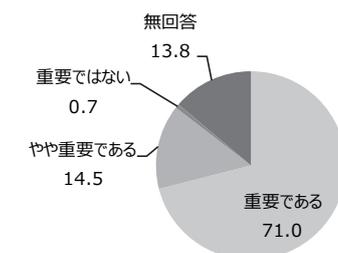
Q3-3A-16-1【重要度】相談援助活動において必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	106	73.1
2	やや重要である	17	11.7
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-3A-16-2【重要度】保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する

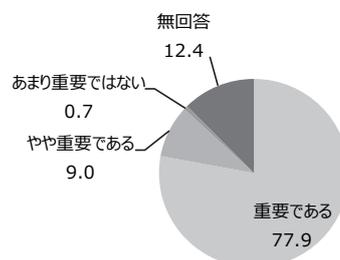
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	103	71.0
2	やや重要である	21	14.5
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

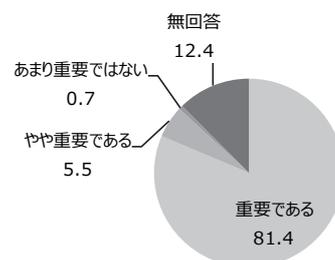
Q3-3A-17-1【重要度】相談援助活動と法との関わりについて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	113	77.9
2	やや重要である	13	9.0
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



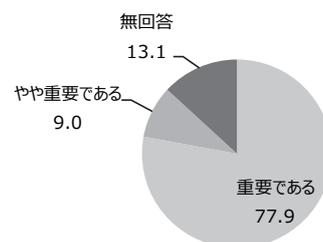
Q3-3A-17-2【重要度】相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	118	81.4
2	やや重要である	8	5.5
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



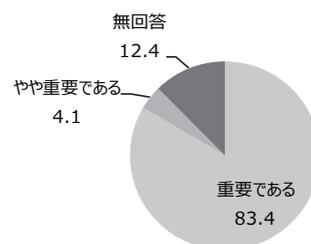
Q3-3A-17-3【重要度】成年後見制度の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	113	77.9
2	やや重要である	13	9.0
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



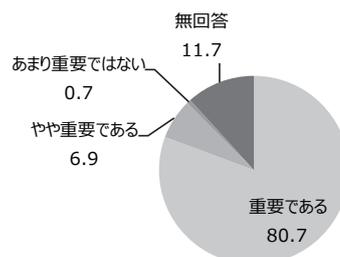
Q3-3A-17-4【重要度】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	121	83.4
2	やや重要である	6	4.1
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



Q3-3A-18-1【重要度】障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する

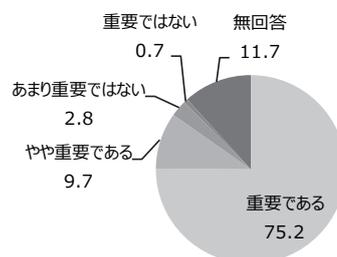
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	117	80.7
2	やや重要である	10	6.9
3	あまり重要ではない	1	0.7
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のA：重要度（養成課程で学んでおくべき重要性）〕

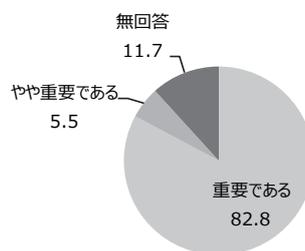
Q3-3A-18-2【重要度】障害者福祉制度の発展過程について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	109	75.2
2	やや重要である	14	9.7
3	あまり重要ではない	4	2.8
4	重要ではない	1	0.7
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



Q3-3A-18-3【重要度】相談援助活動において必要となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する

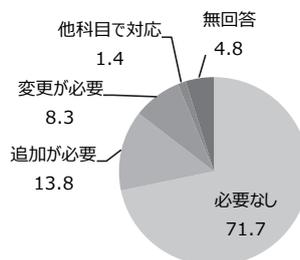
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	重要である	120	82.8
2	やや重要である	8	5.5
3	あまり重要ではない	0	0.0
4	重要ではない	0	0.0
	無回答	17	11.7
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

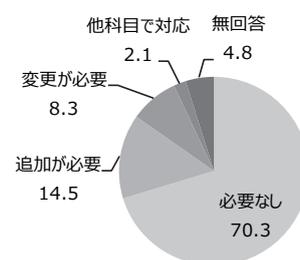
Q3-3B-1-1【見直し】代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	104	71.7
2	主に内容の追加が必要	20	13.8
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	2	1.4
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



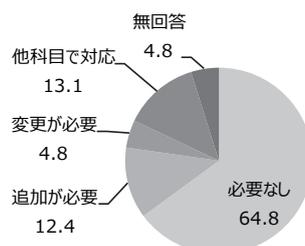
Q3-3B-1-2【見直し】精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	102	70.3
2	主に内容の追加が必要	21	14.5
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



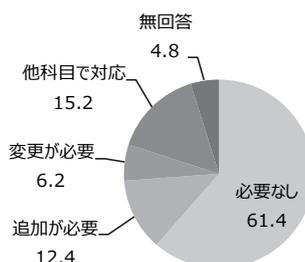
Q3-3B-1-3【見直し】精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	94	64.8
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	19	13.1
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



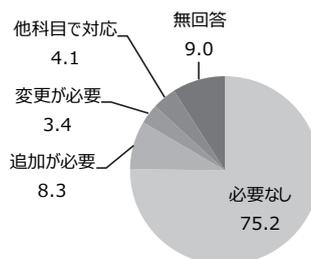
Q3-3B-1-4【見直し】精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	89	61.4
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	22	15.2
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



Q3-3B-2-1【見直し】精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する

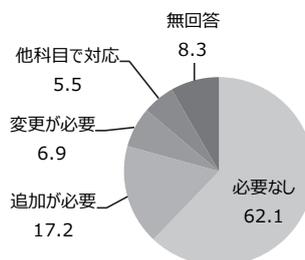
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	109	75.2
2	主に内容の追加が必要	12	8.3
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	13	9.0
	回答者数	145	100



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）】

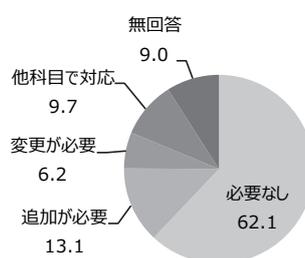
Q3-3B-2-2【見直し】現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	25	17.2
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



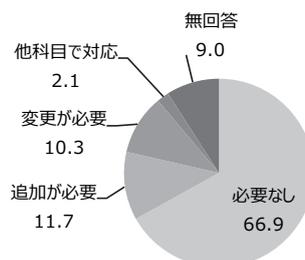
Q3-3B-2-3【見直し】精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種の役割と連携について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	14	9.7
	無回答	13	9.0
	回答者数	145	100



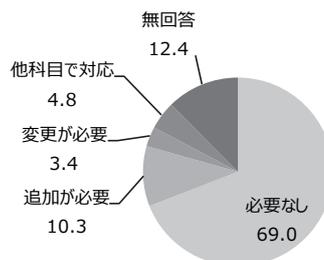
Q3-3B-2-4【見直し】国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	97	66.9
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	15	10.3
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	13	9.0
	回答者数	145	100



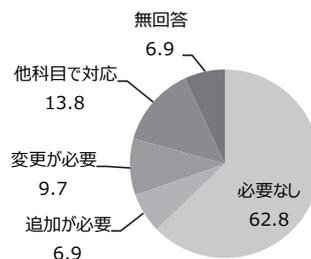
Q3-3B-3-1【見直し】精神保健福祉士の役割と意義について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	100	69.0
2	主に内容の追加が必要	15	10.3
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	18	12.4
	回答者数	145	100



Q3-3B-3-2【見直し】社会福祉士の役割と意義について理解する

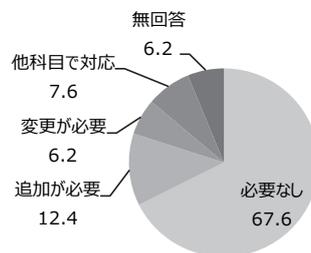
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	10	6.9
3	主に内容の変更が必要	14	9.7
4	他科目で対応すべき	20	13.8
	無回答	10	6.9
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

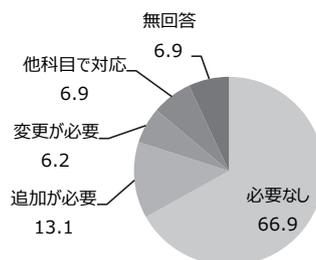
Q3-3B-3-3【見直し】相談援助の概念と範囲について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	98	67.6
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	11	7.6
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



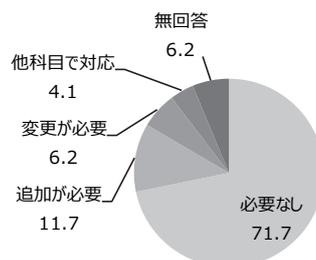
Q3-3B-3-4【見直し】相談援助の理念について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	97	66.9
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	10	6.9
	無回答	10	6.9
	回答者数	145	100



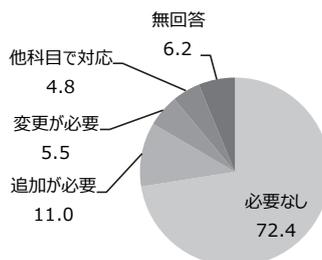
Q3-3B-4-1【見直し】精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	104	71.7
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



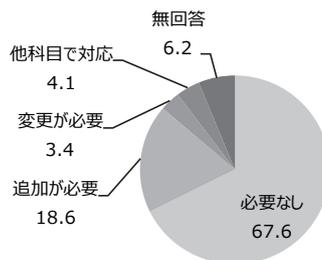
Q3-3B-4-2【見直し】精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	105	72.4
2	主に内容の追加が必要	16	11.0
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



Q3-3B-4-3【見直し】精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する

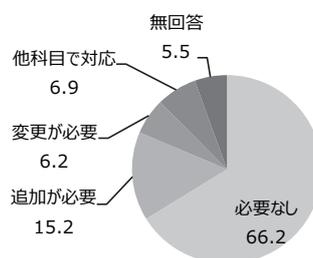
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	98	67.6
2	主に内容の追加が必要	27	18.6
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	9	6.2
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

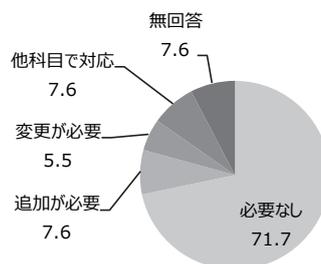
Q3-3B-4-4【見直し】精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	96	66.2
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	10	6.9
	無回答	8	5.5
	回答者数	145	100



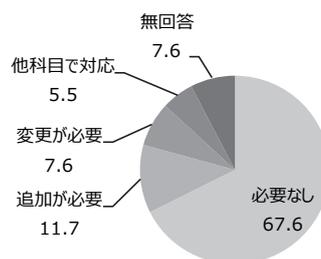
Q3-3B-5-1【見直し】精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	104	71.7
2	主に内容の追加が必要	11	7.6
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	11	7.6
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



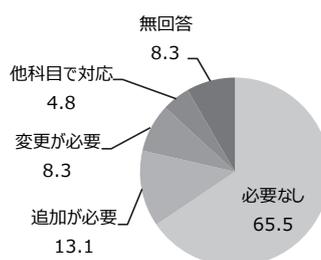
Q3-3B-5-2【見直し】精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	98	67.6
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



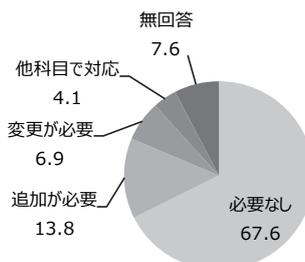
Q3-3B-5-3【見直し】精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用する方法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	95	65.5
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



Q3-3B-5-4【見直し】精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する

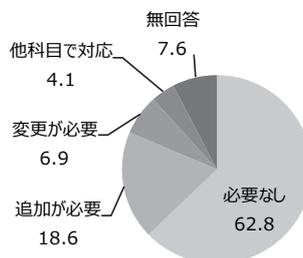
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	98	67.6
2	主に内容の追加が必要	20	13.8
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）】

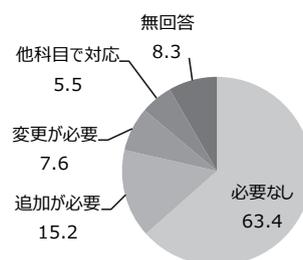
Q3-3B-5-5【見直し】精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	27	18.6
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



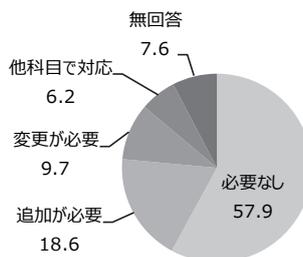
Q3-3B-5-6【見直し】精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	92	63.4
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



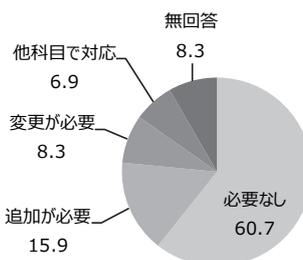
Q3-3B-5-7【見直し】地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	84	57.9
2	主に内容の追加が必要	27	18.6
3	主に内容の変更が必要	14	9.7
4	他科目で対応すべき	9	6.2
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



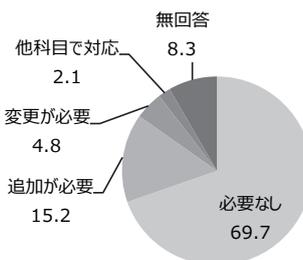
Q3-3B-5-8【見直し】地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	88	60.7
2	主に内容の追加が必要	23	15.9
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	10	6.9
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



Q3-3B-6-1【見直し】精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する

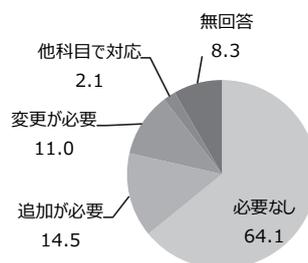
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	101	69.7
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

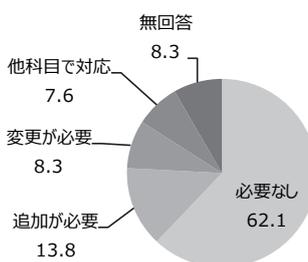
Q3-3B-6-2【見直し】精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	93	64.1
2	主に内容の追加が必要	21	14.5
3	主に内容の変更が必要	16	11.0
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



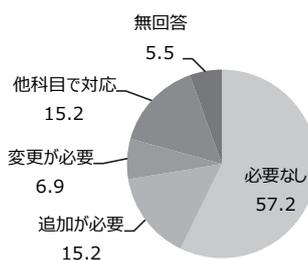
Q3-3B-6-3【見直し】精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	20	13.8
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	11	7.6
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



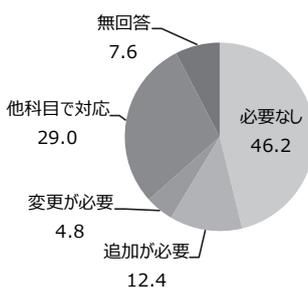
Q3-3B-6-4【見直し】更生保護制度と医療観察法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	83	57.2
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	22	15.2
	無回答	8	5.5
	回答者数	145	100



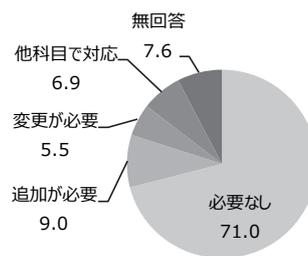
Q3-3B-6-5【見直し】社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	67	46.2
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	42	29.0
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



Q3-3B-7-1【見直し】精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する

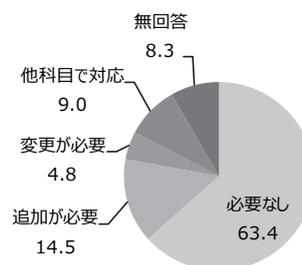
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	103	71.0
2	主に内容の追加が必要	13	9.0
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	10	6.9
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）】

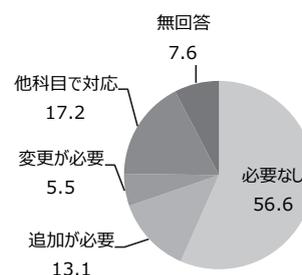
Q3-3B-7-2【見直し】精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	92	63.4
2	主に内容の追加が必要	21	14.5
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	13	9.0
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



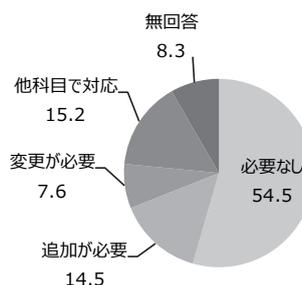
Q3-3B-7-3【見直し】職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	82	56.6
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	25	17.2
	無回答	11	7.6
	回答者数	145	100



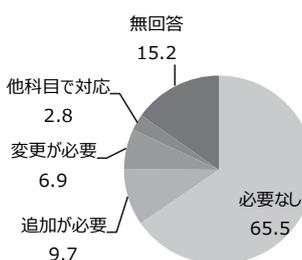
Q3-3B-7-4【見直し】行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	79	54.5
2	主に内容の追加が必要	21	14.5
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	22	15.2
	無回答	12	8.3
	回答者数	145	100



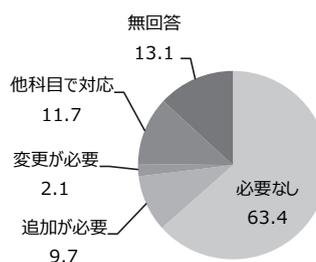
Q3-3B-8-1【見直し】心理機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	95	65.5
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



Q3-3B-8-2【見直し】国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する

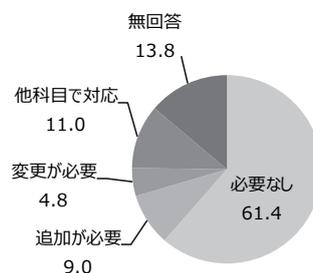
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	92	63.4
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	3	2.1
4	他科目で対応すべき	17	11.7
	無回答	19	13.1
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

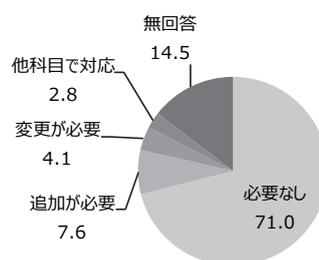
Q3-3B-8-3【見直し】リハビリテーションの概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	89	61.4
2	主に内容の追加が必要	13	9.0
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	16	11.0
	無回答	20	13.8
	回答者数	145	100



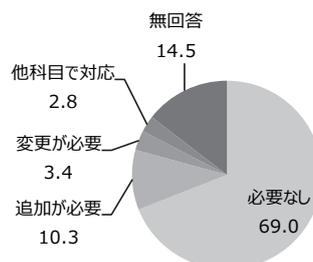
Q3-3B-9-1【見直し】心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	103	71.0
2	主に内容の追加が必要	11	7.6
3	主に内容の変更が必要	6	4.1
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



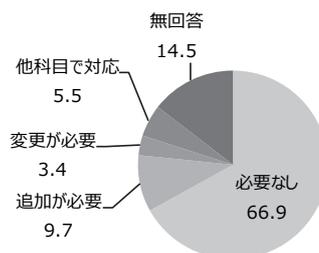
Q3-3B-9-2【見直し】人の成長・発達と心理との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	100	69.0
2	主に内容の追加が必要	15	10.3
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



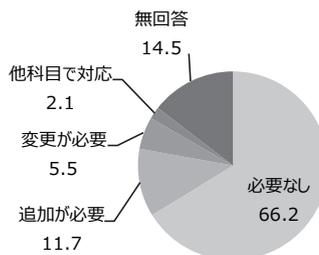
Q3-3B-9-3【見直し】日常生活と心の健康との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	97	66.9
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-3B-9-4【見直し】心理的支援の方法と実際について理解する

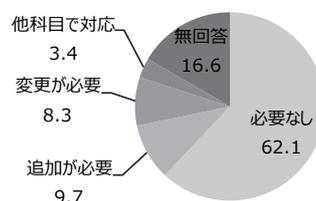
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	96	66.2
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

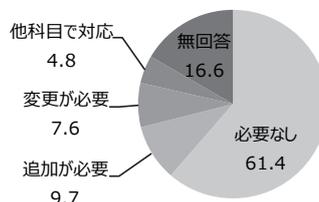
Q3-3B-10-1【見直し】社会理論による現代社会の捉え方を理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	5	3.4
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



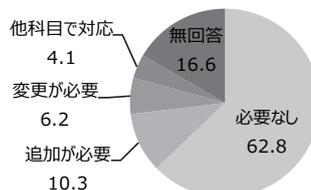
Q3-3B-10-2【見直し】生活について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	89	61.4
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



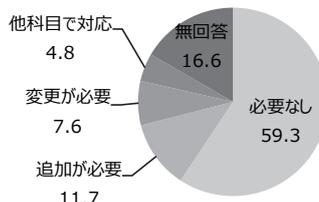
Q3-3B-10-3【見直し】人と社会の関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	15	10.3
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



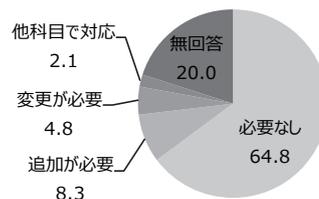
Q3-3B-10-4【見直し】社会問題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	86	59.3
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



Q3-3B-11-1【見直し】現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する

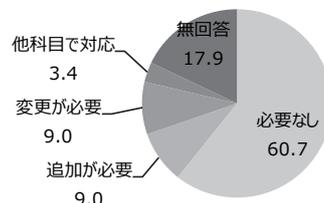
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	94	64.8
2	主に内容の追加が必要	12	8.3
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	29	20.0
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

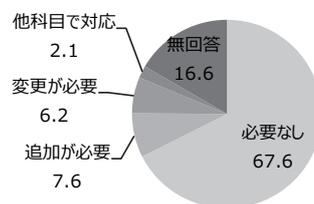
Q3-3B-11-2【見直し】福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	88	60.7
2	主に内容の追加が必要	13	9.0
3	主に内容の変更が必要	13	9.0
4	他科目で対応すべき	5	3.4
	無回答	26	17.9
	回答者数	145	100



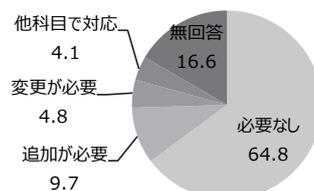
Q3-3B-11-3【見直し】福祉政策におけるニーズと資源について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	98	67.6
2	主に内容の追加が必要	11	7.6
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



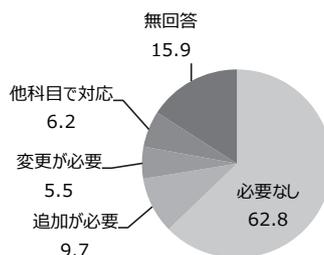
Q3-3B-11-4【見直し】福祉政策の課題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	94	64.8
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



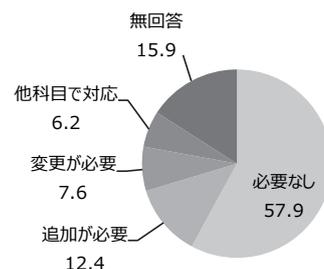
Q3-3B-11-5【見直し】福祉政策の構成要素について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	9	6.2
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



Q3-3B-11-6【見直し】福祉政策と関連政策の関係について理解する

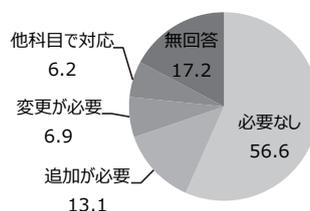
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	84	57.9
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	9	6.2
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

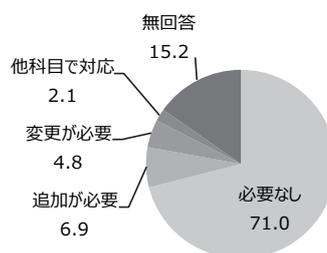
Q3-3B-11-7【見直し】相談援助活動と福祉政策との関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	82	56.6
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	9	6.2
	無回答	25	17.2
	回答者数	145	100



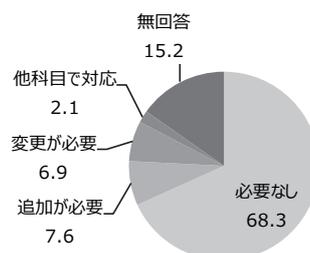
Q3-3B-12-1【見直し】地域福祉の基本的考え方について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	103	71.0
2	主に内容の追加が必要	10	6.9
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



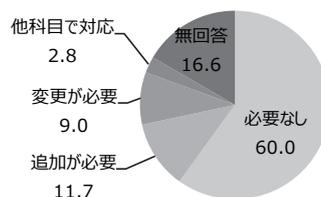
Q3-3B-12-2【見直し】地域福祉の主体と対象について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	99	68.3
2	主に内容の追加が必要	11	7.6
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



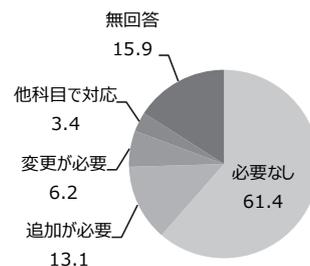
Q3-3B-12-3【見直し】地域福祉に係わる組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	87	60.0
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	13	9.0
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	24	16.6
	回答者数	145	100



Q3-3B-12-4【見直し】地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する

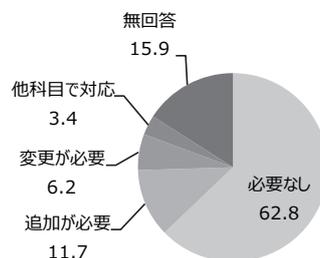
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	89	61.4
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	5	3.4
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

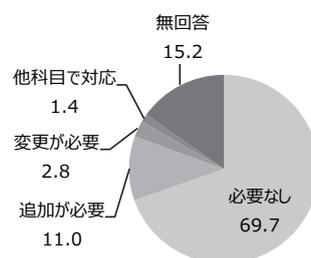
Q3-3B-12-5【見直し】地域福祉の推進方法について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	5	3.4
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



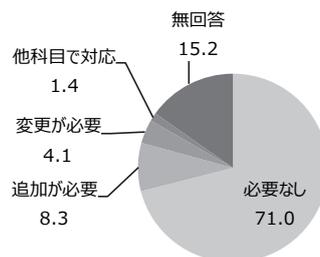
Q3-3B-13-1【見直し】現代社会における社会保障制度の課題について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	101	69.7
2	主に内容の追加が必要	16	11.0
3	主に内容の変更が必要	4	2.8
4	他科目で対応すべき	2	1.4
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



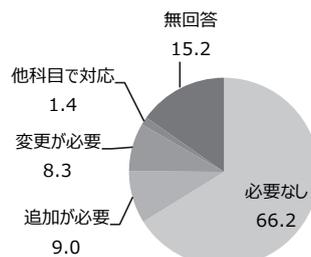
Q3-3B-13-2【見直し】社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	103	71.0
2	主に内容の追加が必要	12	8.3
3	主に内容の変更が必要	6	4.1
4	他科目で対応すべき	2	1.4
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



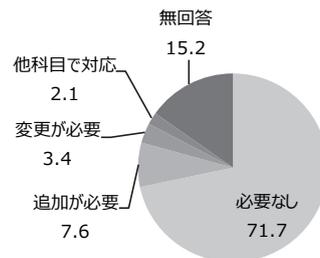
Q3-3B-13-3【見直し】公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	96	66.2
2	主に内容の追加が必要	13	9.0
3	主に内容の変更が必要	12	8.3
4	他科目で対応すべき	2	1.4
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



Q3-3B-13-4【見直し】社会保障制度の体系と概要について理解する

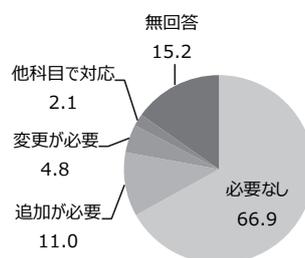
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	104	71.7
2	主に内容の追加が必要	11	7.6
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

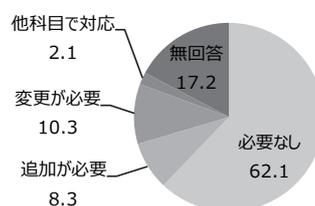
Q3-3B-13-5【見直し】年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	97	66.9
2	主に内容の追加が必要	16	11.0
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



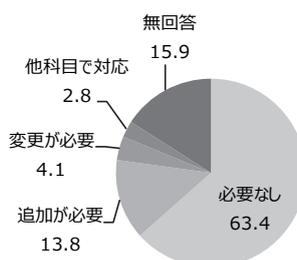
Q3-3B-13-6【見直し】諸外国における社会保障制度の概要について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	12	8.3
3	主に内容の変更が必要	15	10.3
4	他科目で対応すべき	3	2.1
	無回答	25	17.2
	回答者数	145	100



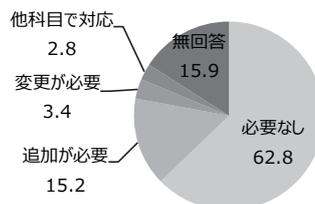
Q3-3B-14-1【見直し】低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	92	63.4
2	主に内容の追加が必要	20	13.8
3	主に内容の変更が必要	6	4.1
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



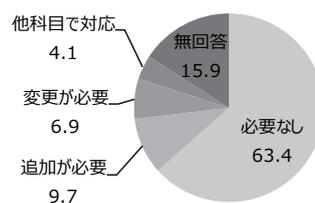
Q3-3B-14-2【見直し】相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



Q3-3B-14-3【見直し】自立支援プログラムの意義とその実際について理解する

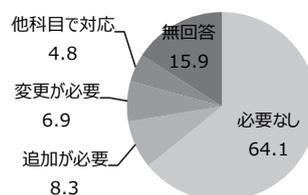
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	92	63.4
2	主に内容の追加が必要	14	9.7
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	6	4.1
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

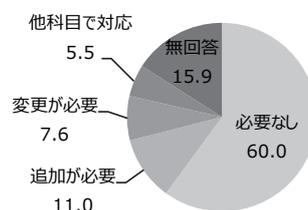
Q3-3B-15-1【見直し】福祉の行財政の実施体制について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	93	64.1
2	主に内容の追加が必要	12	8.3
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



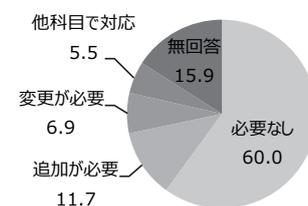
Q3-3B-15-2【見直し】福祉行財政の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	87	60.0
2	主に内容の追加が必要	16	11.0
3	主に内容の変更が必要	11	7.6
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



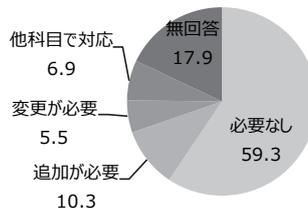
Q3-3B-15-3【見直し】福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	87	60.0
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



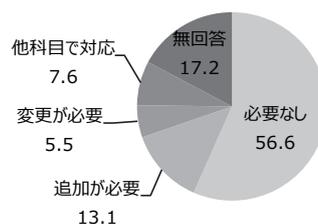
Q3-3B-16-1【見直し】相談援助活動において必要となる医療保険制度や保健医療サービスについて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	86	59.3
2	主に内容の追加が必要	15	10.3
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	10	6.9
	無回答	26	17.9
	回答者数	145	100



Q3-3B-16-2【見直し】保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する

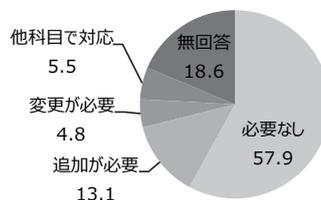
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	82	56.6
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	8	5.5
4	他科目で対応すべき	11	7.6
	無回答	25	17.2
	回答者数	145	100



〔精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）〕

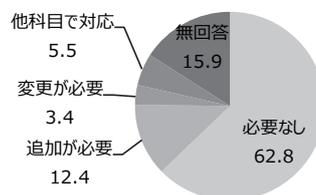
Q3-3B-17-1【見直し】相談援助活動と法との関わりについて理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	84	57.9
2	主に内容の追加が必要	19	13.1
3	主に内容の変更が必要	7	4.8
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	27	18.6
	回答者数	145	100



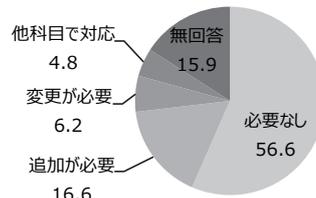
Q3-3B-17-2【見直し】相談援助活動において必要となる成年後見制度について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	18	12.4
3	主に内容の変更が必要	5	3.4
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



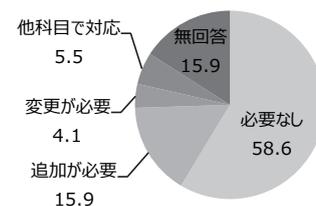
Q3-3B-17-3【見直し】成年後見制度の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	82	56.6
2	主に内容の追加が必要	24	16.6
3	主に内容の変更が必要	9	6.2
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



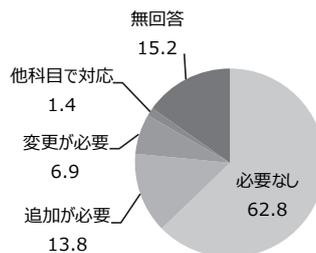
Q3-3B-17-4【見直し】社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	85	58.6
2	主に内容の追加が必要	23	15.9
3	主に内容の変更が必要	6	4.1
4	他科目で対応すべき	8	5.5
	無回答	23	15.9
	回答者数	145	100



Q3-3B-18-1【見直し】障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する

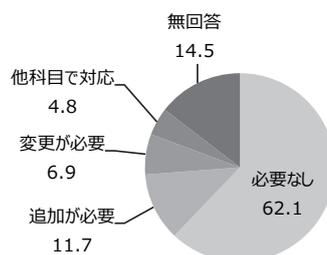
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直す必要なし	91	62.8
2	主に内容の追加が必要	20	13.8
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	2	1.4
	無回答	22	15.2
	回答者数	145	100



【精神保健福祉士養成課程における教育内容等における各科目のねらい（目標）のB：見直しの必要性（現行のカリキュラムの評価や見直しの必要性など）】

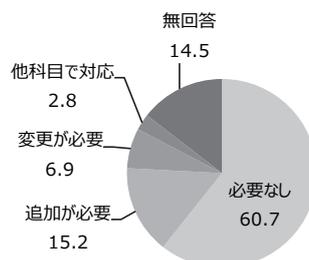
Q3-3B-18-2【見直し】障害者福祉制度の発展過程について理解する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直し必要なし	90	62.1
2	主に内容の追加が必要	17	11.7
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	7	4.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



Q3-3B-18-3【見直し】相談援助活動において必要となる障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する

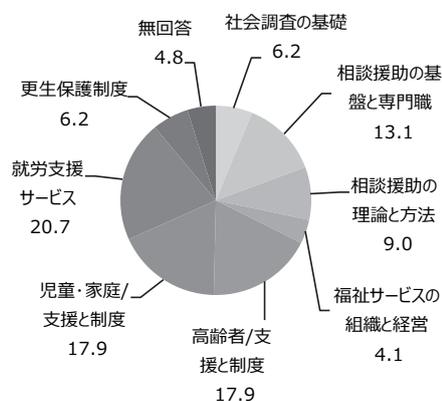
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見直し必要なし	88	60.7
2	主に内容の追加が必要	22	15.2
3	主に内容の変更が必要	10	6.9
4	他科目で対応すべき	4	2.8
	無回答	21	14.5
	回答者数	145	100



【社会福祉士の専門科目について、精神保健福祉士養成課程でも学習する必要性の高いもの（1位、2位）】

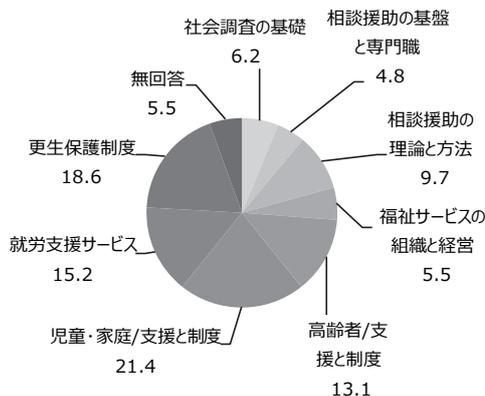
Q3-4-1【1位】精神保健福祉士養成課程でも学習する必要性の高いもの

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会調査の基礎	9	6.2
2	相談援助の基盤と専門職	19	13.1
3	相談援助の理論と方法	13	9.0
4	福祉サービスの組織と経営	6	4.1
5	高齢者に対する支援と介護保険制度	26	17.9
6	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	26	17.9
7	就労支援サービス	30	20.7
8	更生保護制度	9	6.2
	無回答	7	4.8
	回答者数	145	100



Q3-4-2【2位】精神保健福祉士養成課程でも学習する必要性の高いもの

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会調査の基礎	9	6.2
2	相談援助の基盤と専門職	7	4.8
3	相談援助の理論と方法	14	9.7
4	福祉サービスの組織と経営	8	5.5
5	高齢者に対する支援と介護保険制度	19	13.1
6	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	31	21.4
7	就労支援サービス	22	15.2
8	更生保護制度	27	18.6
	無回答	8	5.5
	回答者数	145	100

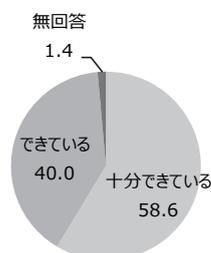


【精神保健福祉士に求められる役割に関する質問】

【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの学校・施設においてどのくらい教示できているか】

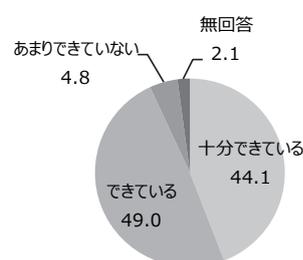
Q4-1-1【求められる価値・理念】個人としての尊厳を基盤とする

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	85	58.6
2	教示できている	58	40.0
3	あまり教示できていない	0	0.0
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



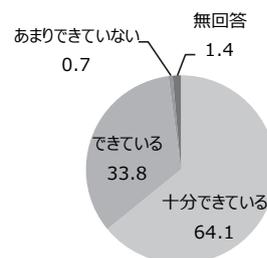
Q4-1-2【求められる価値・理念】人々の精神保健福祉の向上（well-being）を目指す

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	64	44.1
2	教示できている	71	49.0
3	あまり教示できていない	7	4.8
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



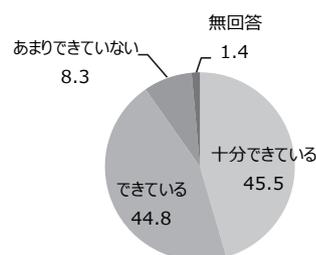
Q4-1-3【求められる価値・理念】クライアントの自己決定・自己実現を保障する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	93	64.1
2	教示できている	49	33.8
3	あまり教示できていない	1	0.7
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



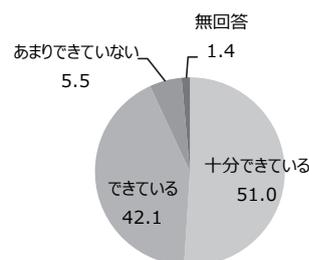
Q4-1-4【求められる価値・理念】ノーマライゼーションの実現に向けた活動を行う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	66	45.5
2	教示できている	65	44.8
3	あまり教示できていない	12	8.3
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



Q4-1-5【求められる価値・理念】精神障害者の社会的復権・権利擁護と福祉のための活動を行う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	74	51.0
2	教示できている	61	42.1
3	あまり教示できていない	8	5.5
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100

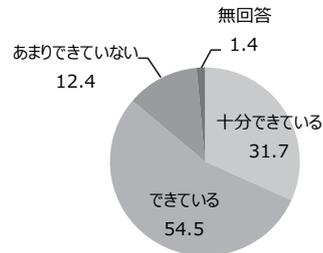


【精神保健福祉士に求められる役割に関する質問】

【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの学校・施設においてどのくらい教示できているか】

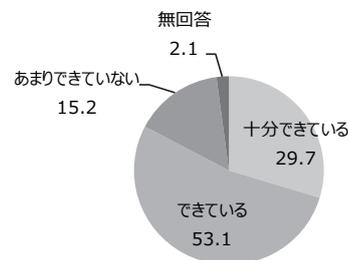
Q4-1-6【求められる価値・理念】共生社会の実現（ソーシャルインクルージョン）に向けた活動を行う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	46	31.7
2	教示できている	79	54.5
3	あまり教示できていない	18	12.4
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



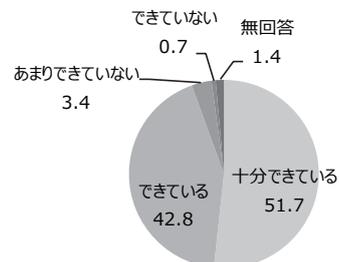
Q4-2-1【求められる視点】ミクロ・メゾ・マクロ（個人・集団・組織・地域・社会）の連続性を踏まえた包括的な視点を持つ

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	43	29.7
2	教示できている	77	53.1
3	あまり教示できていない	22	15.2
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



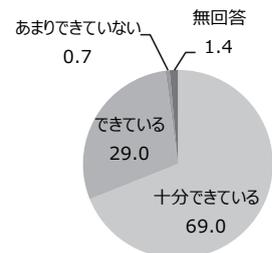
Q4-2-2【求められる視点】人と環境の相互作用の視点から現象を捉える

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	75	51.7
2	教示できている	62	42.8
3	あまり教示できていない	5	3.4
4	教示できていない	1	0.7
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



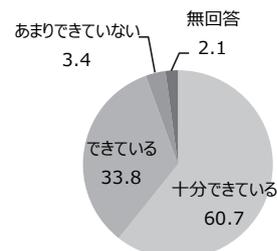
Q4-2-3【求められる視点】クライアントを「生活者」として捉える

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	100	69.0
2	教示できている	42	29.0
3	あまり教示できていない	1	0.7
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



Q4-2-4【求められる視点】地域での暮らしを支える視点を持つ

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	88	60.7
2	教示できている	49	33.8
3	あまり教示できていない	5	3.4
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100

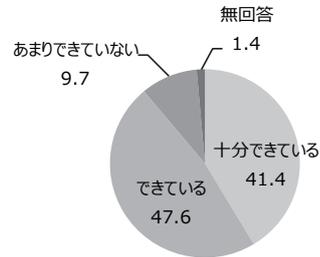


【精神保健福祉士に求められる役割に関する質問】

【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの学校・施設においてどのくらい教示できているか】

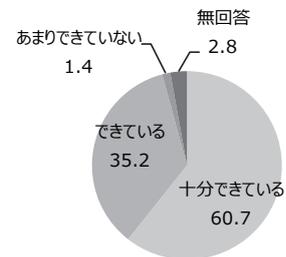
Q4-2-5【求められる視点】個人・集団・地域それぞれにおける個別化の視点を持つ

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	60	41.4
2	教示できている	69	47.6
3	あまり教示できていない	14	9.7
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



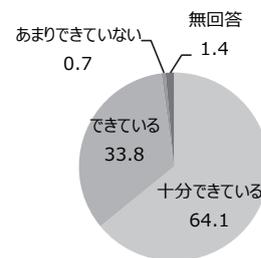
Q4-2-6【求められる視点】エンパワメントの視点を持つ：クライアントの主体性を回復・尊重することを重視する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	88	60.7
2	教示できている	51	35.2
3	あまり教示できていない	2	1.4
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



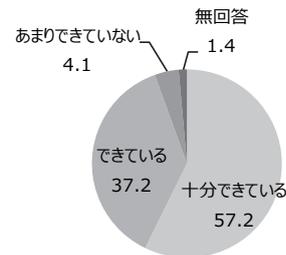
Q4-2-7【求められる視点】ストレングスの視点を持つ：クライアントや環境の「強み」に焦点を当て、最大限に活かす。「希望」を重視し、それに向かう力や周囲の力を資源として支援する

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	93	64.1
2	教示できている	49	33.8
3	あまり教示できていない	1	0.7
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



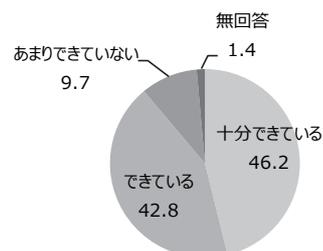
Q4-2-8【求められる視点】リカバリー-の視点を持つ：その人らしい生活を再構築し、新たな人生の意味や目的を見出す過程に寄り添う

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	83	57.2
2	教示できている	54	37.2
3	あまり教示できていない	6	4.1
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



Q4-2-9【求められる視点】パートナーシップを形成する：クライアントとの協働を支援の基本におく

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	67	46.2
2	教示できている	62	42.8
3	あまり教示できていない	14	9.7
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100

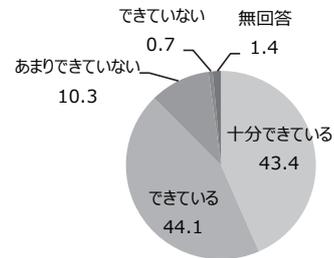


【精神保健福祉士に求められる役割に関する質問】

【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの学校・施設においてどのくらい教示できているか】

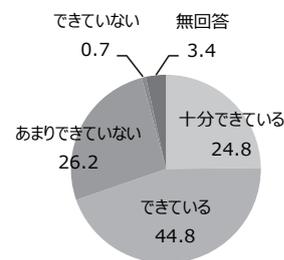
Q4-3-1【求められる知識】個人の全体性と「人と環境の相互作用」を重視した人間の発達と行動

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	63	43.4
2	教示できている	64	44.1
3	あまり教示できていない	15	10.3
4	教示できていない	1	0.7
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100



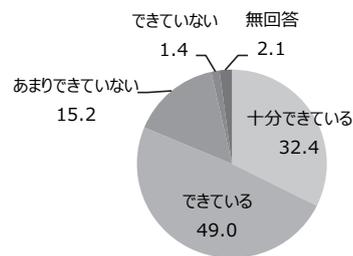
Q4-3-2【求められる知識】他者や外部の資源から援助を受ける、または与える際の心理

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	36	24.8
2	教示できている	65	44.8
3	あまり教示できていない	38	26.2
4	教示できていない	1	0.7
	無回答	5	3.4
	回答者数	145	100



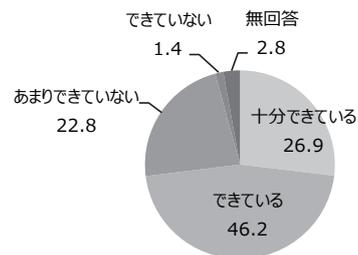
Q4-3-3【求められる知識】人間相互の意思伝達の仕方、感情を表現する仕方

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	47	32.4
2	教示できている	71	49.0
3	あまり教示できていない	22	15.2
4	教示できていない	2	1.4
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



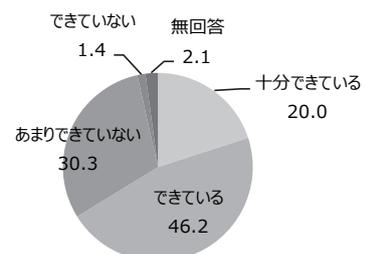
Q4-3-4【求められる知識】集団過程、集団が個人に及ぼす影響と個人が集団に及ぼす影響

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	39	26.9
2	教示できている	67	46.2
3	あまり教示できていない	33	22.8
4	教示できていない	2	1.4
	無回答	4	2.8
	回答者数	145	100



Q4-3-5【求められる知識】ある社会が有する精神的価値・法律・社会制度・文化が個人や集団、地域社会に対して持つ意味と影響

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	29	20.0
2	教示できている	67	46.2
3	あまり教示できていない	44	30.3
4	教示できていない	2	1.4
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100

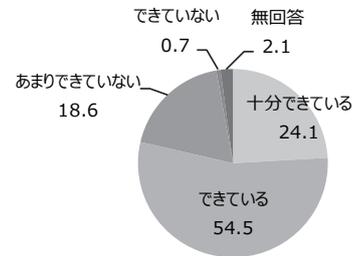


【精神保健福祉士に求められる役割に関する質問】

【精神保健福祉士に求められる役割（価値・理念、視点、知識）について、「あなたの学校・施設においてどのくらい教示できているか】

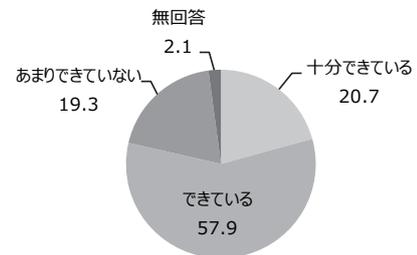
Q4-3-6【求められる知識】個人間・個人と集団・集団間の関係、相互作用過程

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	35	24.1
2	教示できている	79	54.5
3	あまり教示できていない	27	18.6
4	教示できていない	1	0.7
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



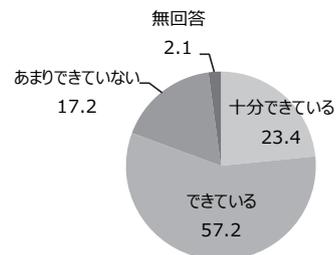
Q4-3-7【求められる知識】地域社会の発展と変化の仕方、社会サービスと資源

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	30	20.7
2	教示できている	84	57.9
3	あまり教示できていない	28	19.3
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



Q4-3-8【求められる知識】社会的サービスの内容、組織、方法

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	34	23.4
2	教示できている	83	57.2
3	あまり教示できていない	25	17.2
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	3	2.1
	回答者数	145	100



Q4-3-9【求められる知識】専門職としての精神保健福祉士自身の情緒と態度の気づき

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分教示できている	81	55.9
2	教示できている	50	34.5
3	あまり教示できていない	12	8.3
4	教示できていない	0	0.0
	無回答	2	1.4
	回答者数	145	100

